

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-50382
(P2019-50382A)

(43) 公開日 平成31年3月28日(2019.3.28)

(51) Int.Cl.

H01L 51/50	(2006.01)	F 1	HO 5 B	33/14	B	3 K 1 O 7
C07D 403/14	(2006.01)		C 07 D	403/14	C S P	4 C O 6 3
C07D 409/14	(2006.01)		C 07 D	409/14		4 F 1 O O
C07D 405/14	(2006.01)		C 07 D	405/14		
C07D 401/14	(2006.01)		C 07 D	401/14		

審査請求 有 請求項の数 9 O L 外国語出願 (全 61 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2018-192058 (P2018-192058)
 (22) 出願日 平成30年10月10日 (2018.10.10)
 (62) 分割の表示 特願2016-172842 (P2016-172842)
 原出願日 平成23年9月16日 (2011.9.16)
 (31) 優先権主張番号 10-2011-0092422
 (32) 優先日 平成23年9月14日 (2011.9.14)
 (33) 優先権主張国 韓国 (KR)
 (31) 優先権主張番号 10-2010-0091545
 (32) 優先日 平成22年9月17日 (2010.9.17)
 (33) 優先権主張国 韓国 (KR)

(71) 出願人 509266480
 ローム・アンド・ハース・エレクトロニクス・マテリアルズ・コリア・リミテッド
 大韓民国 331-980 チュンチョン
 ナムード チョナンシ ソブクーク 3
 コンダン 1-ロ 56
 (74) 代理人 110000589
 特許業務法人センダ国際特許事務所
 (72) 発明者 シン, ヒヨ・ニム
 大韓民国, キョンギード・463-892
 , ソンナムーシ, プンダンーク, サムビヨンードン, ボットドゥルマウル・2・タンジ・ジ・イージー・ジ・ワン・アパートメント, ナンバー・204-701

最終頁に続く

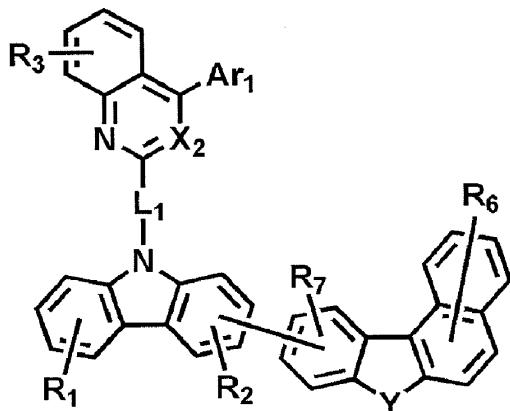
(54) 【発明の名称】新規有機電界発光化合物およびこれを使用する有機電界発光素子

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】優れた発光効率、および適する色座標を有する素子寿命を提供する有機電界発光化合物、およびこれを使用する有機電界発光素子を提供する。

【解決手段】下記一般式などで表される有機電界発光化合物およびこれを使用する有機電界発光素子。

[化学式3]



10

【選択図】なし

20

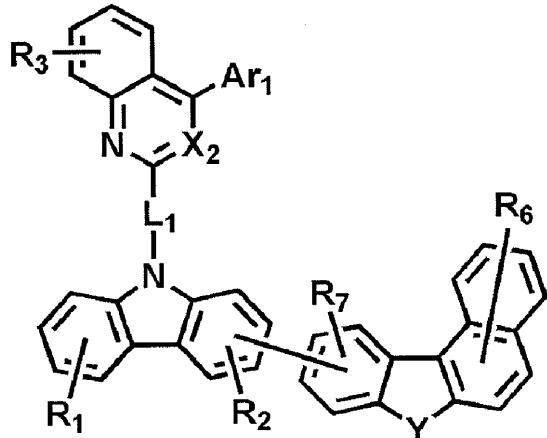
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記化学式 3 ~ 9 によって表される化合物からなる群から選択される有機電界発光化合物

【化 1】

[化学式 3]

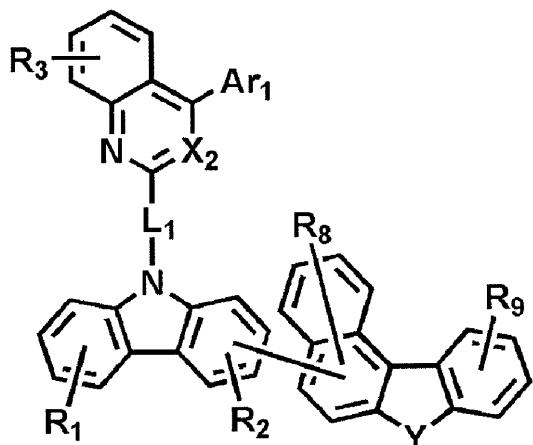


10

【化 2】

20

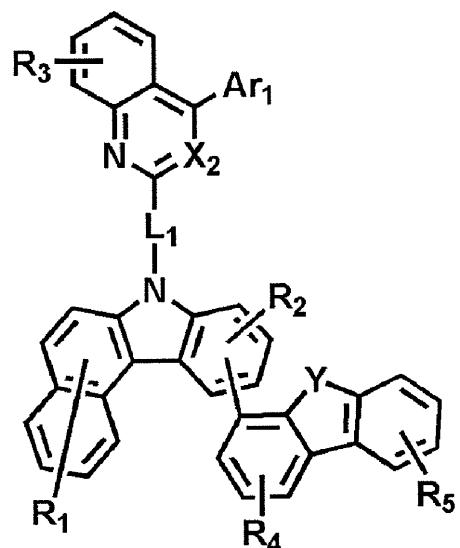
[化学式 4]



30

【化 3】

[化学式 5]

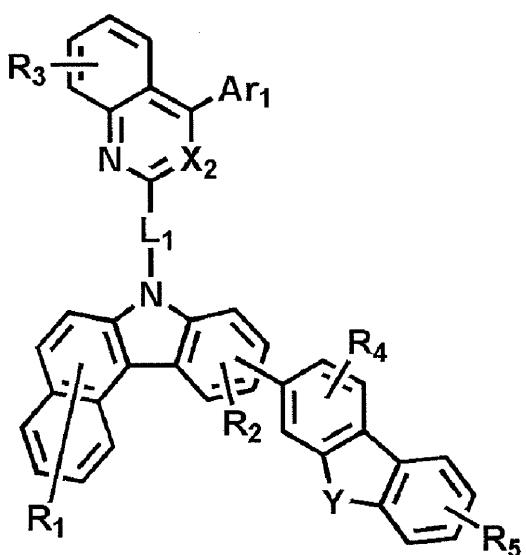


10

【化 4】

[化学式 6]

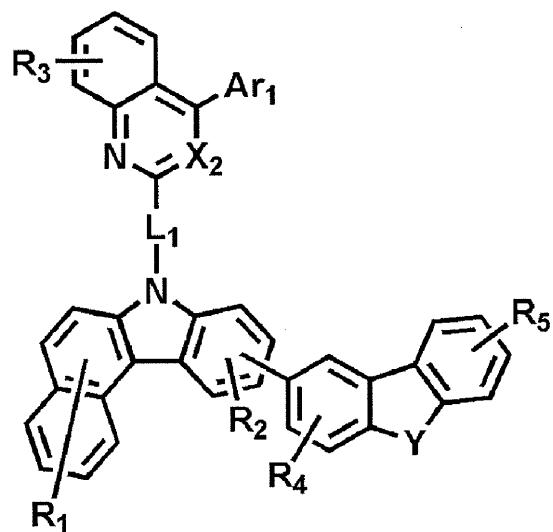
20



30

【化 5】

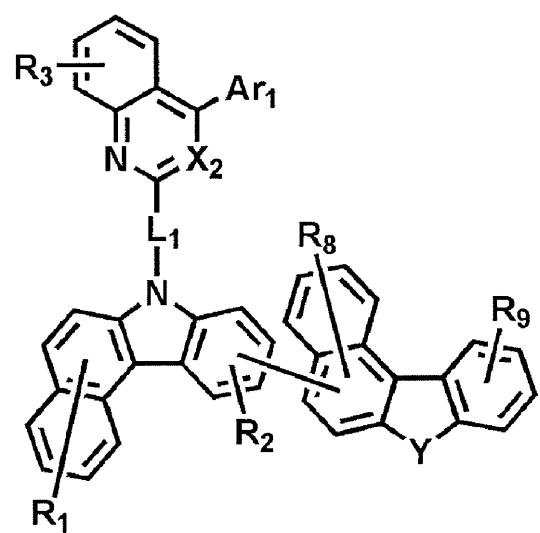
[化学式 7]



10

【化 6】

[化学式 8]

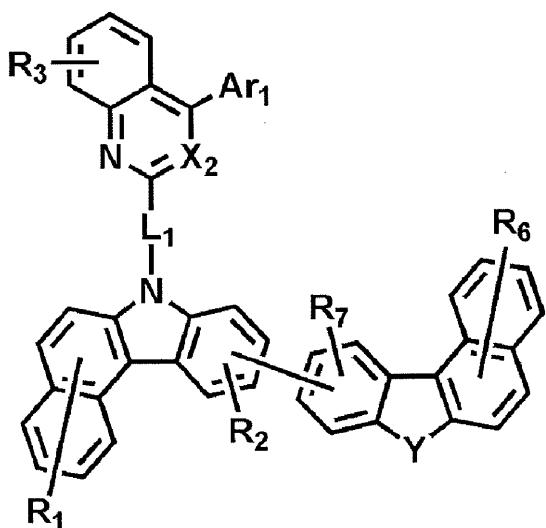


20

30

【化7】

[化学式9]



10

(式中、 X_2 はNであり；Yは-O-、-S-、または-N(R_{1~5})-であり；L₁は単結合を表し；

R_{3~1}およびR_{3~2}は独立して、メチル、エチル、n-プロピル、i-プロピル、n-ブチル、i-ブチル、t-ブチル、n-ペンチル、i-ペンチル、n-ヘキシル、n-ヘプチル、n-オクチル、2-エチルヘキシル、n-ノニル、デシル、ドデシルまたはヘキサデシルを表し；

20

A_r₁は置換されているかもしくは置換されていない(C1-C30)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C6-C30)アリール、または置換されているかもしくは置換されていない(C2-C30)ヘテロアリールを表す；

R_{1~9}は独立して、水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C6-C30)アリール、または置換されているかもしくは置換されていない(C2-C30)ヘテロアリールを表す；

R_{1~5}は水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C1-C30)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C6-C30)アリール、または置換されているかもしくは置換されていない(C2-C30)ヘテロアリールを表す。

30

【請求項2】

前記A_r₁、R_{1~9}及びR_{1~5}の各置換基が、重水素、ハロゲン、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない(C1-C30)アルキル、(C6-C30)アリール、(C6-C30)アリールで置換されているかもしくは置換されていない(C2-C30)ヘテロアリール、5員～7員のヘテロシクロアルキル、1以上の芳香環と縮合した5員～7員のヘテロシクロアルキル、(C3-C30)シクロアルキル、1以上の芳香環と縮合した(C6-C30)シクロアルキル、R^aR^bR^cSi-、(C2-C30)アルケニル、(C2-C30)アルキニル、シアノ、カルバゾリル、-NR^dR^e、-BR^fR^g、-PR^hRⁱ、-P(=O)R^jR^k、(C6-C30)アリール(C1-C30)アルキル、(C1-C30)アルキル(C6-C30)アリール、R¹T-、R^mC(=O)-、R^mC(=O)O-、カルボキシル、ニトロ、およびヒドロキシルからなる群から選択される1以上の置換基によってさらに置換されていてもよく、ここでR^a～R¹は独立して(C1-C30)アルキル、(C6-C30)アリール、または(C2-C30)ヘテロアリールを表し；TはSまたはOであり；並びに、R^mは(C1-C30)アルキル、(C1-C30)アルコキシ、(C6-C30)アリール、または(C6-C30)アリールオキシを表す、請求項1の有機電界発光化合物。

40

【請求項3】

A_r₁はメチル、エチル、n-プロピル、i-プロピル、n-ブチル、i-ブチル、t-ブチル、n-ペンチル、i-ペンチル、n-ヘキシル、n-ヘプチル、n-オクチル、

50

2 - エチルヘキシル、n - ノニル、デシル、ドデシル、ヘキサデシル、トリフルオロメチル、ペルフルオロエチル、トリフルオロエチル、ペルフルオロプロピル、ペルフルオロブチル、フェニル、ビフェニル、テルフェニル、ナフチル、9, 9 - ジフェニルフルオレニル、9, 9 - ジメチルフルオレニル、フルオランテニル、ピリジル、ジベンゾフラニル、ジベンゾチオフェニルまたはN - フェニルカルバゾリルを表し、並びにAr₁のフェニル、ビフェニル、テルフェニル、ナフチルおよびカルバゾリルは、重水素、フッ素、メチル、エチル、n - プロピル、i - プロピル、n - ブチル、i - ブチル、t - ブチル、n - ペンチル、i - ペンチル、n - ヘキシル、n - ヘプチル、n - オクチル、2 - エチルヘキシル、n - ノニル、デシル、ドデシル、ヘキサデシル、トリフルオロメチル、ペルフルオロエチル、トリフルオロエチル、ペルフルオロプロピル、ペルフルオロブチル、トリフェニルシリル、トリメチルシリル、ジメチルフェニルシリル、ジフェニルメチルシリル、フェニル、ナフチル、9, 9 - ジフェニルフルオレニル、9, 9 - ジメチルフルオレニル、フェニルピリジル、カルバゾリル、フルオランテニル、ジベンゾフラニル、およびジベンゾチオフェニルからなる群から選択される1以上の置換基でさらに置換されていてよく；並びに

R₁ ~ R₉は独立して、水素、重水素、フェニル、ピリジル、ジベンゾフラニル、ジベンゾチオフェニル、またはカルバゾリルを表し；R_{1~5}は、水素、重水素、メチル、エチル、n - プロピル、i - プロピル、n - ブチル、i - ブチル、t - ブチル、n - ペンチル、i - ペンチル、n - ヘキシル、n - ヘプチル、n - オクチル、2 - エチルヘキシル、n - ノニル、デシル、ドデシル、ヘキサデシル、トリフルオロメチル、ペルフルオロエチル、トリフルオロエチル、ペルフルオロプロピル、ペルフルオロブチル、フェニル、ビフェニル、9, 9 - ジフェニルフルオレニル、9, 9 - ジメチルフルオレニル、ナフチル、ピリジル、N - フェニルカルバゾリルまたはキノリルを表し、並びにR_{1~5}のフェニルは、重水素、ハロゲン、メチル、エチル、n - プロピル、i - プロピル、n - ブチル、i - ブチル、t - ブチル、n - ペンチル、i - ペンチル、n - ヘキシル、n - ヘプチル、n - オクチル、2 - エチルヘキシル、n - ノニル、デシル、ドデシル、ヘキサデシル、トリフルオロメチル、ペルフルオロエチル、トリフルオロエチル、ペルフルオロプロピル、ペルフルオロブチル、フェニル、およびナフチルからなる群から選択される1以上の置換基でさらに置換されていてよい；

請求項1の有機電界発光化合物。

【請求項4】

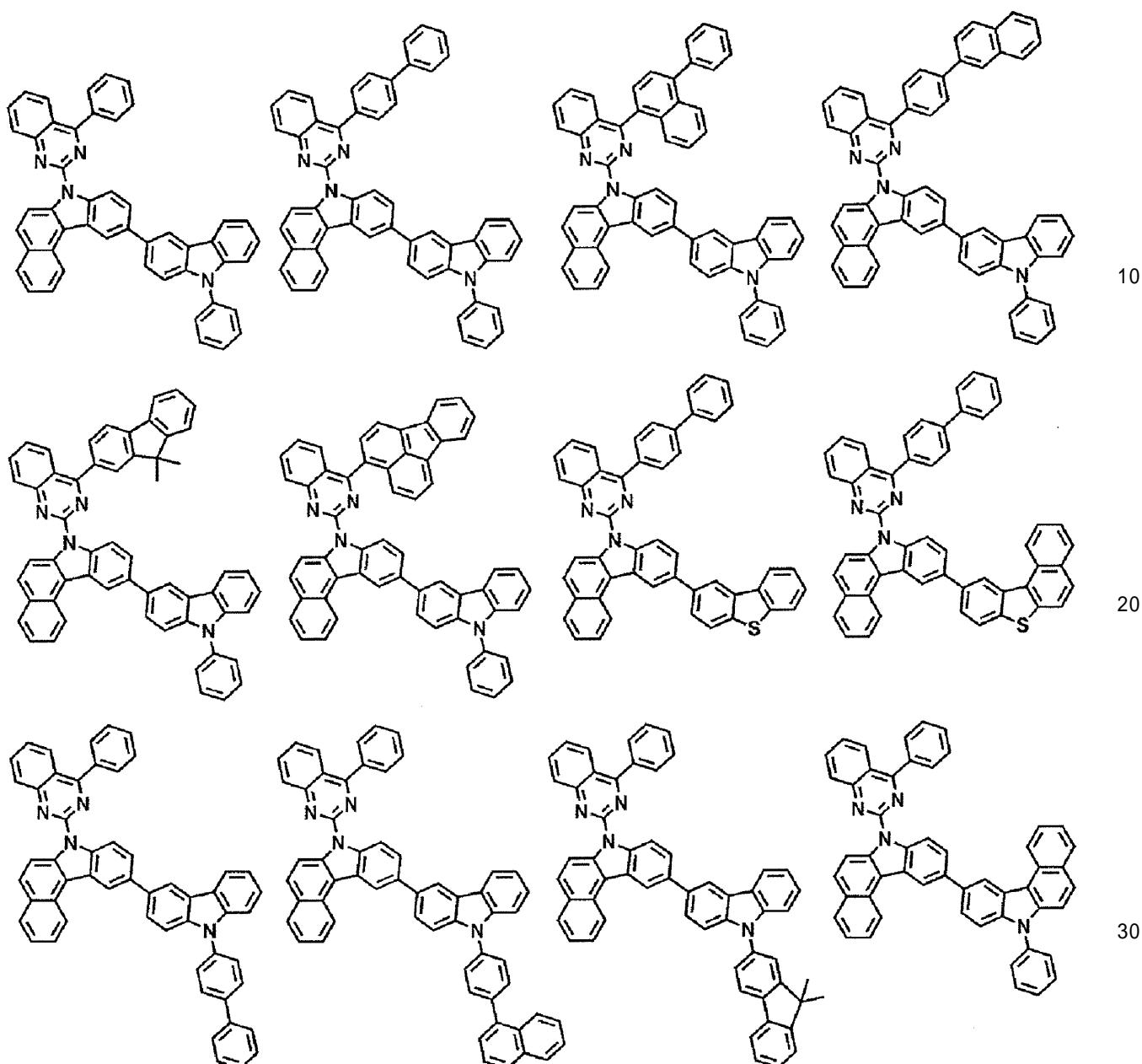
下記化合物

10

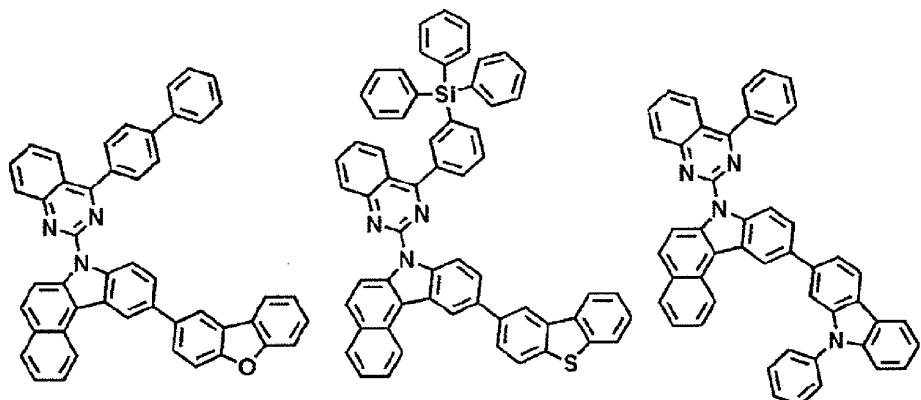
20

30

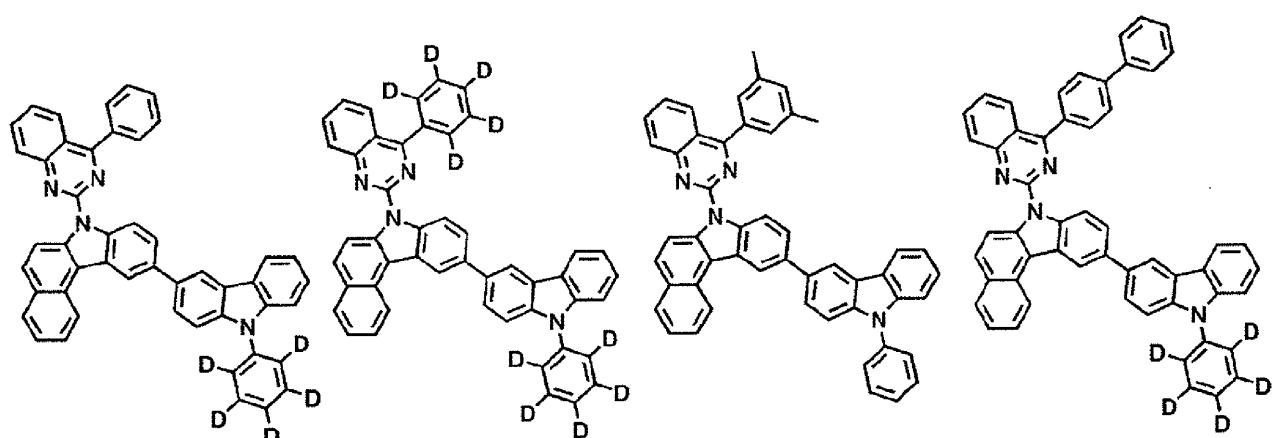
【化 8】



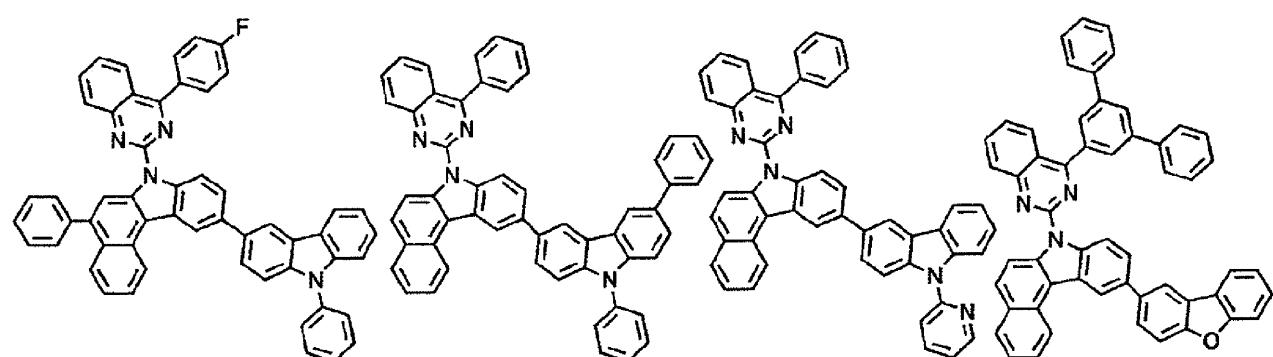
【化 9】



10

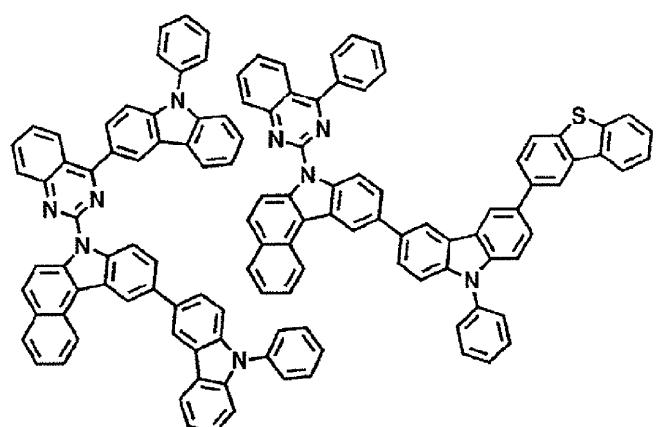


20



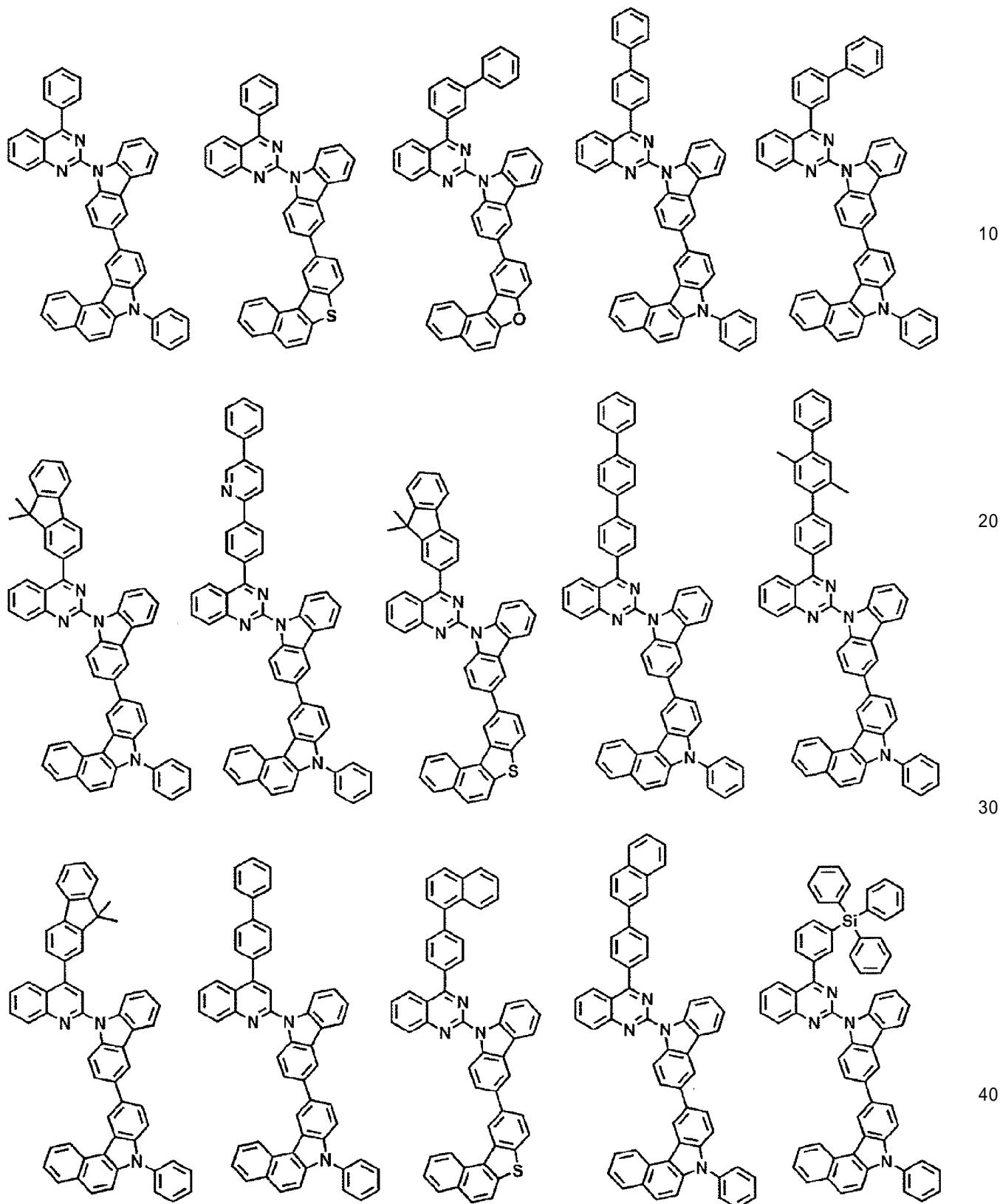
30

【化 10】

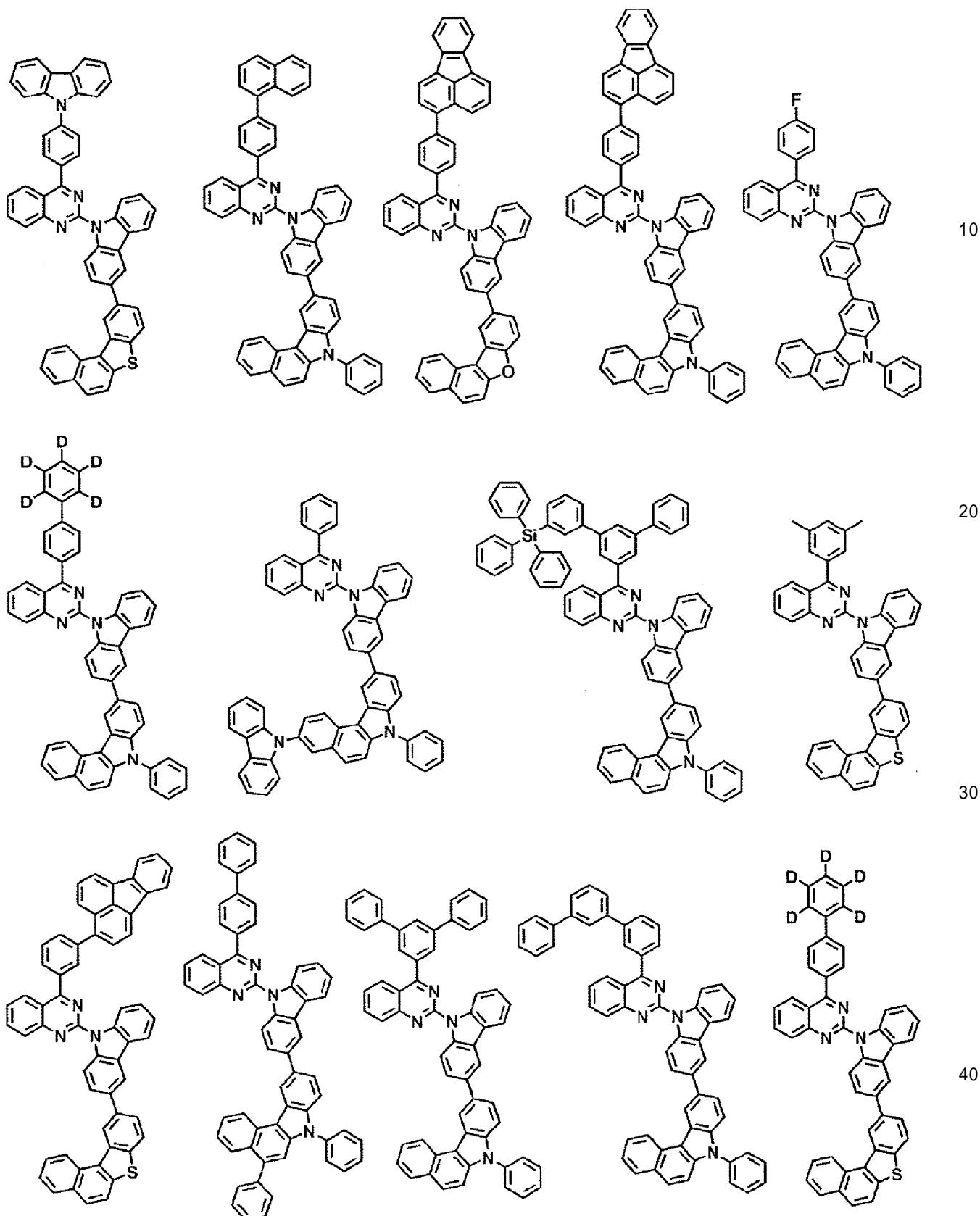


40

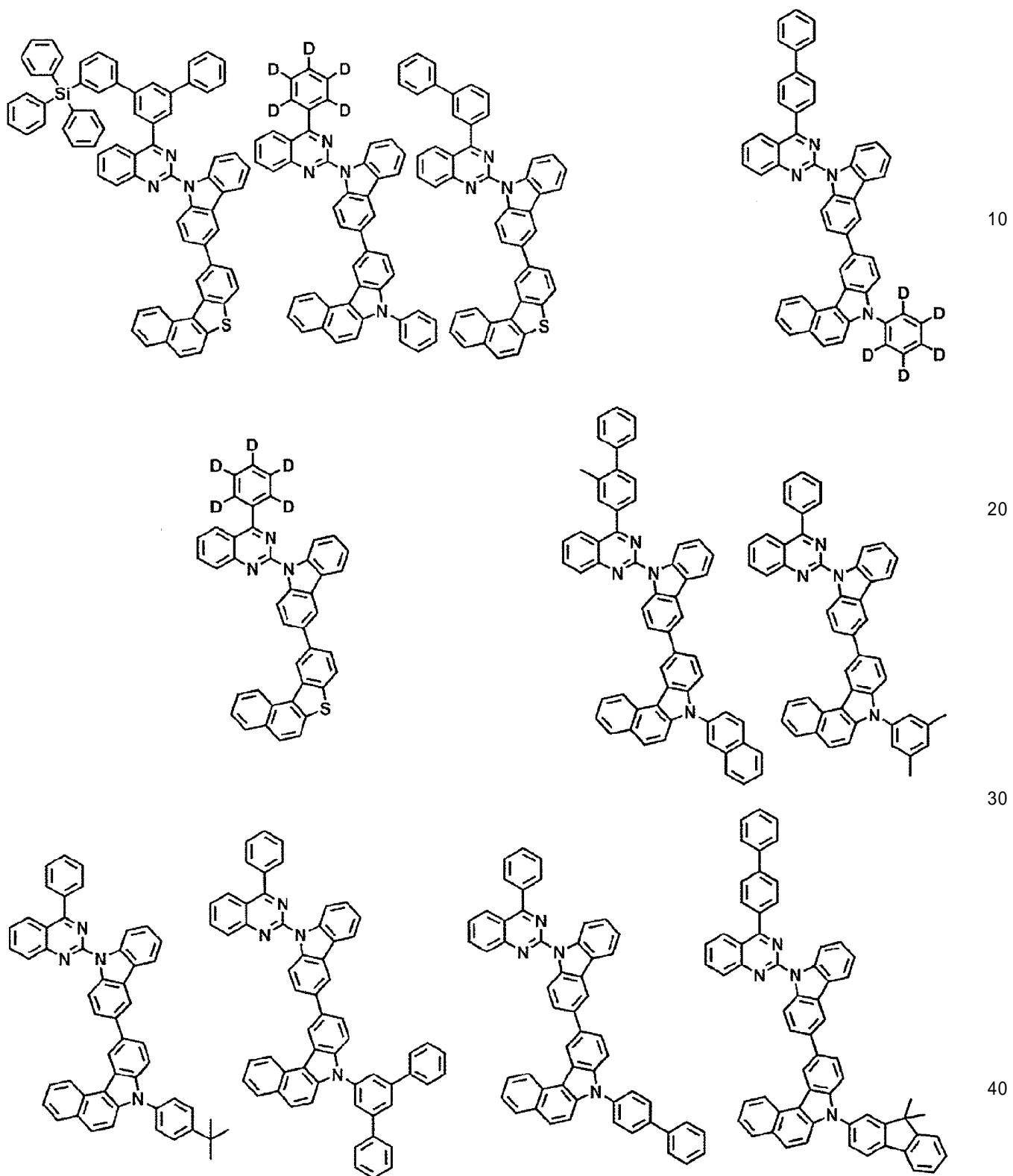
【化 11】



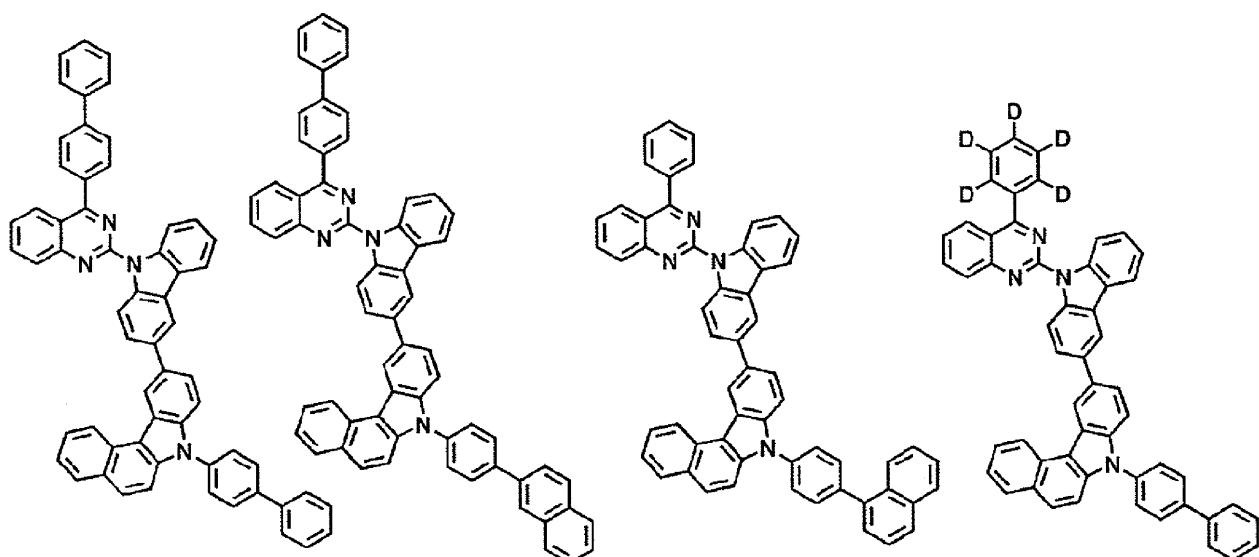
【化 12】



【化 13】

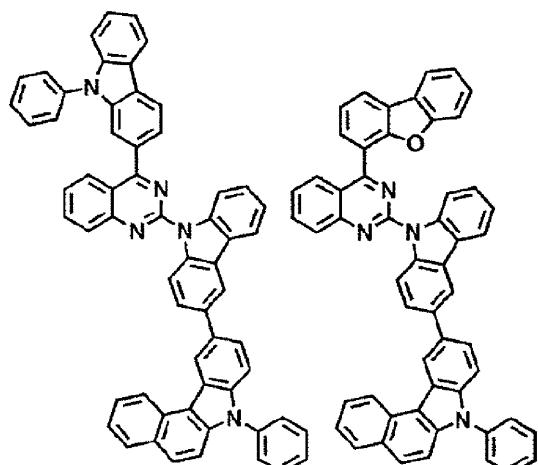
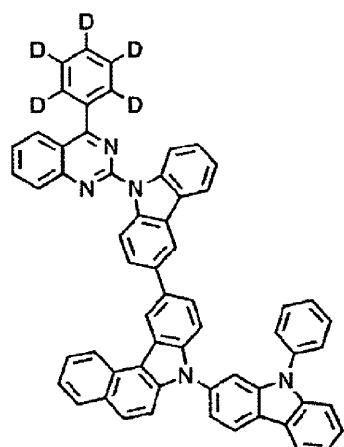


【化 14】

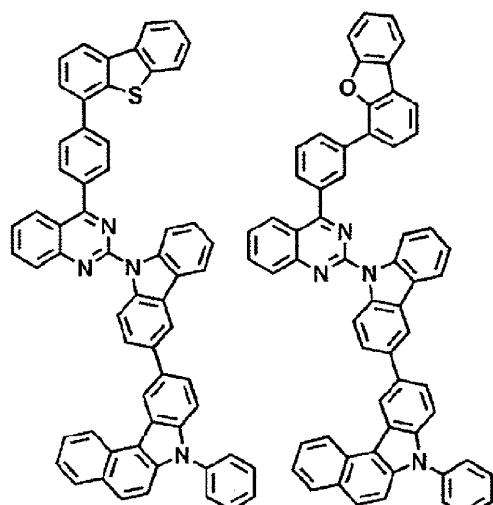
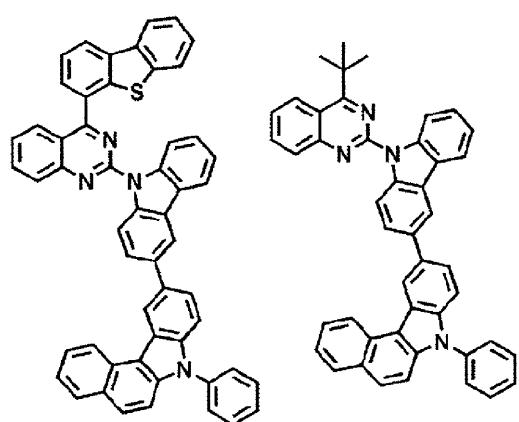


10

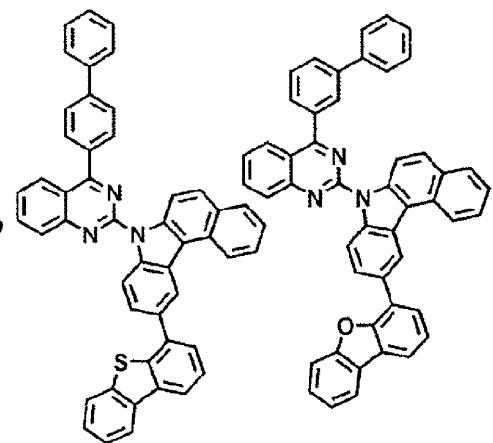
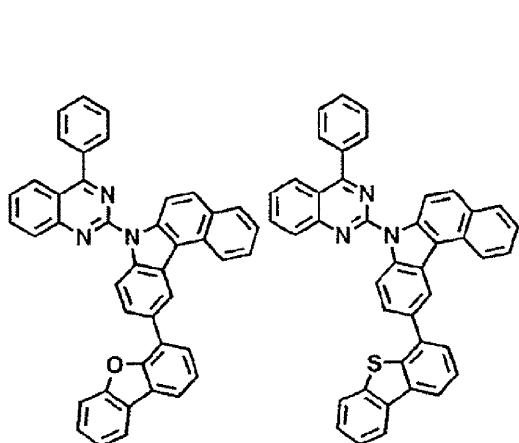
【化 15】



10



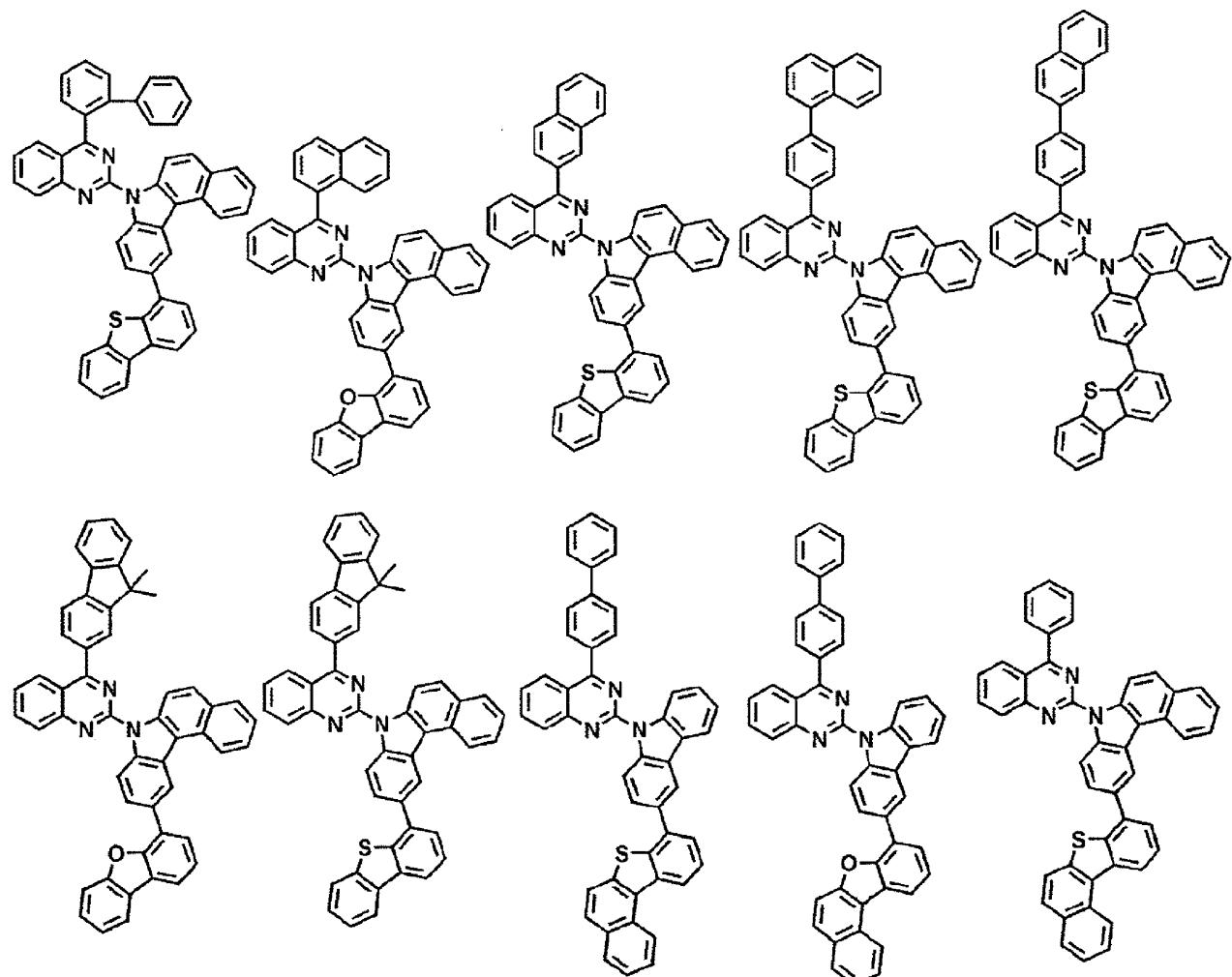
20



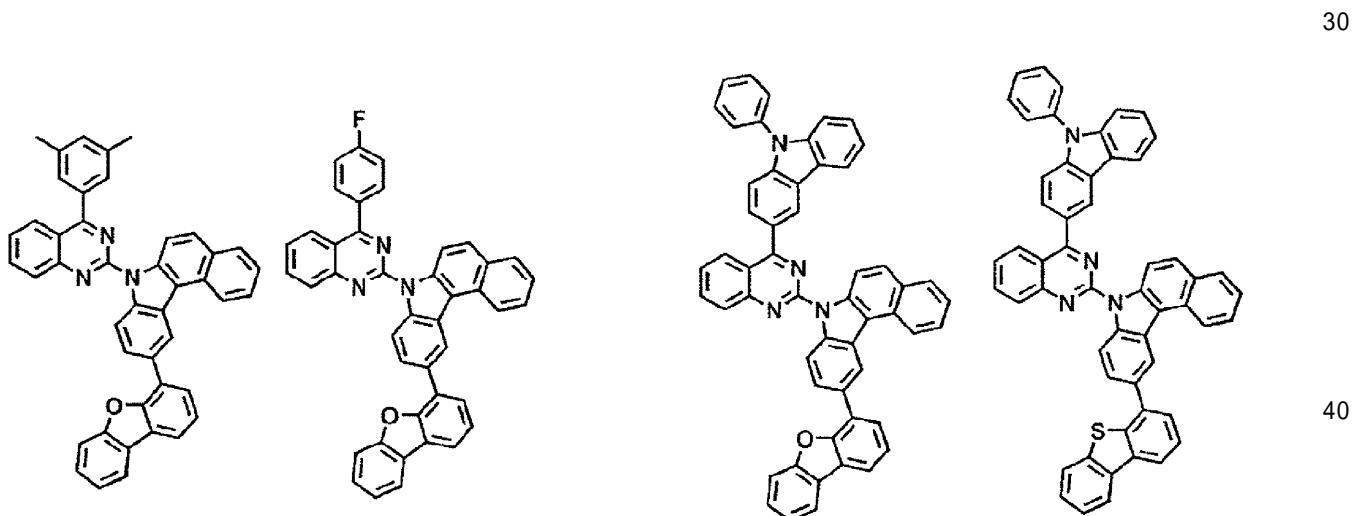
30

40

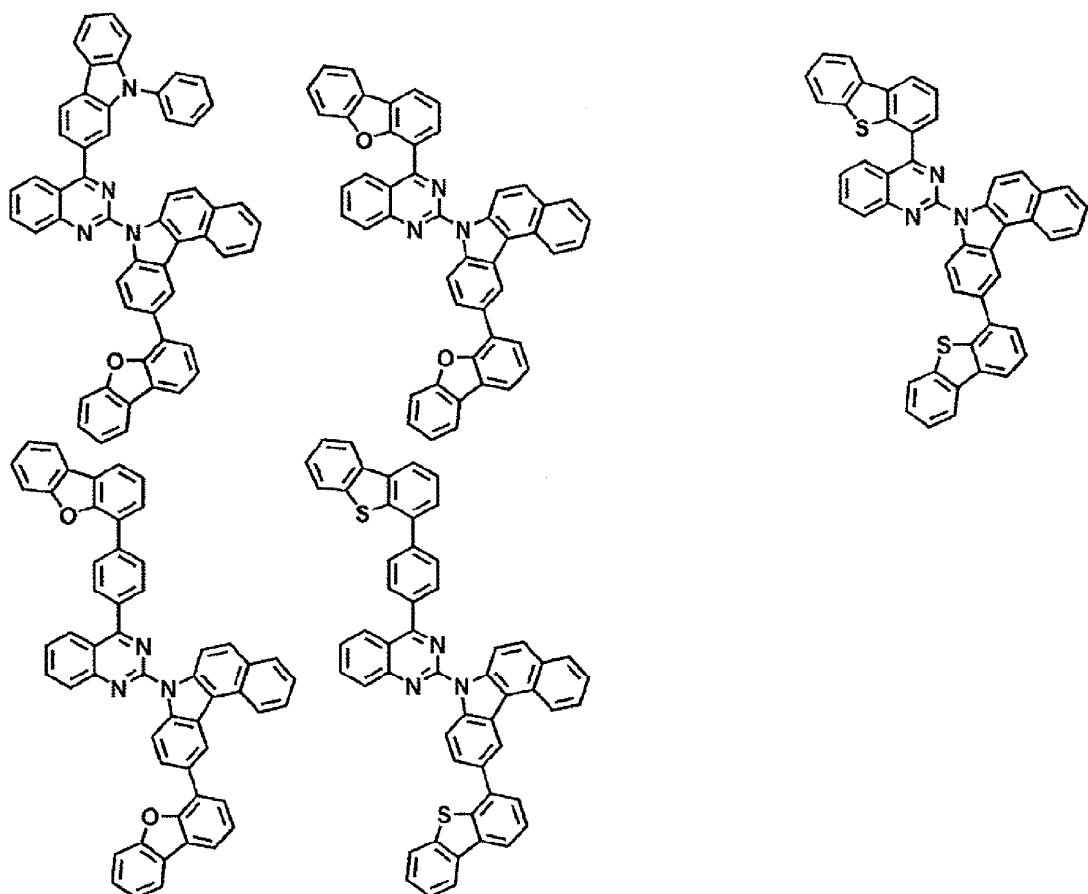
【化 1 6】



【化 1 7】



【化18】



10

20

30

から選択される、請求項1の有機電界発光化合物。

【請求項5】

請求項1の有機電界発光化合物を含む有機電界発光素子。

【請求項6】

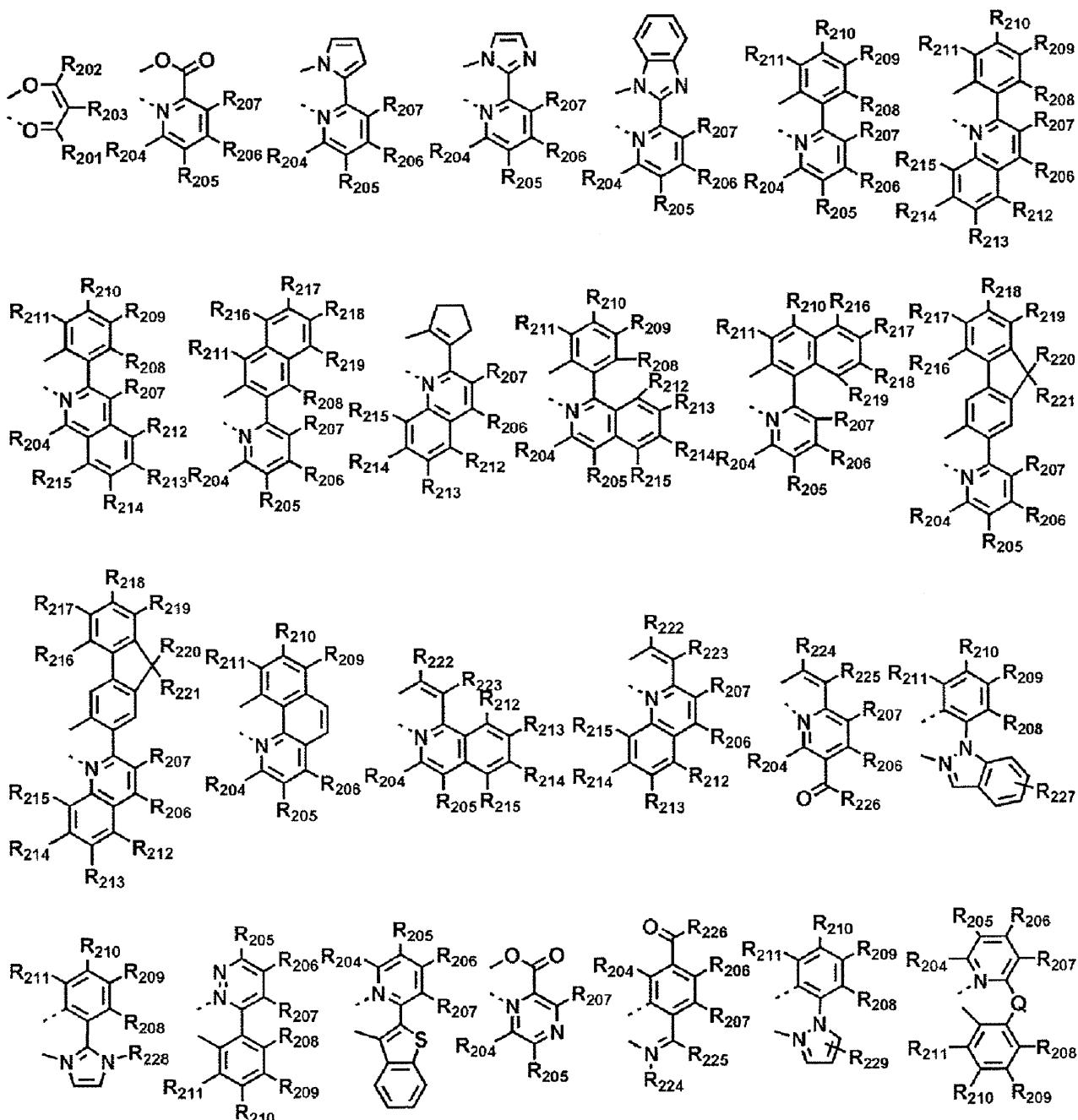
有機電界発光素子が、第1の電極；第2の電極；並びに、前記第1の電極と第2の電極との間に設けられた1以上の有機層；を含み、前記有機層が有機電解発光化合物の1種以上および下記化学式10で表されるリン光ドーパントの1種以上を含む、請求項5の有機電界発光素子：

[化学式10]

$M^1 L^{101} L^{102} L^{103}$

(式中、 M^1 は周期表の第7、8、9、10、11、13、14、15および16族の金属からなる群から選択され、リガンド L^{101} 、 L^{102} および L^{103} は独立して以下の構造から選択される：

【化19】



R₂₀₁ ~ R₂₀₃ は独立して水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない(C1 - C30)アルキル、(C1 - C30)アルキルで置換されているかもしくは置換されていない(C6 - C30)アリール、またはハロゲンを表し；

R₂₀₄ ~ R₂₁₉ は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C1 - C30)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C1 - C30)アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない(C3 - C30)シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C2 - C30)アルケニル、置換されているかもしくは置換されていない(C6 - C30)アリール、置換されているかもしくは置換されていないモノ(C1 - C30)アルキルアミノ、置換されているかもしくは置換されていないジ(C1 - C30)アルキルアミノ、置換されているかもしくは置換されていないモノ(C6 - C30)アリールアミノ、置換されているかもしくは置換されていないジ(C6 - C30)アリールアミノ、SF₅、置換されているかもしくは置換されていないトリ(C1 - C30)アルキルシリル、置換されているかもしくは置換されていないジ(C1 - C30)アルキル(C6 - C30)アリールシリル、置換されているかもしくは置換さ

10

20

30

40

50

れていないトリ(C₆-C₃0)アリールシリル、シアノまたはハロゲンを表し；

R₂₂₀~R₂₂₃は独立して、水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない(C₁-C₃0)アルキル、または(C₁-C₃0)アルキルで置換されているかもしくは置換されていない(C₆-C₃0)アリールを表し；

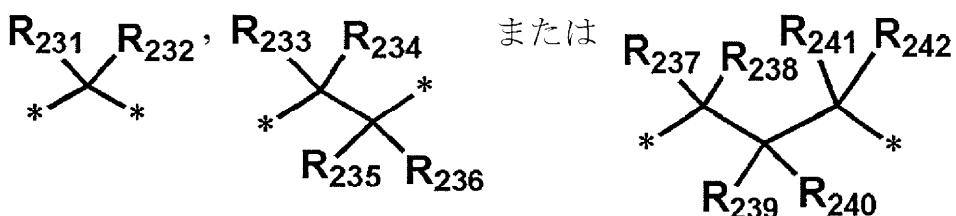
R₂₂₄およびR₂₂₅は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C₁-C₃0)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C₆-C₃0)アリール、またはハロゲンを表し、あるいはR₂₂₄とR₂₂₅とは縮合環を有するかもしくは有しない(C₃-C₁₂)アルキレンまたは(C₃-C₁₂)アルケニレンによって連結されて、脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成していくよく；

R₂₂₆は置換されているかもしくは置換されていない(C₁-C₃0)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C₆-C₃0)アリール、置換されているかもしくは置換されていない(C₂-C₃0)ヘテロアリール、またはハロゲンを表し；

R₂₂₇~R₂₂₉は独立して、水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C₁-C₃0)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C₆-C₃0)アリール、またはハロゲンを表し；並びに

Qは

【化20】



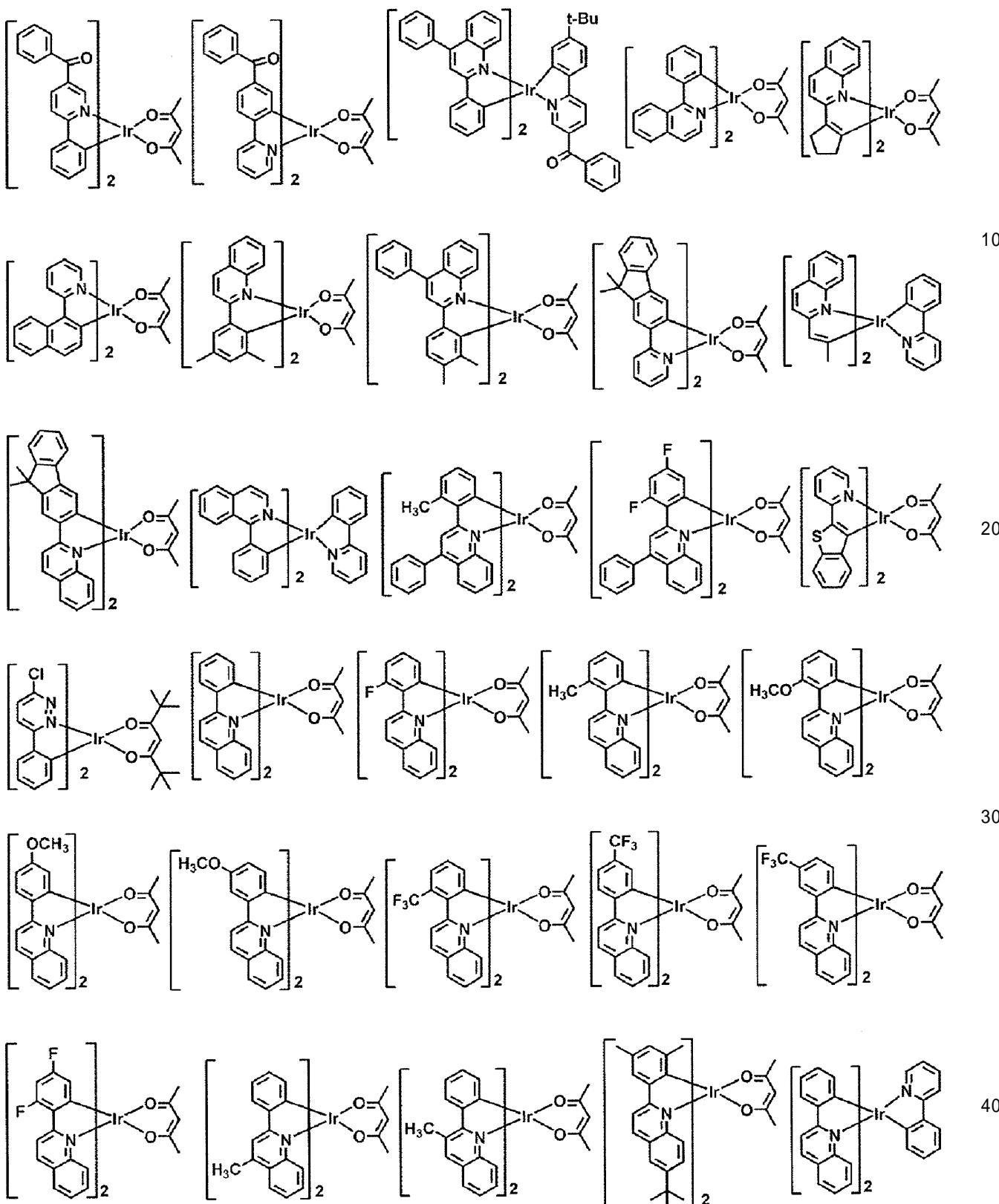
を表し；

R₂₃₁~R₂₄₂は独立して水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない(C₁-C₃0)アルキル、(C₁-C₃0)アルコキシ、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない(C₆-C₃0)アリール、シアノ、または、置換されているかもしくは置換されていない(C₃-C₃0)シクロアルキルを表すか、あるいはそれらはアルキレンもしくはアルケニレンによって隣の置換基に連結されてスピロ環もしくは縮合環を形成していくよく、またはアルキレンもしくはアルケニレンによってR₂₀₇もしくはR₂₀₈に連結されて飽和もしくは不飽和縮合環を形成してよい)。

【請求項7】

前記リン光ドーパントが下記化合物

【化 2 1】



から選択される、請求項 6 の有機電界発光素子。

【請求項 8】

前記有機層が電界発光層と電荷発生層とを含む請求項 6 の有機電界発光素子。

【請求項 9】

前記有機層が、白色光を放射するための、赤色、緑色もしくは青色光を放射する 1 以上の有機電界発光層をさらに含む請求項 6 の有機電界発光素子。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、新規の有機電界発光化合物(organic electroluminescent compound)、およびこれを含む有機電界発光素子(organic electroluminescent device)に関する。

【背景技術】

【0002】

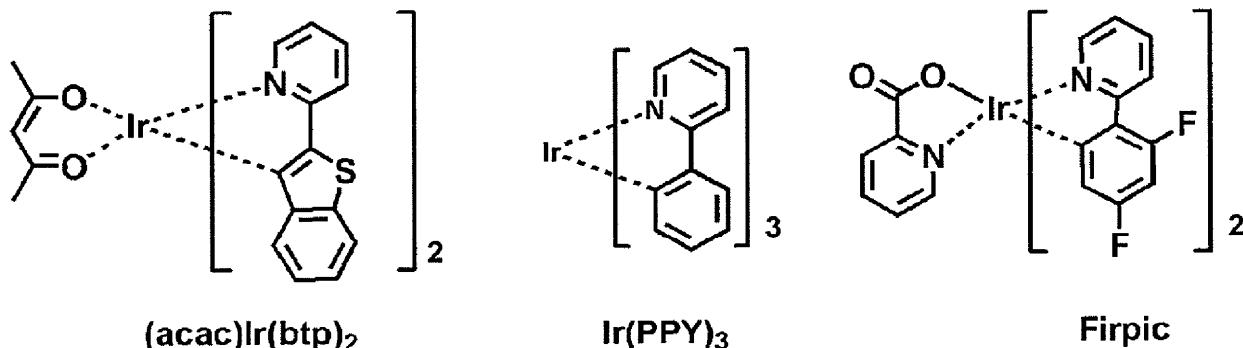
ディスプレイ素子の中では、自己発光型ディスプレイ素子である電界発光(EL)素子は、広い視野角、優れたコントラストおよび速い応答速度を提供するという点で有利である。1987年に、イーストマンコダックは、電界発光層を形成するための物質として、低分子量芳香族ジアミンとアルミニウム錯体を使用する有機EL素子を初めて開発した[Appl. Phys. Lett. 51, 913, 1987]。

【0003】

有機発光ダイオード(OLED)における発光効率を決定するのに最も重要な要因は電界発光材料である。電界発光材料として、今まで、蛍光材料が広く使用されてきたが、電界発光メカニズムの観点からは、リン光材料の開発が発光効率を理論的に4倍まで向上させる最も良い方法のひとつである。今まで、リン光電界発光材料として、イリジウム(III)錯体、例えば、赤色、緑色および青色のものとしてそれぞれ(acac)Ir(btpp)₂、Ir(pppy)₃およびFirpicが広く知られている。特に、近年、多くのリン光材料が日本、欧州および米国において研究されている。

【0004】

【化1】

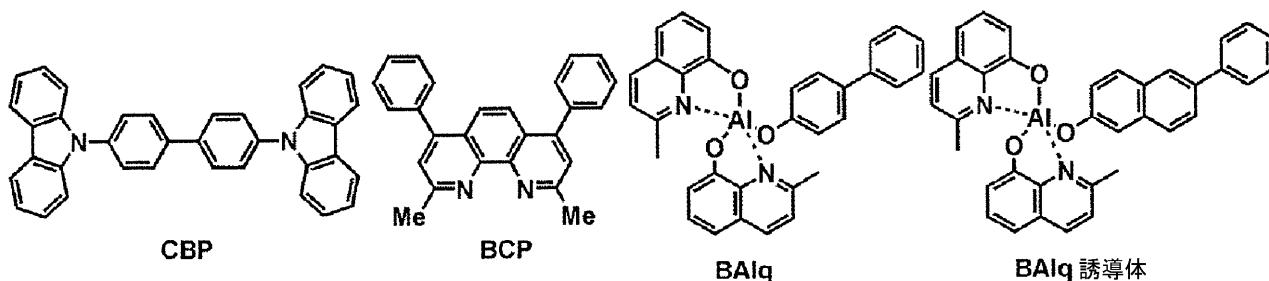


【0005】

今のところ、CBPは、リン光材料のためのホスト材料として最も広く知られている。BCP、BAIqなどを含む正孔ブロッキング層を使用する高効率のOLEDが報告されている。ホストとしてBAIq誘導体を使用する高性能のOLEDがパイオニア(日本国)などによって報告されている。

【0006】

【化2】



10

20

30

40

50

【 0 0 0 7 】

これらの材料は良好な電界発光特性を提供するが、それらは低いガラス転移温度および劣った熱安定性のせいで、真空での高温堆積プロセス中に分解が起こりうるという不利益がある。OLEDの電力効率は、($\text{V}/\text{電圧}$) \times 電流効率により与えられるので、電力効率は電圧に反比例する。OLEDの電力消費を低減させるために、高い電力効率が必要とされる。実際には、リン光材料を使用するOLEDは、蛍光材料を使用するものよりもかなり良好な電流効率 (cd/A) もたらす。しかし、BA1q、CBPなどの既存の材料がリン光材料のホストとして使用される場合には、高い駆動電圧のせいで、蛍光材料を使用するOLEDを超えた電力効率 ($1\text{m}/\text{W}$) における顕著な利点が存在しない。さらに、この材料を使用するOLED素子の寿命は満足いくものではない。

10

【 0 0 0 8 】

一方、国際公開2006/049013号は、その骨格が縮合2環式基を有する有機電界発光材料のための化合物を開示する。しかし、この文献は芳香環と縮合したシクロアルキルまたはヘテロシクロアルキルで置換されたカルバゾール骨格と、窒素含有縮合2環式基との双方を有する化合物を具体的に開示していない。

【先行技術文献】**【特許文献】****【 0 0 0 9 】**

【特許文献1】国際公開2006/049013号パンフレット

20

【非特許文献】**【 0 0 1 0 】**

【非特許文献1】Appl. Phys. Lett. 51, 913, 1987

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【 0 0 1 1 】**

よって、本発明は関連する技術分野において起こる課題に留意してきており、かつ本発明の目的は、既存の材料と比較して優れた発光効率、および適する色座標を有する素子寿命を提供する骨格を有する有機電界発光化合物を提供することである。

【 0 0 1 2 】

本発明の別の目的は前記有機電界発光化合物を電界発光材料として使用する、高効率および長寿命を有する有機電界発光素子を提供することである。

30

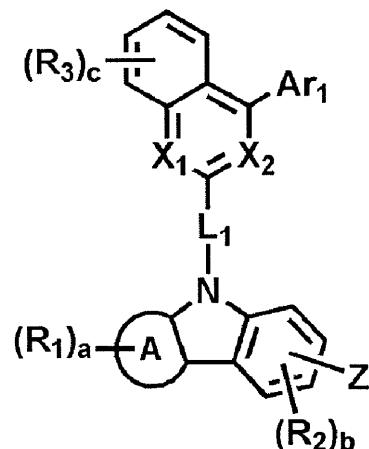
【課題を解決するための手段】**【 0 0 1 3 】**

下記化学式1によって表される有機電界発光化合物のための化合物、およびこれを使用する有機電界発光素子が提供される。優れた発光効率および優れた寿命特性を有するので、本発明に従った有機電界発光化合物は、非常に優れた駆動寿命を有しつつ向上した電力効率のせいでより少ししか電力を消費しないOLED素子を製造するために使用されうる。

【 0 0 1 4 】

【化3】

[化学式1]



10

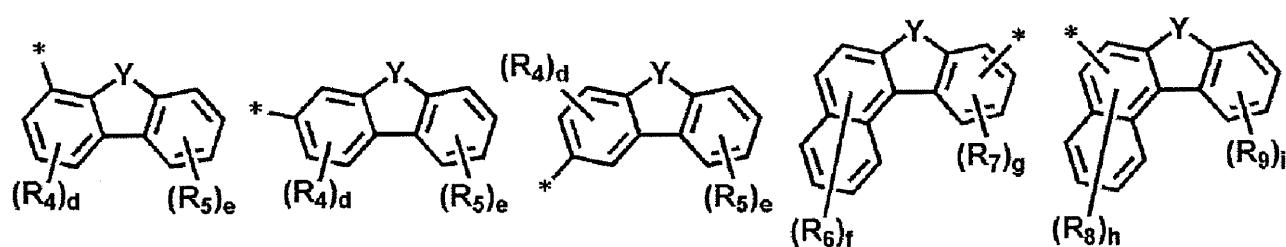
【0015】

式中、環Aは単環式または多環式芳香環を表し；

 X_1 および X_2 は独立してNまたはCR'を表し；L₁は単結合、置換されているかもしくは置換されていない(C6-C30)アリーレン、置換されているかもしくは置換されていない(C2-C30)ヘテロアリーレン、または置換されているかもしくは置換されていない(C3-C30)シクロアルキレンを表し；Ar₁は水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない(C1-C30)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C6-C30)アリール、または置換されているかもしくは置換されていない(C2-C30)ヘテロアリールを表し；

Zは独立して下記構造

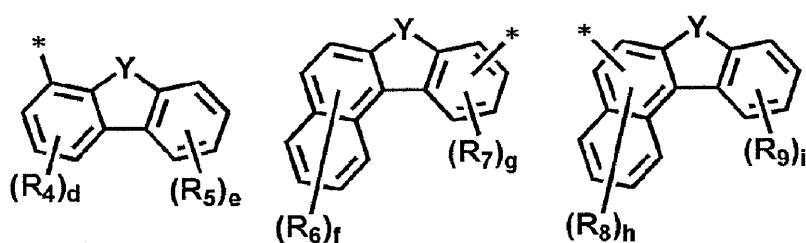
【化4】



30

から選択されるが、環Aが単環式芳香環である場合に限って、Zは下記構造

【化5】



40

から選択され；

Yは-O-、-S-、-C(R₁₁R₁₂)-、-Si(R₁₃R₁₄)-、または-N(R₁₅)-を表し；

50

R₁ ~ R₉ は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C₁ - C₃0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C₆ - C₃0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C₂ - C₃0) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない (C₃ - C₃0) シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない 5 員 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C₆ - C₃0) アリール (C₁ - C₃0) アルキル、1 以上の (C₃ - C₃0) シクロアルキルと縮合した置換されているかもしくは置換されていない (C₆ - C₃0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない 1 以上の芳香環と縮合した 5 員 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C₃ - C₃0) シクロアルキル、-N
R₁₆ R₁₇、-SiR₁₈ R₁₉ R₂₀、-SR₂₁、-OR₂₂、シアノ、ニトロ、またはヒドロキシリルを表すか、あるいは R₁ ~ R₉ は縮合環を有するかもしくは有しない、置換されているかもしくは置換されていない (C₃ - C₃0) アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない (C₃ - C₃0) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて、脂環式環、および単環式もしくは多環式芳香環を形成していてよく、並びに前記脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環の炭素原子は、N、O および S からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子で置き換えられていてよく；

R' および R₁₁ ~ R₂₂ は独立して、水素、重水素、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない (C₁ - C₃0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C₆ - C₃0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C₂ - C₃0) ヘテロアリール、置換されているかもしくは置換されていない 5 員 ~ 7 員のヘテロシクロアルキル、または置換されているかもしくは置換されていない (C₃ - C₃0) シクロアルキルを表すか、あるいはそれらは、縮合環を有するかもしくは有しない、置換されているかもしくは置換されていない (C₃ - C₃0) アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない (C₃ - C₃0) アルケニレンによって隣の置換基に連結されて、脂環式環、および単環式もしくは多環式芳香環を形成していてよく、並びに前記脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環の炭素原子は、N、O および S からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子で置き換えられていてよく；

a、c、e および i は独立して 1 ~ 4 の整数を表すが； a、c、e および i が 2 以上の整数である場合にはそれぞれの R₁、R₃、R₅ および R₉ は互いに同じかまたは異なっていてよく；

b、d および g は独立して 1 ~ 3 の整数を表すが； b、d および g が 2 以上の整数である場合にはそれぞれの R₂、R₄ および R₇ は互いに同じかまたは異なっていてよく；

f は 1 ~ 6 の整数を表すが； f が 2 以上の整数である場合にはそれぞれの R₆ は互いに同じかまたは異なっていてよく；

h は 1 ~ 5 の整数を表すが； h が 2 以上の整数である場合にはそれぞれの R₈ は互いに同じかまたは異なっていてよく； 並びに

前記ヘテロ芳香環、ヘテロアリーレン、ヘテロシクロアルキル、およびヘテロアリールは B、N、O、S、P (= O)、Si および P からなる群から選択される 1 以上のヘテロ原子を含む。

【0016】

本明細書において記載される場合、「アルキル」、「アルコキシ」、および「アルキル」部分を含む他の置換基は、線状および分岐の種類の双方を含み、並びに「シクロアルキル」は単環式炭化水素環だけでなく、多環式炭化水素環、例えば、置換されているかもしくは置換されていないアダマンチル、または置換されているかもしくは置換されていない (C₇ - C₃0) ビシクロアルキルを含む。本明細書において記載される場合、「アリール」は、芳香族炭化水素から 1 つの水素原子を除去することにより得られる有機基を意味し、4 ~ 7 員、特に 5 もしくは 6 員の、単環もしくは縮合環が挙げられることができ、さらには、複数のアリールが単結合で連結されている構造が挙げられる。その具体的な例としては、フェニル、ナフチル、ビフェニル、テルフェニル、アントリル、インデニル、フ

10

20

30

40

50

ルオレニル、フェナントリル、トリフェニレニル、ピレニル、ペリレニル、クリセニル、ナフタセニル、フルオランテニルなどが挙げられるが、これらに限定されない。ナフチルには、1 - ナフチルおよび2 - ナフチルが挙げられ、アントリルには1 - アントリル、2 - アントリルおよび9 - アントリルが挙げられ、フェナントリルには1 - フェナントリル、2 - フェナントリル、3 - フェナントリル、4 - フェナントリルおよび9 - フェナントリルが挙げられ、ナフタセニルには、1 - ナフタセニル、2 - ナフタセニルおよび9 - ナフタセニルが挙げられる。ピレニルには1 - ピレニル、2 - ピレニルおよび4 - ピレニルが挙げられ、ビフェニルには2 - ビフェニル、3 - ビフェニルおよび4 - ビフェニルが挙げられ、テルフェニルには、p - テルフェニル - 4 - イル、p - テルフェニル - 3 - イル、p - テルフェニル - 2 - イル、m - テルフェニル - 4 - イル、m - テルフェニル - 3 - イル、およびm - テルフェニル - 2 - イルが挙げられ、並びにフルオレニルには1 - フルオレニル、2 - フルオレニル、3 - フルオレニル、4 - フルオレニルおよび9 - フルオレニルが挙げられる。

10

【0017】

本明細書に記載される「ヘテロアリール」は、芳香環骨格原子としてB、N、O、S、P、P(=O)、SiおよびSeからなる群から選択される1~4個のヘテロ原子を含み、残りの芳香環骨格原子が炭素であるアリール基を意味する。それは、5員もしくは6員の単環式ヘテロアリール、または1以上のベンゼン環と縮合した多環式ヘテロアリールであってよく、部分的に飽和されていてよい。本発明においては、「ヘテロアリール」は、1以上のヘテロアリールが単結合によって連結された構造を含む。ヘテロアリールには、環のヘテロ原子が酸化されるかまたは四級化されていてよい2価のアリール基が挙げられる。その具体的な例には、単環式ヘテロアリール、例えば、フリル、チオフェニル、ピロリル、イミダゾリル、ピラゾリル、チアゾリル、チアジアゾリル、イソチアゾリル、イソオキサゾリル、オキサゾリル、オキサジアゾリル、トリアジニル、テトラジニル、トリアゾリル、フラザニル、ピリジル、ピラジニル、ピリミジニル、ピリダジニルなど；多環式ヘテロアリール、例えば、ベンゾフラニル、ベンゾチオフェニル、ジベンゾフラニル、ジベンゾチオフェニル、イソベンゾフラニル、ベンゾイミダゾリル、ベンゾチアゾリル、ベンゾイソチアゾリル、ベンゾイソオキサゾリル、ベンゾオキサゾリル、イソインドリル、インドリル、インダゾリル、ベンゾチアジアゾリル、キノリル、イソキノリル、シンノリニル、キナゾリニル、キノキサリニル、カルバゾリル、フェナントリジニル、ベンゾジオキソリル、アクリジニル、フェナントロリニル、フェナジニル、フェノチアジニル、フェノキサジニルなど；そのN - オキシド（例えば、ピリジルN - オキシド、キノリルN - オキシド）、その第四級塩などが挙げられるが、これらに限定されない。

20

【0018】

ピロリルには、1 - ピロリル、2 - ピロリルおよび3 - ピロリルが挙げられ；ピリジルには、2 - ピリジル、3 - ピリジル、および4 - ピリジルが挙げられ；インドリルには、1 - インドリル、2 - インドリル、3 - インドリル、4 - インドリル、5 - インドリル、6 - インドリル、および7 - インドリルが挙げられ；イソインドリルには、1 - イソインドリル、2 - イソインドリル、3 - イソインドリル、4 - イソインドリル、5 - イソインドリル、6 - イソインドリル、および7 - イソインドリルが挙げられ；フリルには、2 - フリルおよび3 - フリルが挙げられ；ベンゾフラニルには、2 - ベンゾフラニル、3 - ベンゾフラニル、4 - ベンゾフラニル、5 - ベンゾフラニル、6 - ベンゾフラニル、および7 - ベンゾフラニルが挙げられ；イソベンゾフラニルには、1 - イソベンゾフラニル、3 - イソベンゾフラニル、4 - イソベンゾフラニル、5 - イソベンゾフラニル、6 - イソベンゾフラニル、および7 - イソベンゾフラニルが挙げられ；キノリルには、3 - キノリル、4 - キノリル、5 - キノリル、6 - キノリル、7 - キノリル、および8 - キノリルが挙げられ；イソキノリルには、1 - イソキノリル、3 - イソキノリル、4 - イソキノリル、5 - イソキノリル、6 - イソキノリル、7 - イソキノリル、および8 - イソキノリルが挙げられ；キノキサリニルには、2 - キノキサリニル、5 - キノキサリニル、および6 - キ

30

40

50

ノキサリニルが挙げられ；カルバゾリルには、1 - カルバゾリル、2 - カルバゾリル、3 - カルバゾリル、4 - カルバゾリルおよび9 - カルバゾリルが挙げられ；フェナントリジニルには、1 - フェナントリジニル、2 - フェナントリジニル、3 - フェナントリジニル、4 - フェナントリジニル、6 - フェナントリジニル、7 - フェナントリジニル、8 - フェナントリジニル、9 - フェナントリジニル、および10 - フェナントリジニルが挙げられ；アクリジニルには、1 - アクリジニル、2 - アクリジニル、3 - アクリジニル、4 - アクリジニル、および9 - アクリジニルが挙げられ；フェナントロリニルには、1 , 7 - フェナントロリン - 2 - イル、1 , 7 - フェナントロリン - 3 - イル、1 , 7 - フェナントロリン - 4 - イル、1 , 7 - フェナントロリン - 5 - イル、1 , 7 - フェナントロリン - 6 - イル、1 , 7 - フェナントロリン - 8 - イル、1 , 7 - フェナントロリン - 9 - イル、1 , 7 - フェナントロリン - 10 - イル、1 , 8 - フェナントロリン - 2 - イル、1 , 8 - フェナントロリン - 3 - イル、1 , 8 - フェナントロリン - 4 - イル、1 , 8 - フェナントロリン - 5 - イル、1 , 8 - フェナントロリン - 6 - イル、1 , 8 - フェナントロリン - 7 - イル、1 , 8 - フェナントロリン - 9 - イル、1 , 8 - フェナントロリン - 10 - イル、1 , 9 - フェナントロリン - 2 - イル、1 , 9 - フェナントロリン - 3 - イル、1 , 9 - フェナントロリン - 4 - イル、1 , 9 - フェナントロリン - 5 - イル、1 , 9 - フェナントロリン - 6 - イル、1 , 9 - フェナントロリン - 7 - イル、1 , 9 - フェナントロリン - 8 - イル、1 , 9 - フェナントロリン - 10 - イル、1 , 10 - フェナントロリン - 2 - イル、1 , 10 - フェナントロリン - 3 - イル、1 , 10 - フェナントロリン - 4 - イル、1 , 10 - フェナントロリン - 5 - イル、2 , 9 - フェナントロリン - 1 - イル、2 , 9 - フェナントロリン - 3 - イル、2 , 9 - フェナントロリン - 4 - イル、2 , 9 - フェナントロリン - 5 - イル、2 , 9 - フェナントロリン - 6 - イル、2 , 9 - フェナントロリン - 7 - イル、2 , 9 - フェナントロリン - 8 - イル、2 , 9 - フェナントロリン - 10 - イル、2 , 8 - フェナントロリン - 1 - イル、2 , 8 - フェナントロリン - 3 - イル、2 , 8 - フェナントロリン - 4 - イル、2 , 8 - フェナントロリン - 5 - イル、2 , 8 - フェナントロリン - 6 - イル、2 , 8 - フェナントロリン - 7 - イル、2 , 8 - フェナントロリン - 9 - イル、2 , 8 - フェナントロリン - 10 - イル、2 , 7 - フェナントロリン - 1 - イル、2 , 7 - フェナントロリン - 3 - イル、2 , 7 - フェナントロリン - 4 - イル、2 , 7 - フェナントロリン - 5 - イル、2 , 7 - フェナントロリン - 6 - イル、2 , 7 - フェナントロリン - 8 - イル、2 , 7 - フェナントロリン - 9 - イル、および2 , 7 - フェナントロリン - 10 - イルが挙げられ；フェナジニルには、1 - フェナジニル、および2 - フェナジニルが挙げられ；フェノチアジニルには、1 - フェノチアジニル、2 - フェノチアジニル、3 - フェノチアジニル、4 - フェノチアジニル、および10 - フェノチアジニルが挙げられ；フェノキサジニルには、1 - フェノキサジニル、2 - フェノキサジニル、3 - フェノキサジニル、4 - フェノキサジニルおよび10 - フェノキサジニルが挙げられ；オキサゾリルには、2 - オキサゾリル、4 - オキサゾリル、および5 - オキサゾリルが挙げられ；オキサジアゾリルには、2 - オキサジアゾリル、および5 - オキサジアゾリルが挙げられ；フラザニルには3 - フラザニルが挙げられ；ジベンゾフラニルには、1 - ジベンゾフラニル、2 - ジベンゾフラニル、3 - ジベンゾフラニルおよび4 - ジベンゾフラニルが挙げられ；並びに、ジベンゾチオフェニルには、1 - ジベンゾチオフェニル、2 - ジベンゾチオフェニル、3 - ジベンゾチオフェニルおよび4 - ジベンゾチオフェニルが挙げられる。

【0019】

本明細書において記載される場合、用語「(C1 - C30)アルキル」は(C1 - C20)アルキルまたは(C1 - C10)アルキルを含み、用語「(C6 - C30)アリール」は(C6 - C20)アリールを含む。用語「(C2 - C30)ヘテロアリール」は(C2 - C20)ヘテロアリールを含み、用語「(C3 - C30)シクロアルキル」は(C3 - C20)シクロアルキルまたは(C3 - C7)シクロアルキルを含む。用語「(C2 - C30)アルケニルもしくはアルキニル」は(C2 - C20)アルケニルもしくはアルキニル、または(C2 - C10)アルケニルもしくはアルキニルを含む。

10

20

30

40

50

【0020】

本明細書において使用される、「置換されているかもしくは置換されていない（または、置換基（单一もしくは複数）を有するかもしくは有しない）」の表現においては、「置換されている（置換基（单一もしくは複数）を有する）」は、置換されていない置換基がさらに置換基（单一もしくは複数）で置換されていることを意味する。前記 L₁、A r₁、R₁ ~ R₉、R、およびR₁₁ ~ R₂₂ の各置換基は、重水素、ハロゲン、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない（C₁ ~ C₃₀）アルキル、（C₆ ~ C₃₀）アリール、（C₆ ~ C₃₀）アリールで置換されているかもしくは置換されていない（C₂ ~ C₃₀）ヘテロアリール、5員~7員のヘテロシクロアルキル、1以上の芳香環と縮合した5員~7員のヘテロシクロアルキル、（C₃ ~ C₃₀）シクロアルキル、1以上の芳香環と縮合した（C₆ ~ C₃₀）シクロアルキル、R^aR^bR^cS i -、（C₂ ~ C₃₀）アルケニル、（C₂ ~ C₃₀）アルキニル、シアノ、カルバゾリル、-N R^dR^e、-BR^fR^g、-PR^hRⁱ、-P(=O)R^jR^k、（C₆ ~ C₃₀）アリール（C₁ ~ C₃₀）アルキル、（C₁ ~ C₃₀）アルキル（C₆ ~ C₃₀）アリール、R¹T-、R^mC(=O)-、R^mC(=O)O-、カルボキシル、ニトロ、およびヒドロキシルからなる群から選択される1以上の置換基によってさらに置換されていてよく、ここでR^a ~ R¹は独立して（C₁ ~ C₃₀）アルキル、（C₆ ~ C₃₀）アリール、または（C₂ ~ C₃₀）ヘテロアリールを表し；TはSまたはOであり；並びに、R^mは（C₁ ~ C₃₀）アルキル、（C₁ ~ C₃₀）アルコキシ、（C₆ ~ C₃₀）アリール、または（C₆ ~ C₃₀）アリールオキシを表す。

10

20

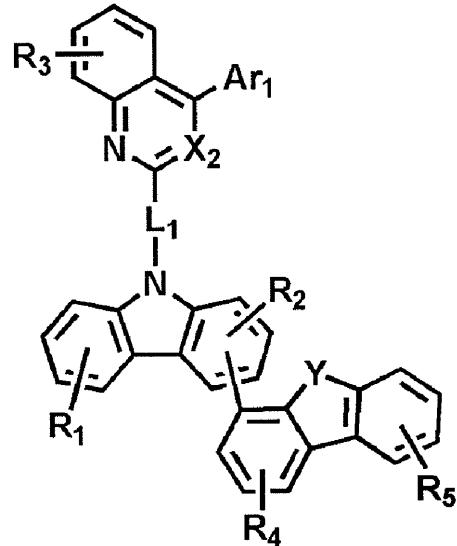
【0021】

この有機電界発光化合物は下記化学式2~9で表されうる

【0022】

【化6】

[化学式2]

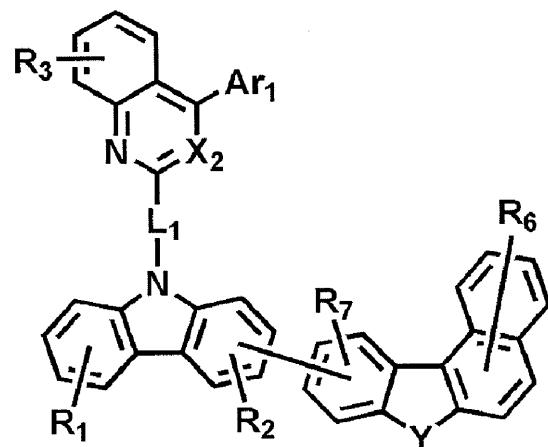


30

40

【化 7】

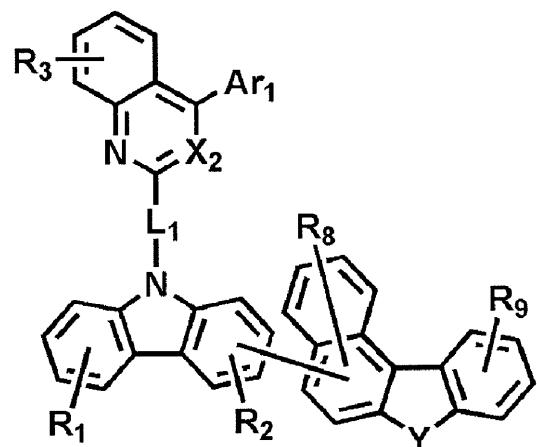
[化学式 3]



10

【化 8】

[化学式 4]

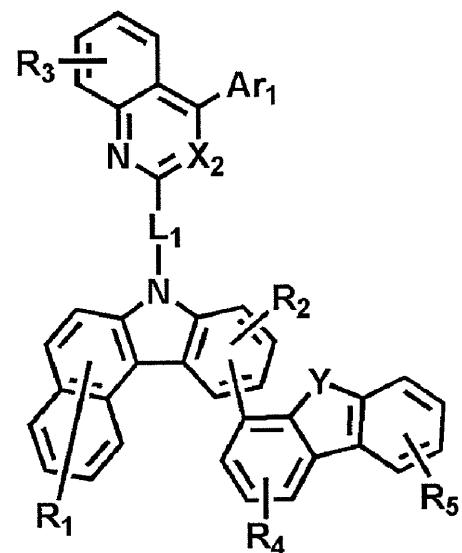


20

30

【化 9】

[化学式 5]

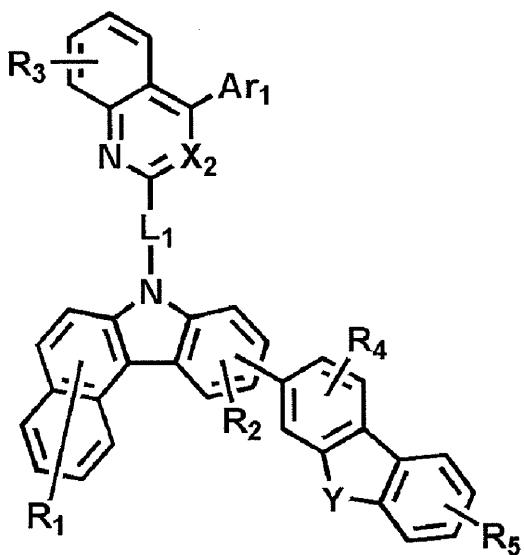


40

50

【化 10】

[化学式 6]

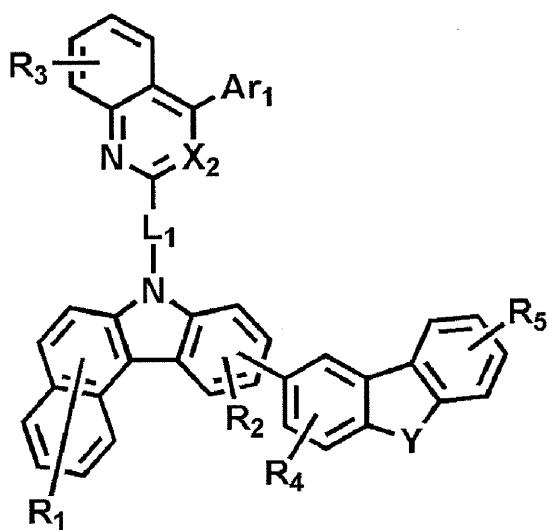


10

【化 11】

[化学式 7]

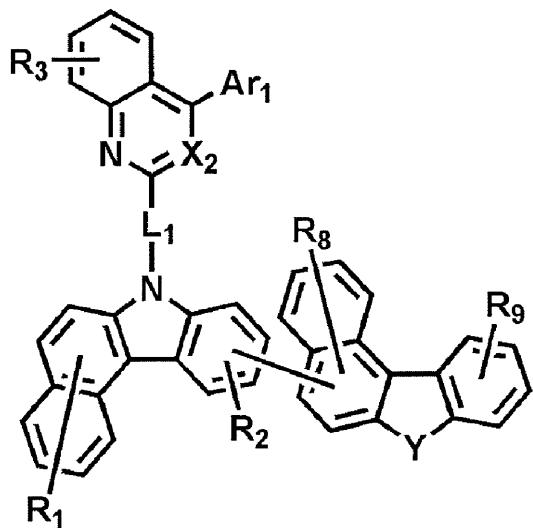
20



30

【化12】

[化学式8]

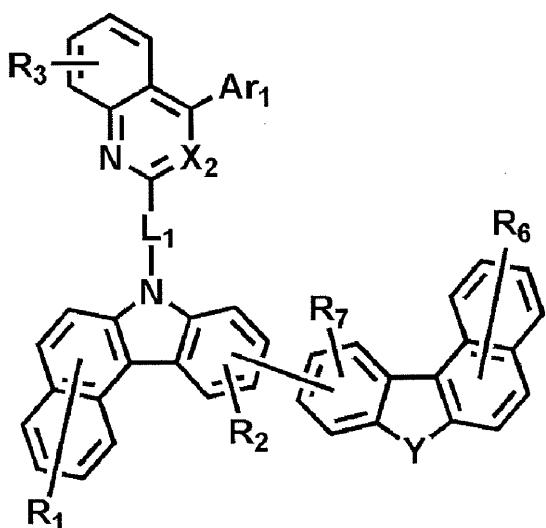


10

【化13】

[化学式9]

20



30

【0023】

式中、 X_2 は N または C H であり； Y は - O - 、 - S - 、 - C (R₁₁, R₁₂) - 、 または - N (R₁₅) - であり； L₁ は単結合、置換されているかもしくは置換されていない (C₆-C₃0) アリーレン、または置換されているかもしくは置換されていない (C₂-C₃0) ヘテロアリーレンを表し； Ar₁ は水素、置換されているかもしくは置換されていない (C₁-C₃0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C₆-C₃0) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない (C₂-C₃0) ヘテロアリールを表し； R₁ ~ R₉ は独立して、水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない (C₆-C₃0) アリール、置換されているかもしくは置換されていない (C₂-C₃0) ヘテロアリール、NR₁₆R₁₇、またはSiR₁₈R₁₉R₂₀ を表し； R₁₁、R₁₂、R₁₅、およびR₁₆ ~ R₂₀ は独立して、水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない (C₁-C₃0) アルキル、置換されているかもしくは置換されていない (C₆-C₃0) アリール、または置換されているかもしくは置換されていない (C₂-C₃0) ヘテロアリールを表すか、あるいはR₁₆ と R₁₇ とは、縮合環を有するかもしくは有しない、置換されているかもしくは置換されていな

40

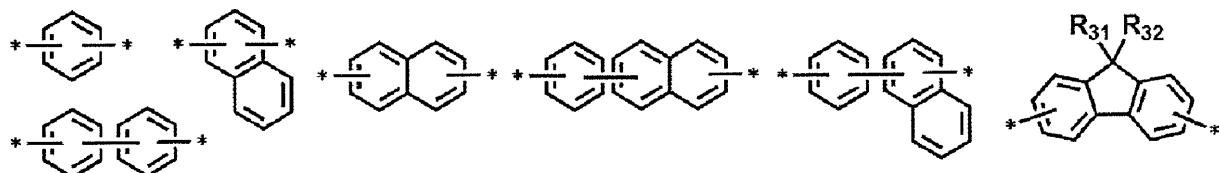
50

い(C₃ - C₃₀)アルキレンまたは置換されているかもしくは置換されていない(C₃ - C₃₀)アルケニレンによって連結されて、脂環式環、または単環式もしくは多環式芳香環を形成していてよく、並びに前記脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環の炭素原子は、N、OおよびSからなる群から選択される1以上のヘテロ原子で置き換えられていてよい。

【0024】

具体化するために、X₂はNまたはCHを表し；Yは-O-、-S-、-C(R₁ R₂)₂、または-N(R₁ R₂)₂を表し；L₁は単結合、または下記構造

【化14】



10

から選択されるアリーレンを表し；

R₃₁およびR₃₂は独立して、メチル、エチル、n-プロピル、i-プロピル、n-ブチル、i-ブチル、t-ブチル、n-ペンチル、i-ペンチル、n-ヘキシル、n-ヘプチル、n-オクチル、2-エチルヘキシル、n-ノニル、デシル、ドデシル、ヘキサデシル、トリフルオロメチル、ペルフルオロエチル、トリフルオロエチル、ペルフルオロブチル、ペルフルオロブチル、フェニル、ナフチル、ピリジルまたはキノリルを表し；

A_r₁は水素、メチル、エチル、n-プロピル、i-プロピル、n-ブチル、i-ブチル、t-ブチル、n-ペンチル、i-ペンチル、n-ヘキシル、n-ヘプチル、n-オクチル、2-エチルヘキシル、n-ノニル、デシル、ドデシル、ヘキサデシル、トリフルオロメチル、ペルフルオロエチル、トリフルオロエチル、ペルフルオロブチル、ペルフルオロブチル、フェニル、ビフェニル、テルフェニル、ナフチル、9,9-ジフェニルフルオレニル、9,9-ジメチルフルオレニル、フルオランテニル、ピリジル、ジベンゾフラニル、ジベンゾチオフェニルまたはN-フェニルカルバゾリルを表し、並びにA₁のフェニル、ビフェニル、テルフェニル、ナフチルおよびカルバゾリルは、重水素、フッ素、メチル、エチル、n-プロピル、i-プロピル、n-ブチル、i-ブチル、t-ブチル、n-ペンチル、i-ペンチル、n-ヘキシル、n-ヘプチル、n-オクチル、2-エチルヘキシル、n-ノニル、デシル、ドデシル、ヘキサデシル、トリフルオロメチル、ペルフルオロエチル、トリフルオロエチル、ペルフルオロブチル、ペルフルオロブチル、フェニルシリル、トリメチルシリル、ジメチルフェニルシリル、ジフェニルメチルシリル、フェニル、ナフチル、9,9-ジフェニルフルオレニル、9,9-ジメチルフルオレニル、フェニルピリジル、カルバゾリル、フルオランテニル、ジベンゾフラニル、およびジベンゾチオフェニルからなる群から選択される1以上の置換基でさらに置換されていてよく；並びに

R₁～R₉は独立して、水素、重水素、フェニル、ピリジル、ジベンゾフラニル、ジベンゾチオフェニル、アミノまたはカルバゾリルを表し；R₁₁、R₁₂およびR₁₅は独立して、水素、重水素、メチル、エチル、n-プロピル、i-プロピル、n-ブチル、i-ブチル、t-ブチル、n-ペンチル、i-ペンチル、n-ヘキシル、n-ヘプチル、n-オクチル、2-エチルヘキシル、n-ノニル、デシル、ドデシル、ヘキサデシル、トリフルオロメチル、ペルフルオロエチル、トリフルオロエチル、ペルフルオロブチル、ペルフルオロブチル、フェニル、ビフェニル、9,9-ジフェニルフルオレニル、9,9-ジメチルフルオレニル、ナフチル、ピリジル、N-フェニルカルバゾリルまたはキノリルを表し、並びにR₁₁、R₁₂およびR₁₅のフェニルは、重水素、ハロゲン、メチル、エチル、n-プロピル、i-プロピル、n-ブチル、i-ブチル、t-ブチル、n-ペンチル、i-ペンチル、n-ヘキシル、n-ヘプチル、n-オクチル、2-エチルヘキシル、n-ノニル、デシル、ドデシル、ヘキサデシル、トリフルオロメチル、ペルフルオロエチル

20

30

40

50

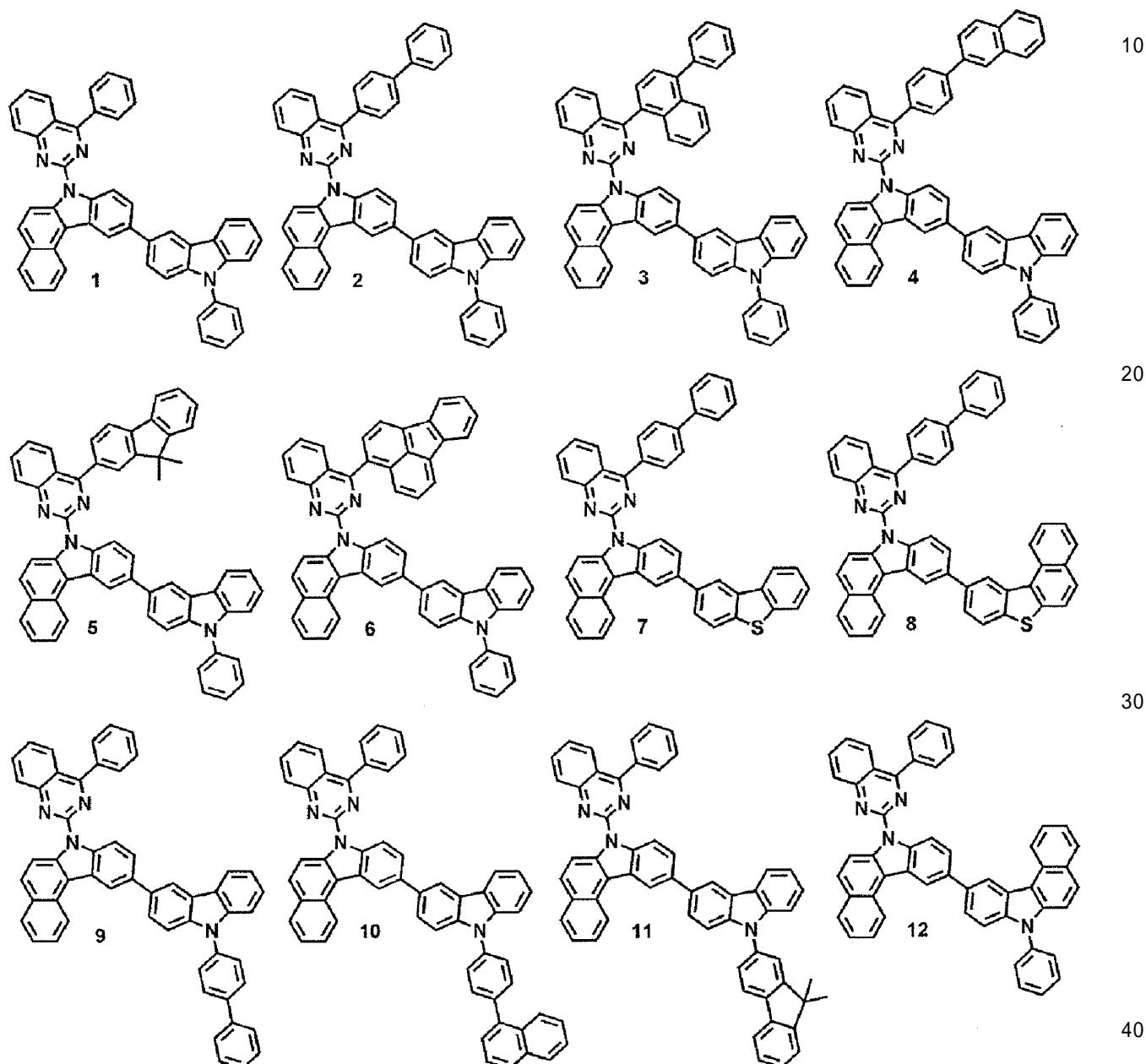
チル、トリフルオロエチル、ペルフルオロプロピル、ペルフルオロブチル、フェニル、およびナフチルからなる群から選択される1以上の置換基でさらに置換されていてよく、並びにR₁₁とR₁₂とは互いに連結されて環を形成していてよい。

【0025】

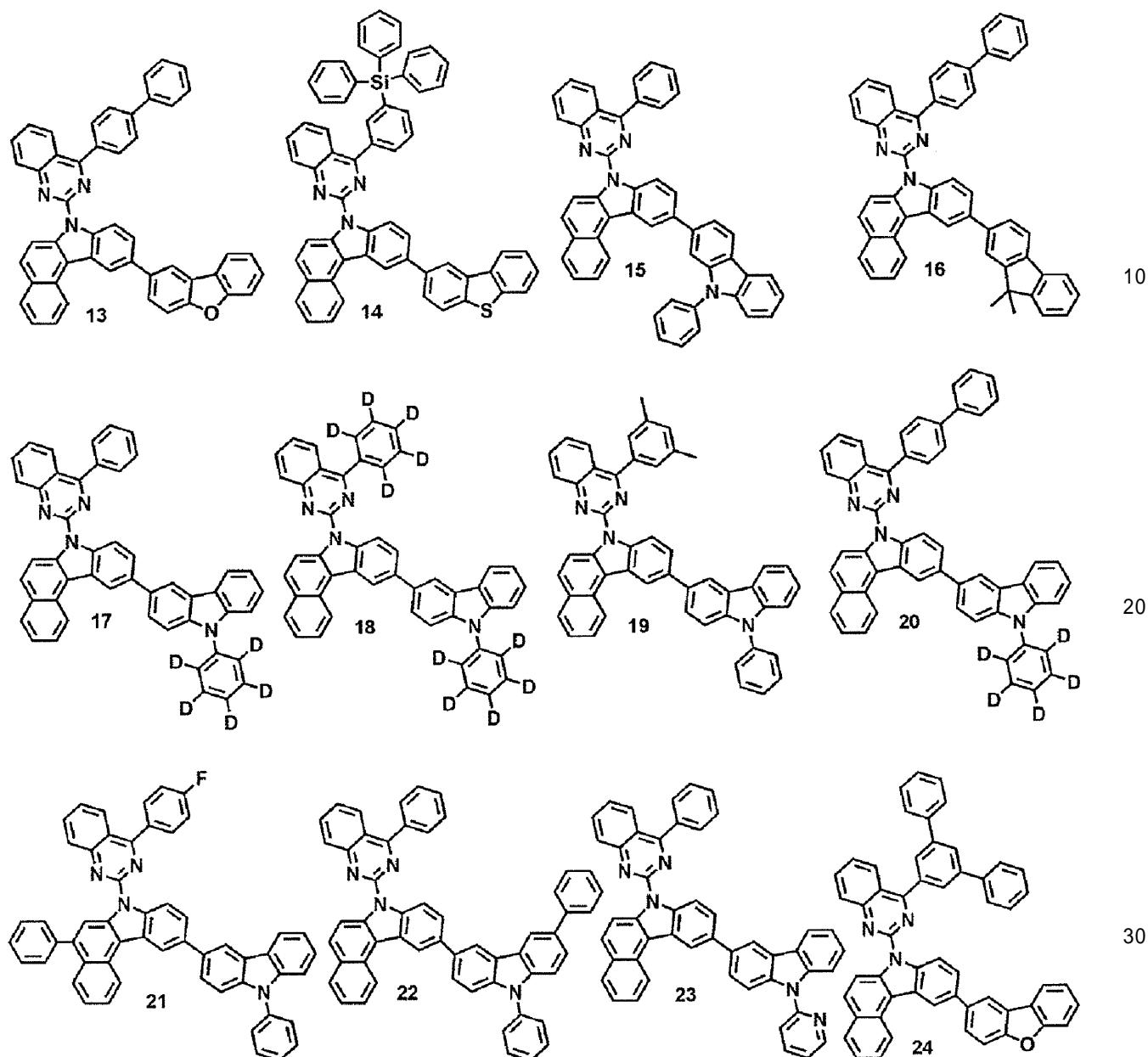
本発明の有機電界発光化合物は下記化合物で例示されうるが、これらは本発明を限定することを意図していない。

【0026】

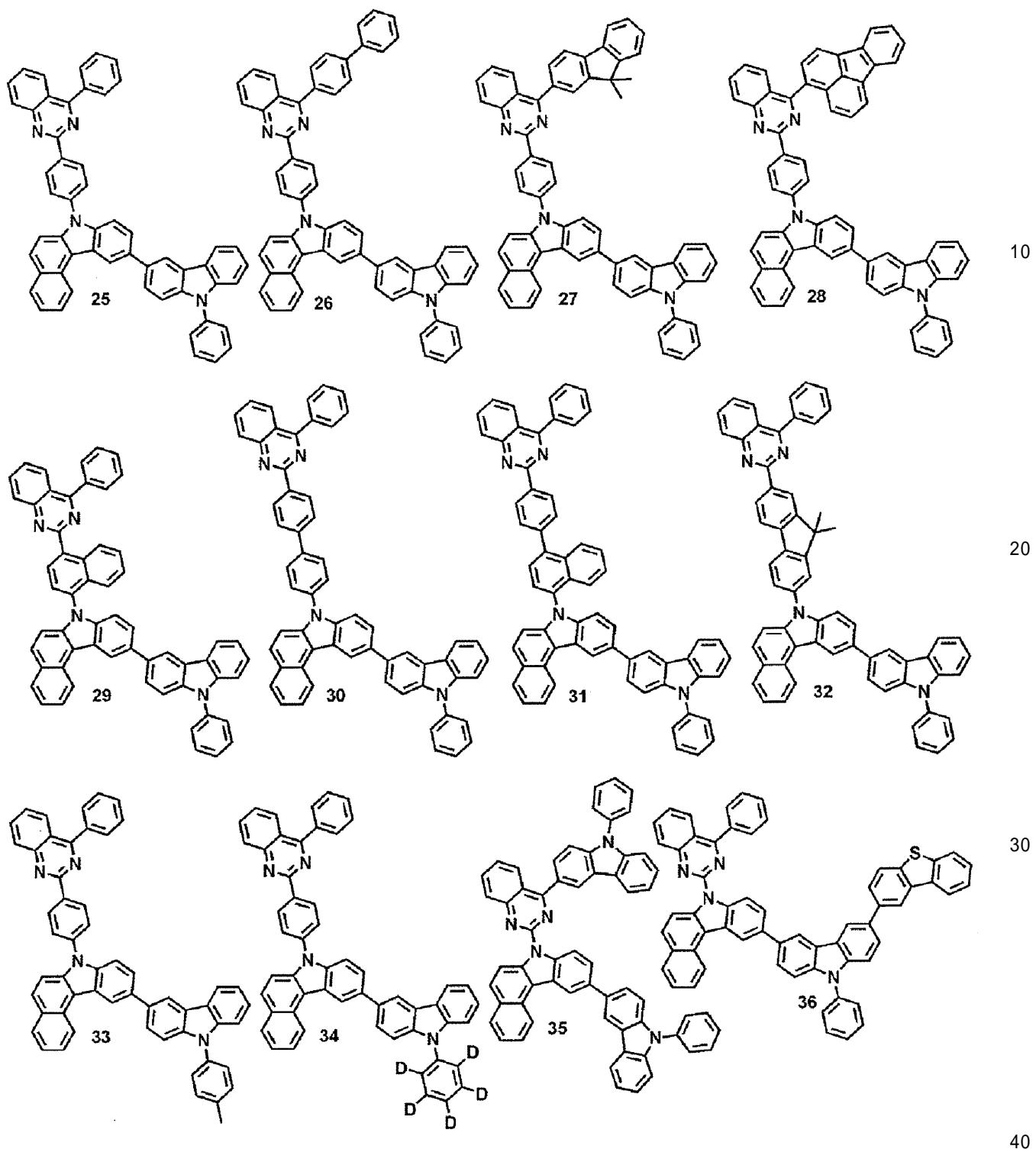
【化15】



【化 16】

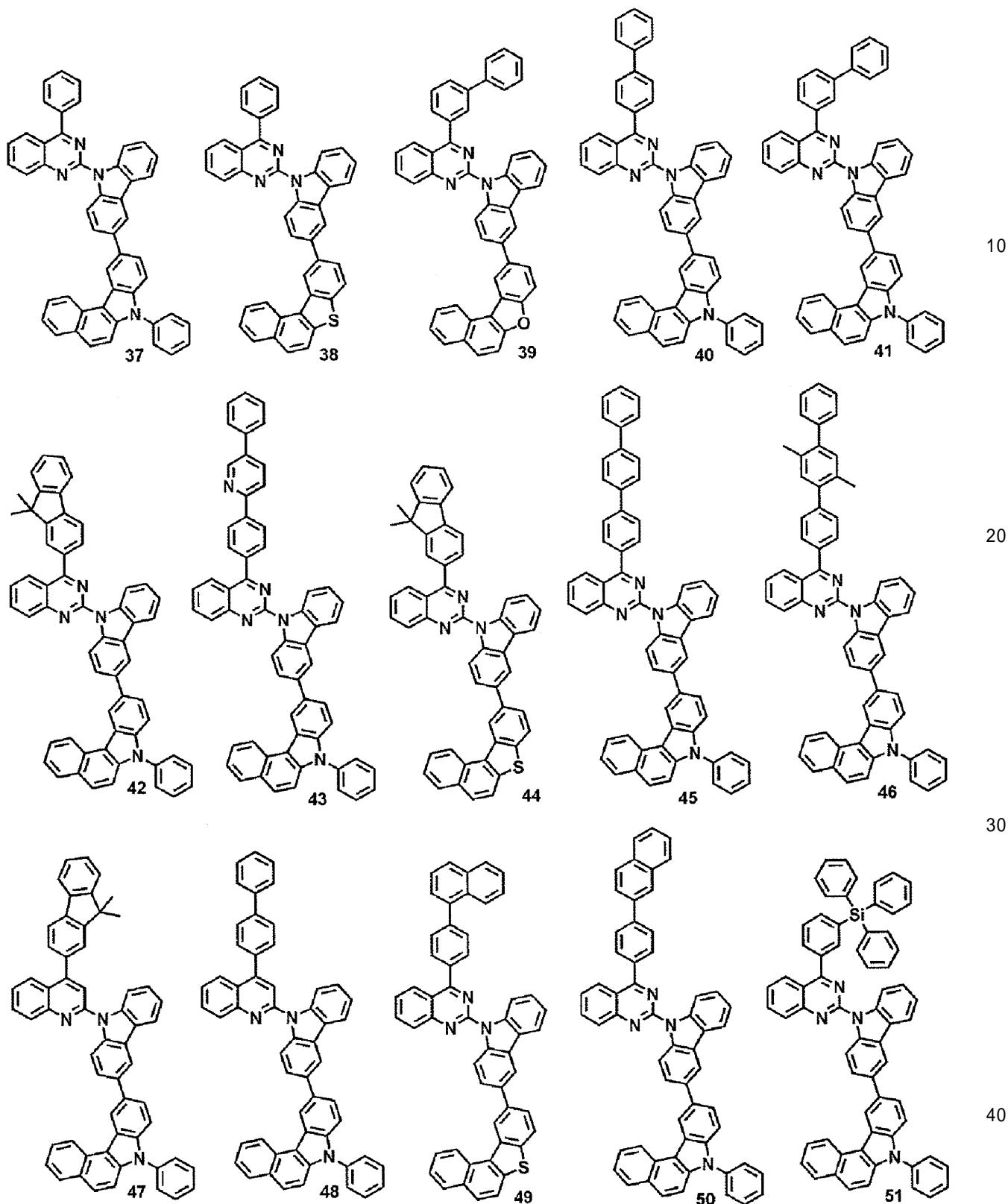


【化17】

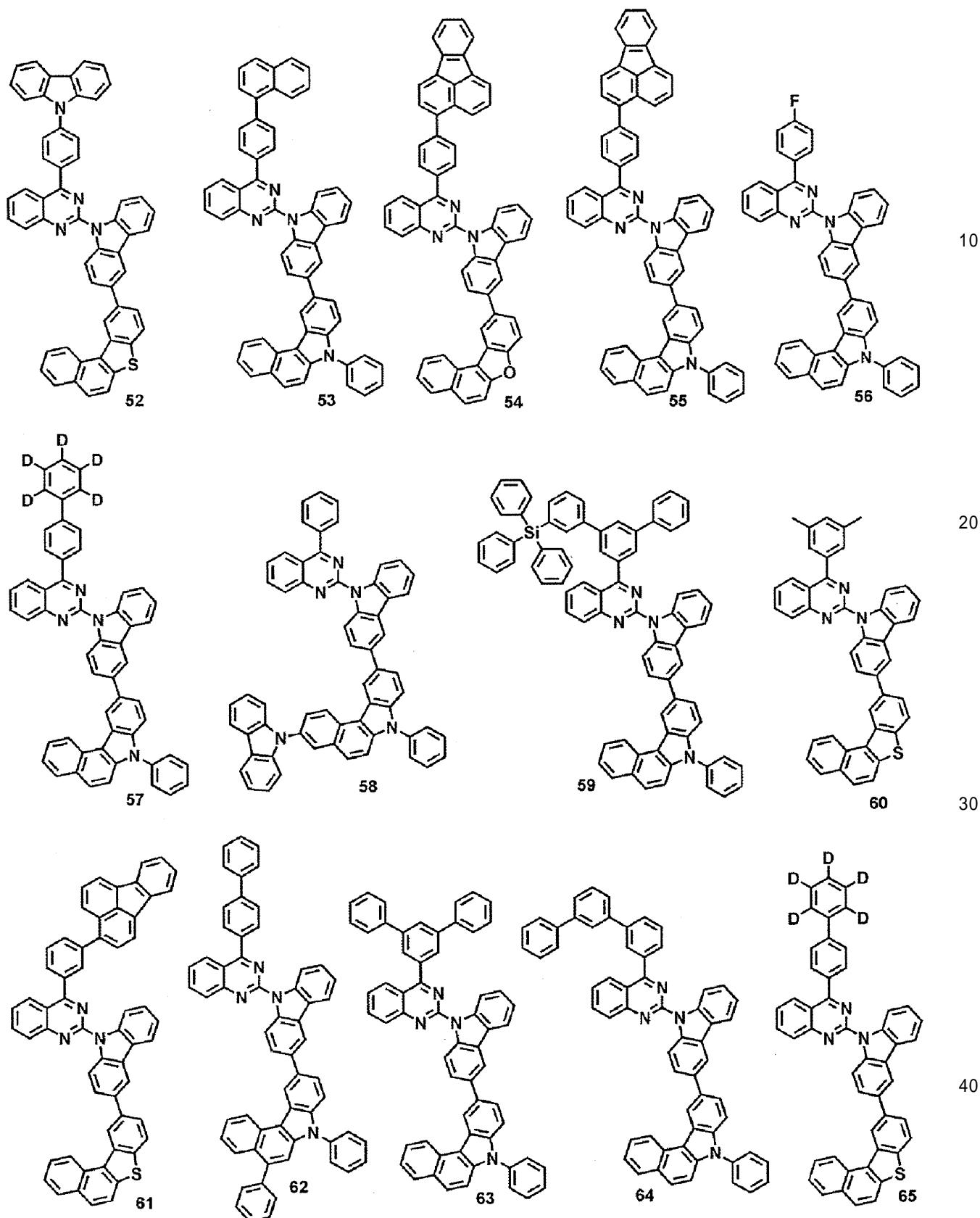


【0027】

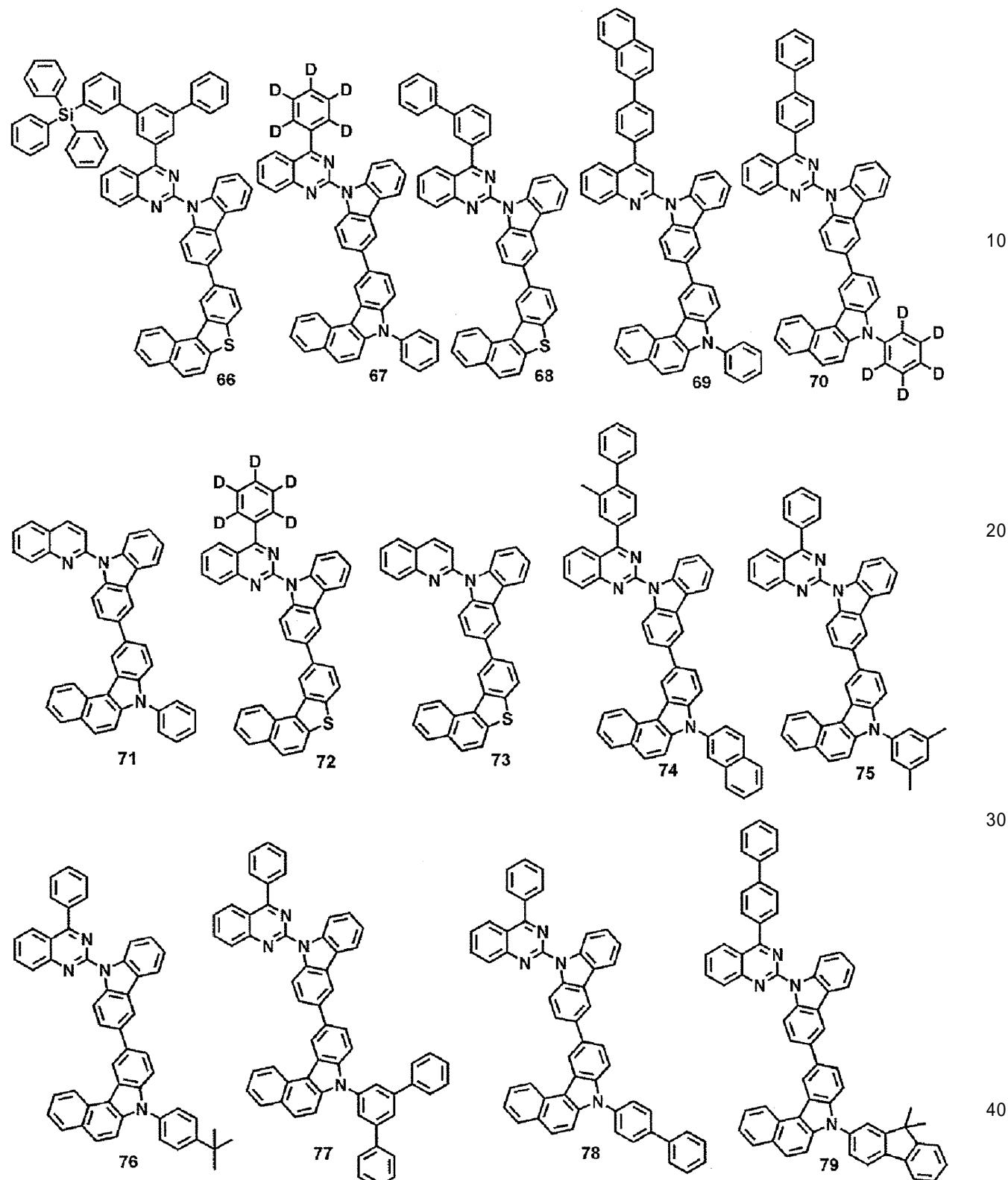
【化 18】



【化 19】

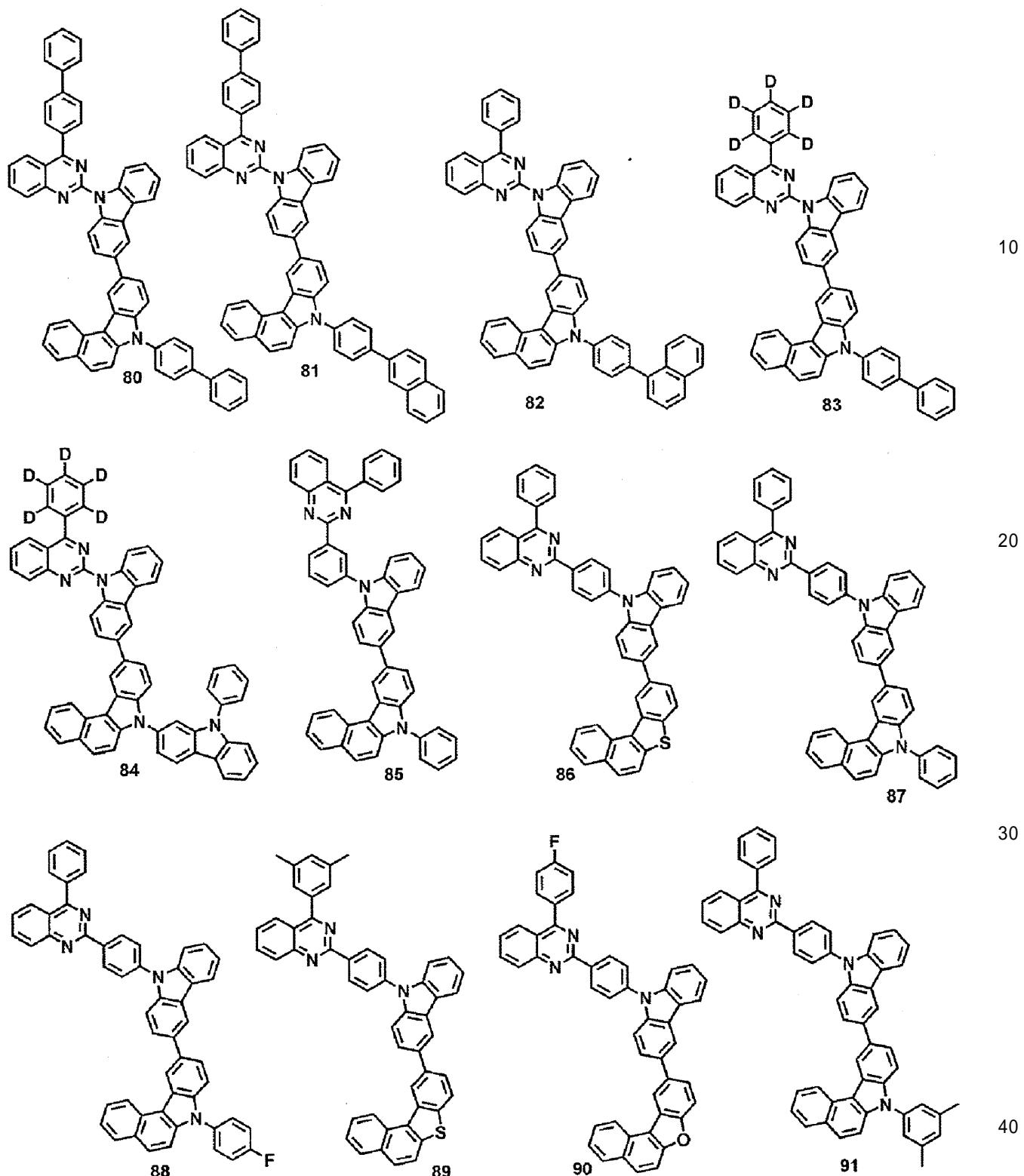


【化 2 0】

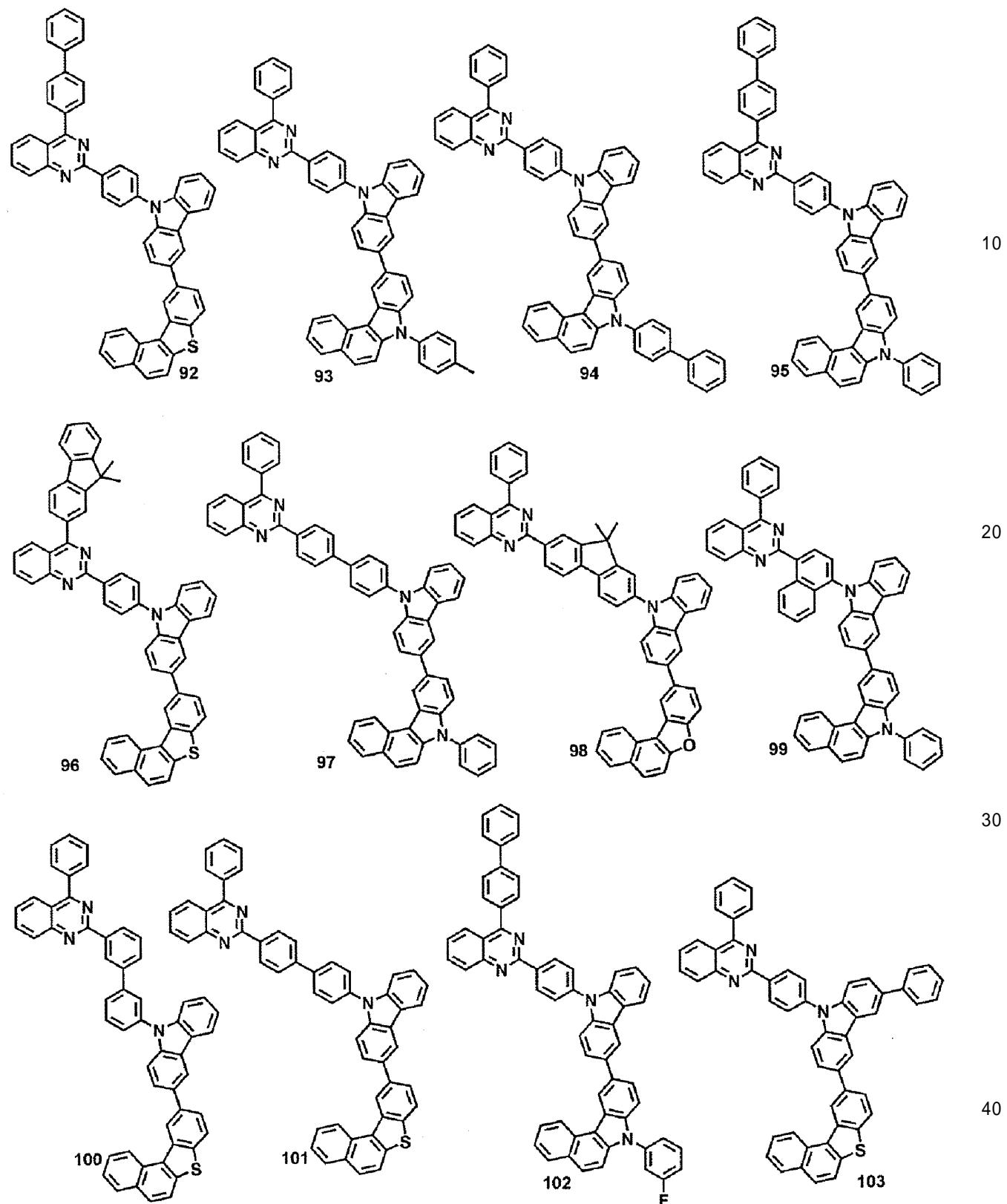


【0028】

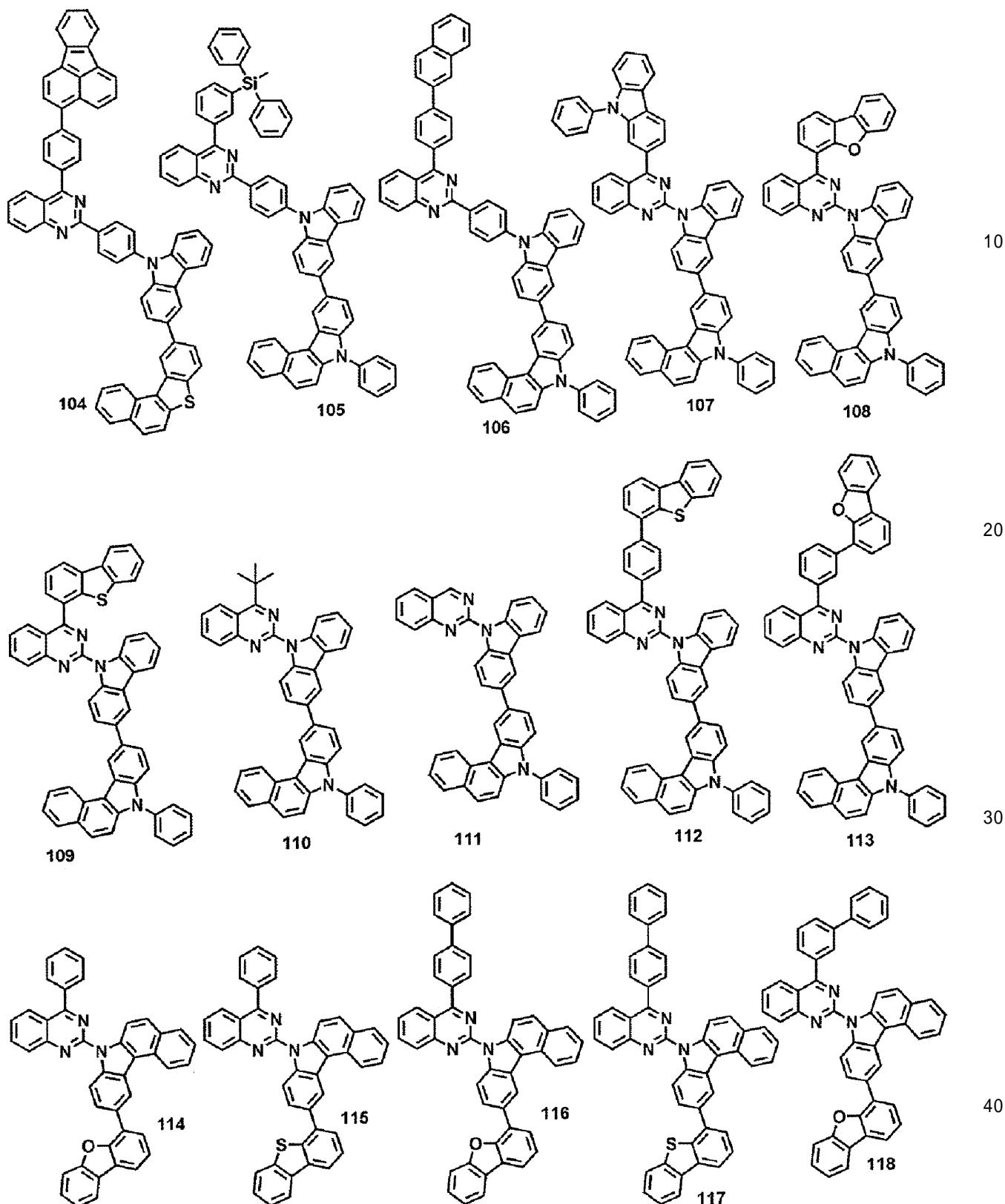
【化 2 1】



【化 2 2】

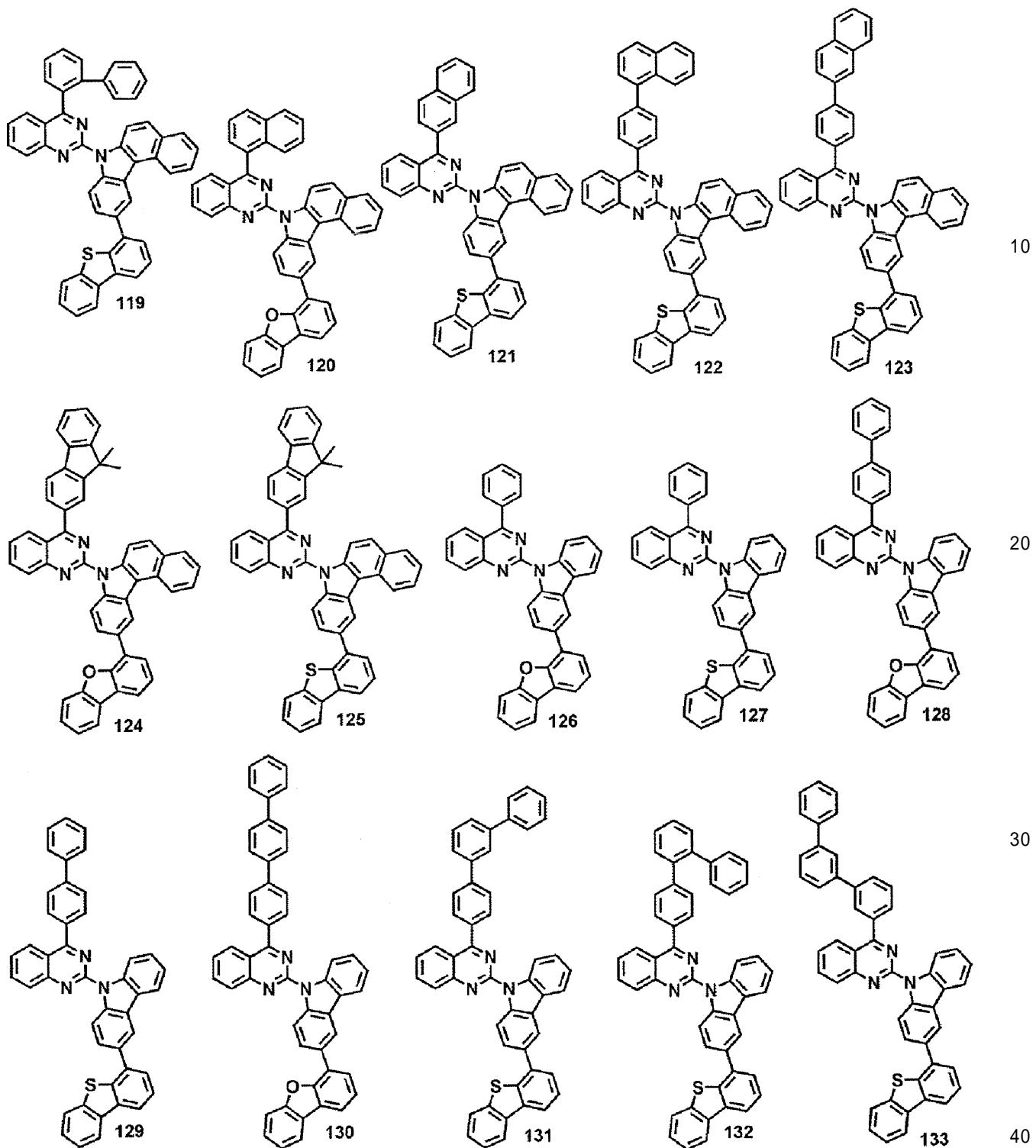


【化 2 3】

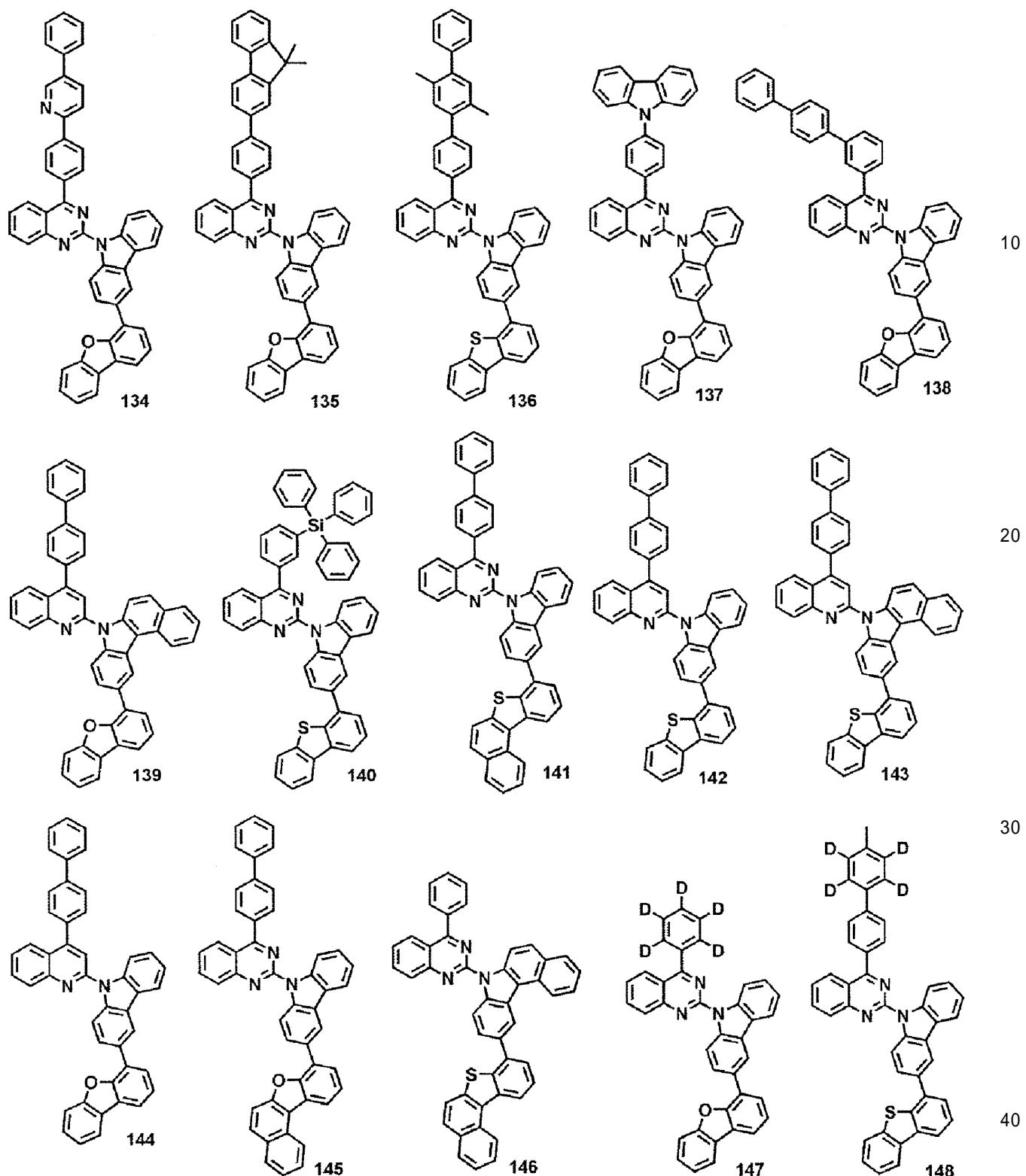


【 0 0 2 9 】

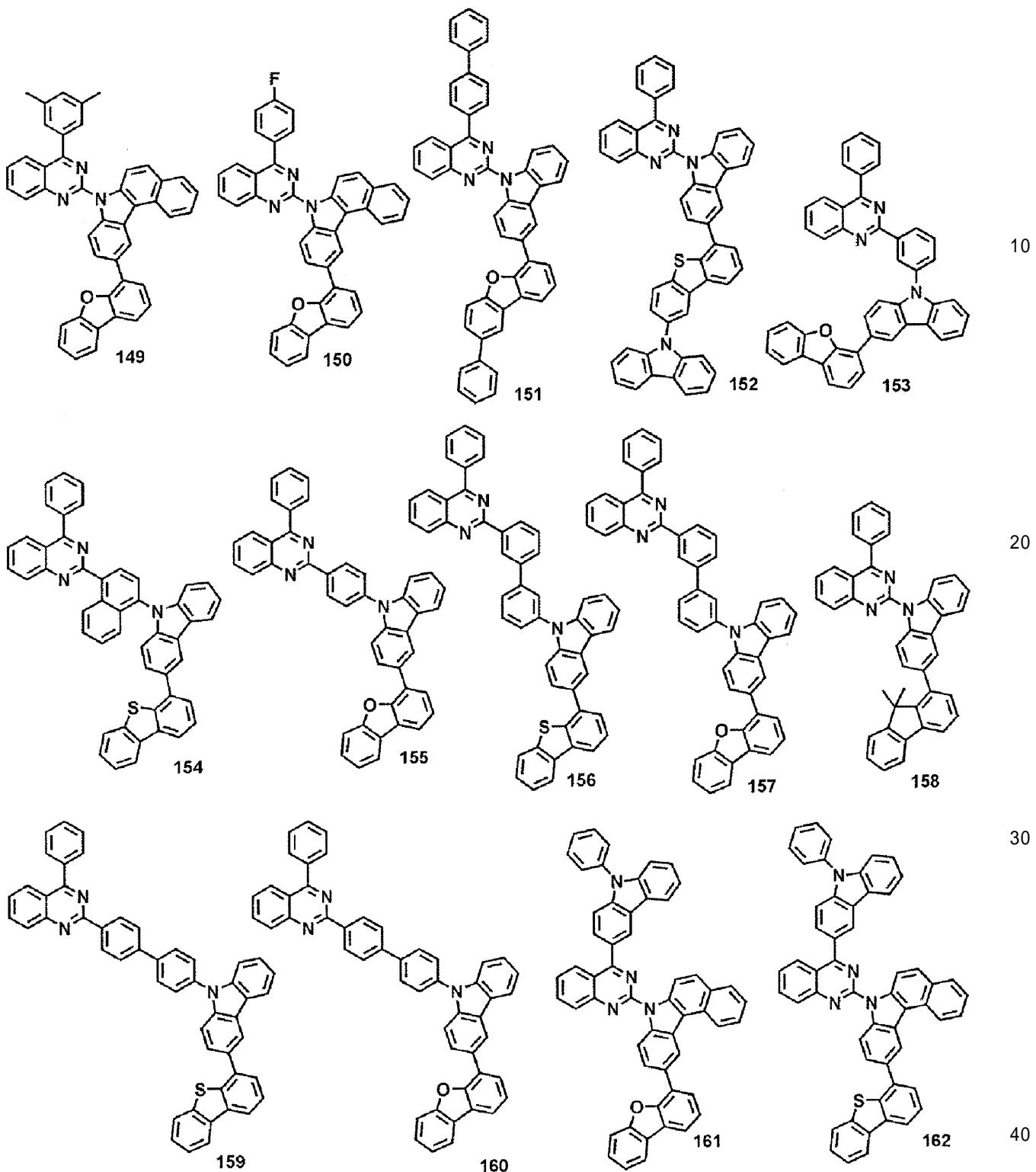
【化 24】



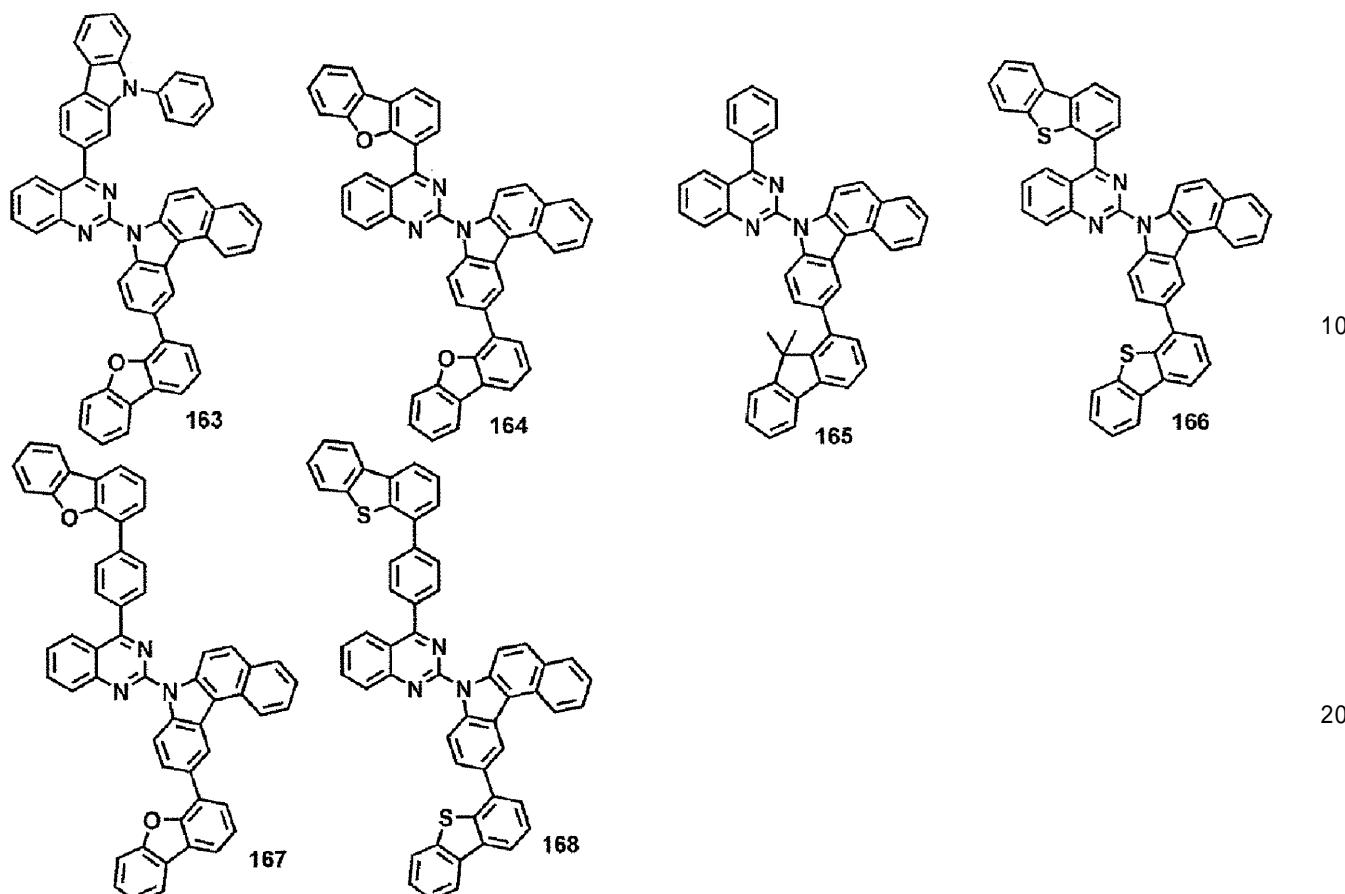
【化 25】



【化 2 6】



【化27】



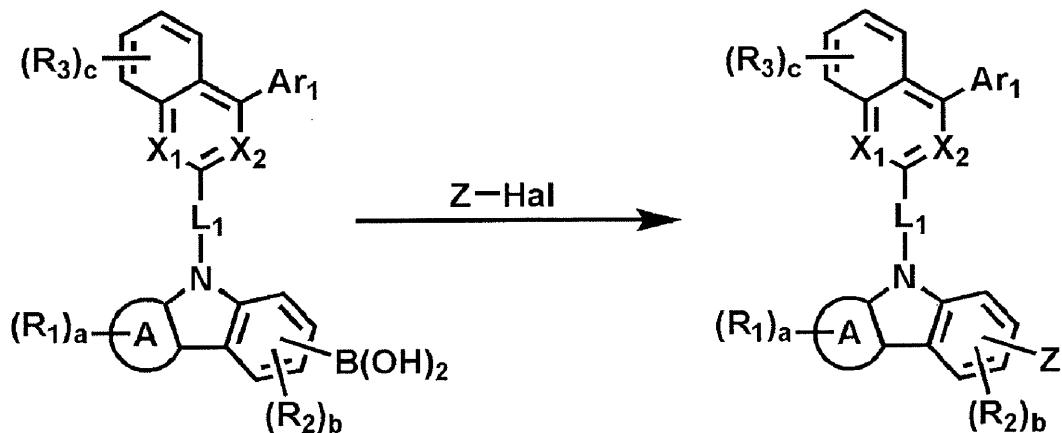
【0030】

本発明の有機電界発光化合物は、例えば、以下のスキーム1に示されるように製造されるが、これに限定されない。

【0031】

【化28】

[スキーム1]



【0032】

スキーム1においては、環A、X₁、X₂、L₁、Ar₁、R₁、R₂、R₃、a、b、cおよびZは化学式1において定義されるのと同じであり；並びにHalはハロゲンを表す。

【0033】

10

20

30

40

50

第1の電極；第2の電極；並びに、第1の電極と第2の電極との間に設けられた1以上の有機層；を含む有機電界発光素子であって、この有機層が、化学式1で表される有機電界発光化合物の1種以上を含む、有機電界発光素子が提供される。この有機層は電界発光層を含み、かつ化学式1の有機電界発光化合物は電界発光層においてホストとして使用されうる。

【0034】

電界発光層において、化学式1の有機電界発光化合物がホストとして使用される場合には、1種以上のリン光ドーパントが含まれる。本発明の有機電界発光素子に適用されるリン光ドーパントは特に限定されないが、下記化学式10で表される化合物の中から選択されうる。

10

【0035】

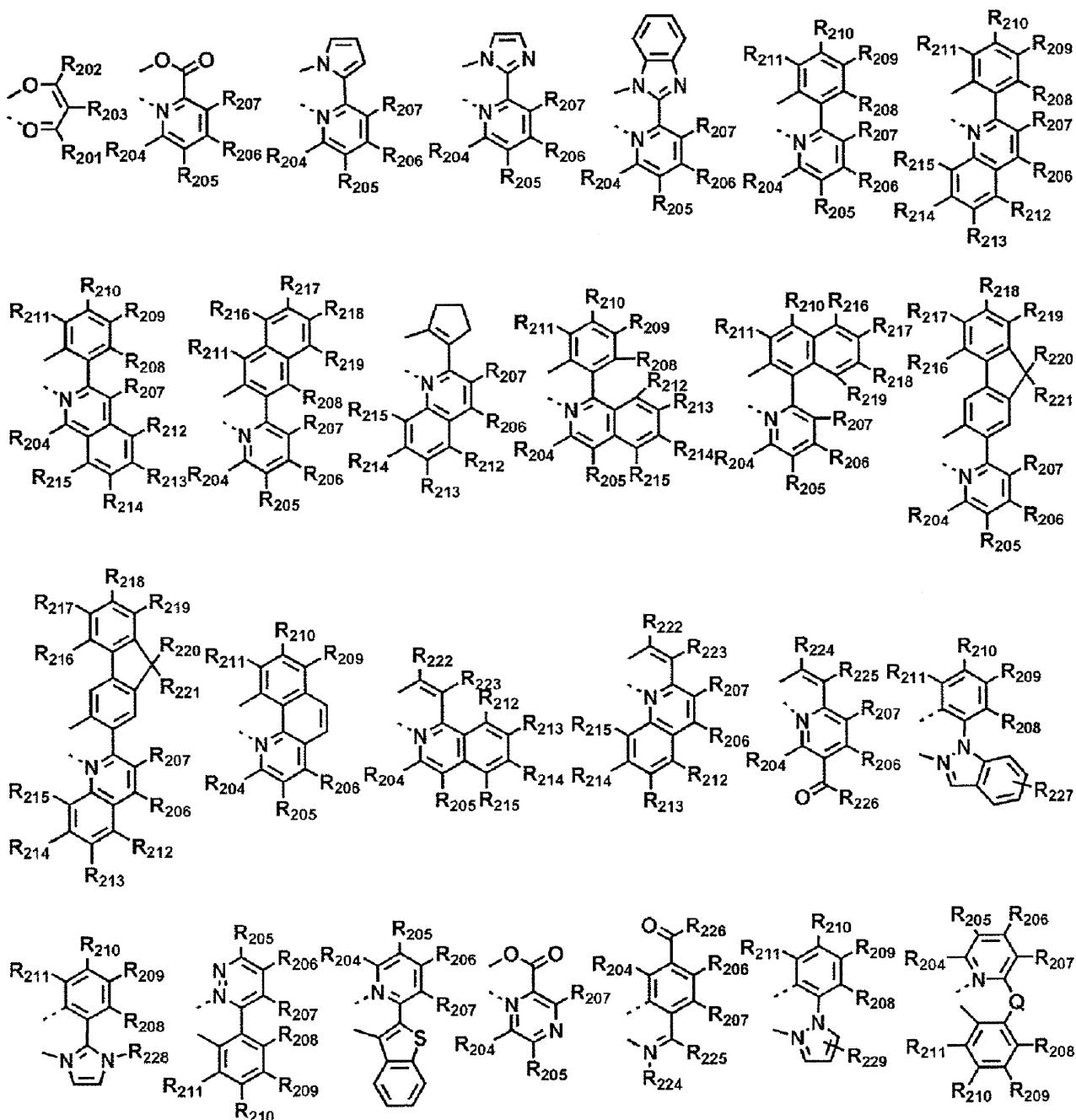
[化学式10]



式中、 M^1 は周期表の第7、8、9、10、11、13、14、15および16族の金属からなる群から選択され、リガンド $L^{1\ 0\ 1}$ 、 $L^{1\ 0\ 2}$ および $L^{1\ 0\ 3}$ は独立して以下の構造から選択される：

【0036】

【化29】



【0037】

R₂₀₁ ~ R₂₀₃ は独立して水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない(C1 - C30)アルキル、(C1 - C30)アルキルで置換されているかもしくは置換されていない(C6 - C30)アリール、またはハロゲンを表し；

R₂₀₄ ~ R₂₁₉ は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C1 - C30)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C1 - C30)アルコキシ、置換されているかもしくは置換されていない(C3 - C30)シクロアルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C2 - C30)アルケニル、置換されているかもしくは置換されていない(C6 - C30)アリール、置換されているかもしくは置換されていないモノ(C1 - C30)アルキルアミノ、置換されているかもしくは置換されていないジ(C1 - C30)アルキルアミノ、置換されているかもしくは置換されていないモノ(C6 - C30)アリールアミノ、置換されているかもしくは置換されていないジ(C6 - C30)アリールアミノ、SF₅、置換されているかもしくは置換されていない

10

20

30

40

50

トリ(C 1 - C 3 0)アルキルシリル、置換されているかもしくは置換されていないジ(C 1 - C 3 0)アルキル(C 6 - C 3 0)アリールシリル、置換されているかもしくは置換されていないトリ(C 6 - C 3 0)アリールシリル、シアノまたはハロゲンを表し；

R₂₂₀ ~ R₂₂₃ は独立して、水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、または(C 1 - C 3 0)アルキルで置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリールを表し；

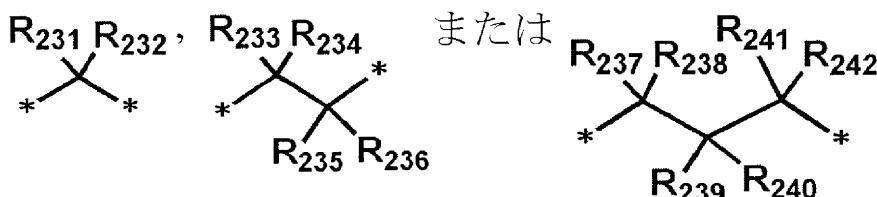
R₂₂₄ および R₂₂₅ は独立して水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリール、またはハロゲンを表し、あるいは R₂₂₄ と R₂₂₅ とは縮合環を有するかもしくは有しない(C 3 - C 1 2)アルキレンまたは(C 3 - C 1 2)アルケニレンによって連結されて、脂環式環および単環式もしくは多環式芳香環を形成していくよく；

R₂₂₆ は置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリール、置換されているかもしくは置換されていない(C 2 - C 3 0)ヘテロアリール、またはハロゲンを表し；

R₂₂₇ ~ R₂₂₉ は独立して、水素、重水素、置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリール、またはハロゲンを表し；並びに

Q は

【化 3 0 】



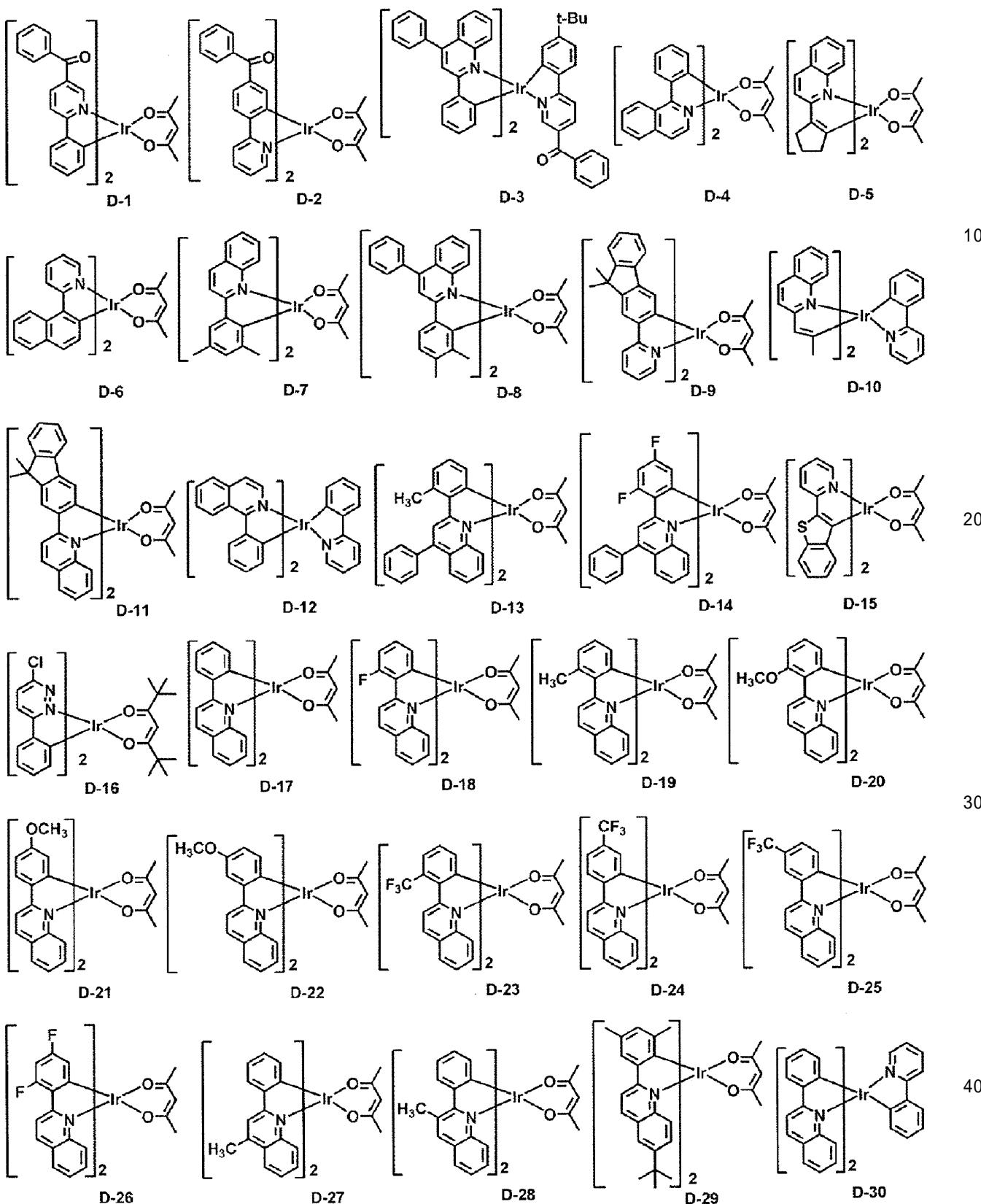
を表し；

R₂₃₁ ~ R₂₄₂ は独立して水素、重水素、ハロゲンで置換されているかもしくは置換されていない(C 1 - C 3 0)アルキル、(C 1 - C 3 0)アルコキシ、ハロゲン、置換されているかもしくは置換されていない(C 6 - C 3 0)アリール、シアノ、または、置換されているかもしくは置換されていない(C 3 - C 3 0)シクロアルキルを表すか、あるいはそれらはアルキレンもしくはアルケニレンによって隣の置換基に連結されてスピロ環もしくは縮合環を形成していくよく、またはアルキレンもしくはアルケニレンによって R₂₀₇ もしくは R₂₀₈ に連結されて飽和もしくは不飽和縮合環を形成してよい。

【 0 0 3 8 】

化学式 1 0 のドーパント化合物は下記化合物で例示されうるが、これらに限定されない。

【化31】



【0039】

本発明の有機電子素子においては、有機層が、化学式1で表される有機電界発光化合物に加えて、同時に、アリールアミン化合物およびスチリルアリールアミン化合物からなる群から選択される1種以上の化合物をさらに含むことができる。このアリールアミン化合物またはスチリルアリールアミン化合物は、韓国特許出願第10-2008-01232

76号、第10-2008-0107606号または第10-2008-0118428号に例示されているが、これに限定されない。

【0040】

さらに、本発明の有機電界発光素子においては、有機層は、化学式1で表される有機電界発光化合物に加えて、第1族、第2族、第4周期および第5周期遷移金属、ランタニド金属並びにd-遷移元素の有機金属からなる群から選択される1種以上の金属、または錯化合物をさらに含むことができる。有機層は電界発光層および電荷発生層を含むことができる。

【0041】

さらに、白色発光有機電界発光素子を実現するために、有機層は、化学式1の有機電界発光化合物に加えて、同時に、青色、緑色、または赤色光を放射する1以上の有機電界発光層を含むことができる。青色、緑色もしくは赤色の光を放射する化合物は韓国特許出願第10-2008-0123276号、第10-2008-0107606号または第10-2008-0118428号に記載される化合物によって例示されるが、これらに限定されない。

【0042】

本発明の有機電界発光素子においては、電極の対のうちの一方または両方の電極の内側表面上に、カルコゲナイト(chalcogenide)層、ハロゲン化金属層および金属酸化物層から選択される層(以下、「表面層」という)が配置されうる。より具体的には、電界発光媒体層のアノード表面上にケイ素またはアルミニウムの金属カルコゲナイト(酸化物など)層が配置されることができ、並びに電界発光媒体層のカソード表面上にハロゲン化金属層または金属酸化物層が配置されうる。これにより駆動安定性が達成されうる。カルコゲナイトは、例えば、 SiO_x (1 X 2)、 AlO_x (1 X 1.5)、 SiON 、 SiAlON などでありうる。ハロゲン化金属は、例えば、 LiF 、 MgF_2 、 CaF_2 、希土類金属フッ化物などでありうる。金属酸化物は、例えば、 Cs_2O 、 Li_2O 、 MgO 、 SrO 、 BaO 、 CaO などでありうる。

【0043】

本発明の有機電界発光素子においては、このように製造される電極の対の少なくとも一方の表面上に、電子輸送化合物と還元性ドーパントとの混合領域、または正孔輸送化合物と酸化性ドーパントとの混合領域を配置するのも好ましい。その場合には、電子輸送化合物がアニオンに還元されるので、混合領域から電界発光媒体への電子の注入および輸送が容易にされる。さらに、正孔輸送化合物はカチオンに酸化されるので、混合領域から電界発光媒体への正孔の注入および輸送が容易にされる。好ましい酸化性ドーパントには様々なルイス酸およびアクセプター化合物が挙げられる。好ましい還元性ドーパントには、アルカリ金属、アルカリ金属化合物、アルカリ土類金属、希土類金属およびこれらの混合物が挙げられる。さらに、還元性ドーパント層を電荷発生層として使用することにより、2以上の電界発光層を有する白色発光電界発光素子が製造されうる。

【発明の効果】

【0044】

本発明によると、有機電界発光化合物が高い発光効率を示すことができ、かつ優れた材料寿命を有することができ、かつ非常に優れた駆動寿命を有するOLED素子を製造するために使用されうる。

【発明を実施するための形態】

【0045】

以下で、本発明の有機電界発光化合物、その製造方法、およびその素子の電界発光特性に関する例として本発明の代表的な化合物を選んで、本発明がさらに説明される。しかしながら実施例は実施形態の例示目的のためだけに提供されるのであり、本発明の範囲を限定することを意図していない。

【実施例】

【0046】

10

20

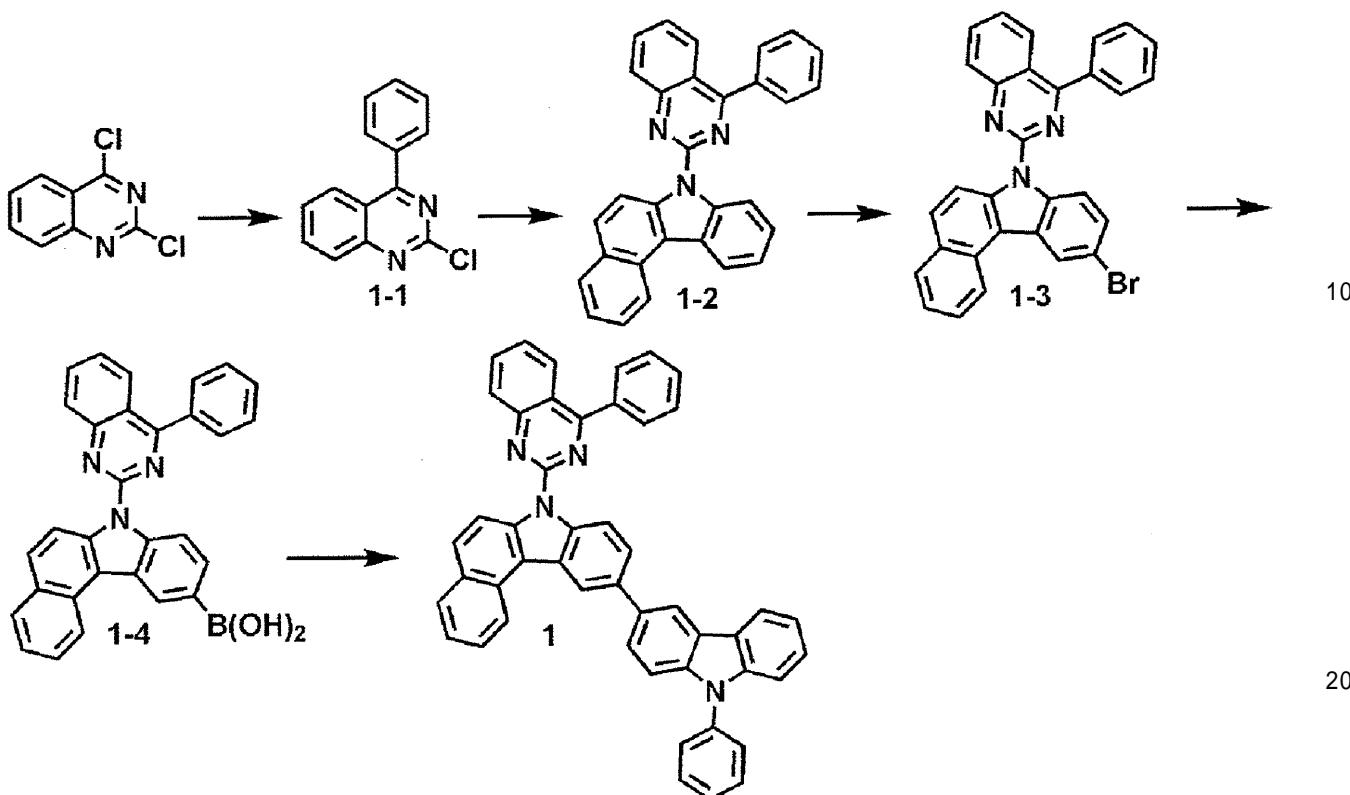
30

40

50

[製造例 1] 化合物 1 の製造

【化 3 2】



【0047】

化合物 1 - 1 の製造

2,4-ジクロロキナゾリン (8.1 g、40.6 mmol)、フェニルボロン酸 (5.0 g、40.6 mmol)、トルエン 200 mL、エタノール 50 mL および水 50 mL が混合され、次いで $Pd(PPh_3)_4$ (1.9 g、1.64 mmol) および K_2CO_3 (12.9 g、122 mmol) が添加された。この混合物は 120 度で 5 時間にわたって攪拌され、そして室温に冷却され、その後、200 mL の塩化アンモニウム水溶液でこの反応が停止させられた。この混合物は酢酸エチル (EA) 500 mL で抽出され、次いで蒸留水 50 mL で洗浄された。得られた有機層は無水 $MgSO_4$ で乾燥させられ、そして有機溶媒が減圧下で除去された。その後、シリカゲルろ過および再結晶化が行われて、化合物 1 - 1 (6.6 g、68%) を得た。

【0048】

化合物 1 - 2 の製造

7H-ベンゾ [c] カルバゾール (8.9 g、41.10 mmol)、化合物 1 - 1 (11.9 g、49.32 mmol)、 $Pd(OAc)_2$ (0.46 g、 $NaOt-bu$ 7.9 g、82.20 mmol)、トルエン 100 mL、および $P(t-bu)_3$ (2 mL、4.11 mmol、トルエン中 50%) が還流下で攪拌された。10 時間後、この混合物は室温まで冷却され、そして蒸留水が添加された。得られた混合物は EA で抽出され、無水 $MgSO_4$ で乾燥させられ、そしてさらに減圧下で乾燥させられた。その後、カラム分離が行われて、化合物 1 - 2 (14.5 g、84%) を得た。

【0049】

化合物 1 - 3 の製造

化合物 1 - 2 (14.3 g、33.98 mmol) が一つ口フラスコ内に入れられ、そして真空雰囲気が造り出され、次いで、このフラスコはアルゴンで満たされた。THF 500 mL が添加され、そしてこの混合物が 0 度で 10 分間にわたって攪拌された。NB S (7.35 g、40.78 mmol) が添加され、そしてこの混合物は室温で 1 日間に

10

20

30

40

50

わたって攪拌された。この反応は停止させられ、そして得られた混合物は蒸留水およびEAで抽出された。有機層は無水MgSO₄で乾燥させられ、ロータリーエバポレータを用いて溶媒が除去され、次いで展開液としてヘキサンおよびEAを用いたカラムクロマトグラフィが行われて、化合物1-3(14.6g、85%)を得た。

【0050】

化合物1-4の製造

化合物1-3(13.2g、26.30mmol)が一つ口フラスコ内に入れられ、そして真空雰囲気が造り出され、次いでこのフラスコがアルゴンで満たされた。THF 500mLが添加され、この混合物が-78で10分間攪拌された。n-BuLi(ヘキサン中2.5M)(15.8mL、39.45mmol)が滴下添加され、そしてこの混合物が-78で1時間30分間にわたって攪拌された。ホウ酸トリメチル(4.85mL、39.45mmol)が-78で添加された。この混合物は-78で30分間、次いで室温で4時間にわたって攪拌された。反応が停止させられて、得られた混合物は蒸留水およびEAで抽出された。有機層が無水MgSO₄で乾燥させられ、ロータリーエバポレータを用いて溶媒が除去され、次いで展開液としてヘキサンおよびEAを用いたカラムクロマトグラフィが行われて、化合物1-4(6.9g、18.05mmol、65%)を得た。

10

【0051】

化合物1の製造

化合物1-4(8.1g、17.4mmol)、3-ブロモ-9-フェニル-9H-カルバゾール(6.7g、20.88mmol)、Pd(PPh₃)₄(0.8g、0.7mmol)、2MのK₂CO₃水溶液20mL、トルエン100mL、およびエタノール50mLが還流下12時間にわたって攪拌された。この混合物は蒸留水で洗浄され、そしてEAで抽出された。無水MgSO₄での乾燥、減圧下での蒸留およびカラム分離が行われて、化合物1(6.8g、10.3mmol、58%)を得た。

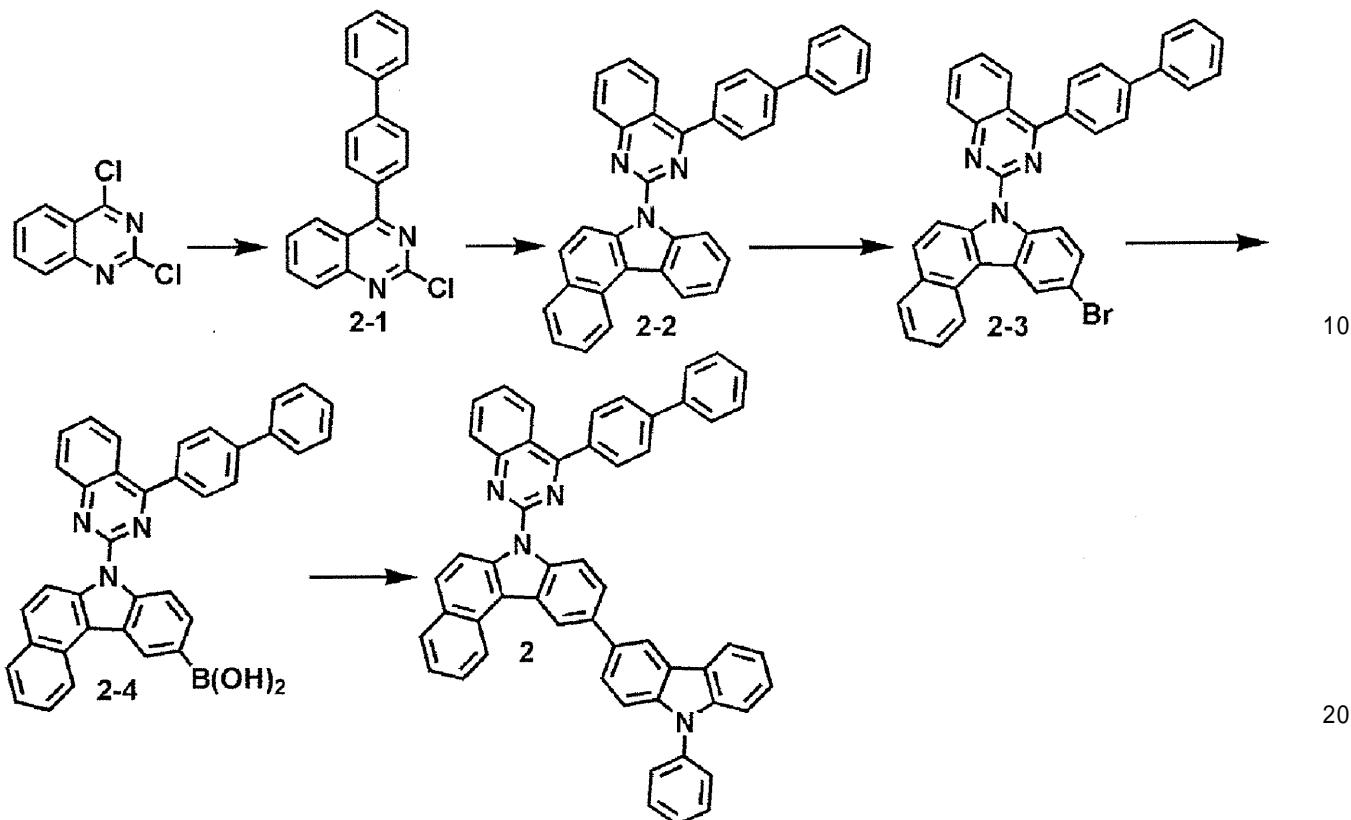
20

MS/FAB : 663(実測値)、662.78(計算値)

【0052】

[製造例2] 化合物2の製造

【化33】



【0053】

化合物2-1の製造

2,4-ジクロロキナゾリン(8.1g、40.6mmol)、ビフェニルフェニルボロン酸(8.0g、40.6mmol)、トルエン200mL、エタノール50mLおよび水50mLが混合され、そしてPd(PPh₃)₄(1.9g、1.64mmol)およびK₂CO₃(12.9g、122mmol)が添加された。この混合物は120で5時間にわたって攪拌され、そして室温まで冷却され、そして200mLの塩化アンモニウム水溶液でこの反応が停止させられた。この混合物はEA500mLで抽出され、そして蒸留水50mLで洗浄された。得られた有機層は無水MgSO₄で乾燥され、そして有機溶媒が減圧下で除去された。その後、シリカゲルろ過、次いで再結晶化が行われて、化合物2-1(8.2g、25.9mmol、64%)を得た。

30

【0054】

化合物2-2の製造

化合物2-2(9.5g、19.1mmol、74%)は化合物1-2の製造におけるのと同じ方法によって製造された。

40

【0055】

化合物2-3の製造

化合物2-3(9.0g、15.6mmol、82%)は化合物1-3の製造におけるのと同じ方法によって製造された。

【0056】

化合物2-4の製造

化合物2-4(4.0g、7.4mmol、47%)は化合物1-4の製造におけるのと同じ方法によって製造された。

【0057】

化合物2の製造

化合物2(2.8g、4.6mmol、51%)は化合物1の製造におけるのと同じ方

50

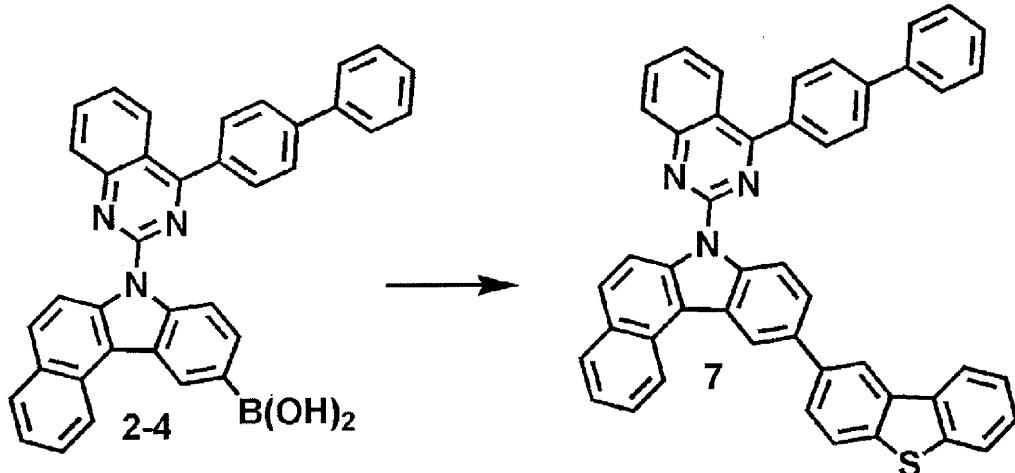
法によって、化合物 2 - 4 (4.0 g、7.4 mmol) および 3 - ブロモ - 9 - フェニル - 9 H - カルバゾール (6.7 g、20.88 mmol) から製造された。

MS / FAB : 739 (実測値)、738.87 (計算値)

【0058】

[製造例 3] 化合物 7 の製造

【化 34】



20

【0059】

化合物 7 の製造

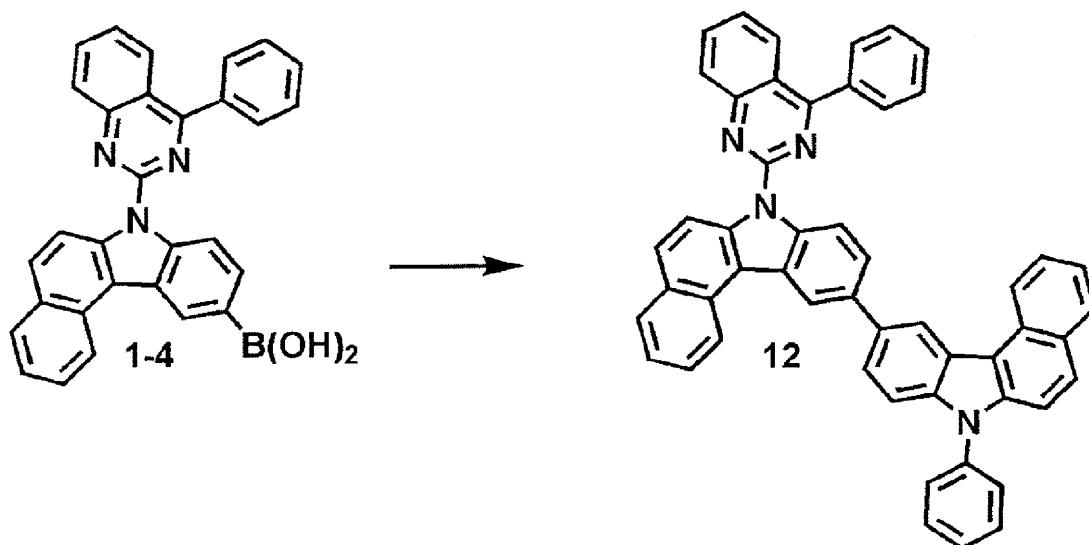
化合物 7 (2.8 g、4.6 mmol、51%) は化合物 1 の製造におけるのと同じ方法によって、化合物 2 - 4 (4.0 g、7.4 mmol) および 2 - ブロモジベンゾ [b , d] チオフェン (5.5 g、20.88 mmol) から製造された。

MS / FAB : 604 (実測値)、603.73 (計算値)

【0060】

[製造例 4] 化合物 12 の製造

【化 35】



30

40

【0061】

化合物 12 の製造

化合物 12 (6.8 g、9.5 mmol、53%) は化合物 1 の製造におけるのと同じ方法によって、化合物 1 - 4 (6.9 g、18.05 mmol) および 10 - ブロモ - 7 - フェニル - 7 H - ベンゾ [c] カルバゾール (7.8 g、20.88 mmol) から製

50

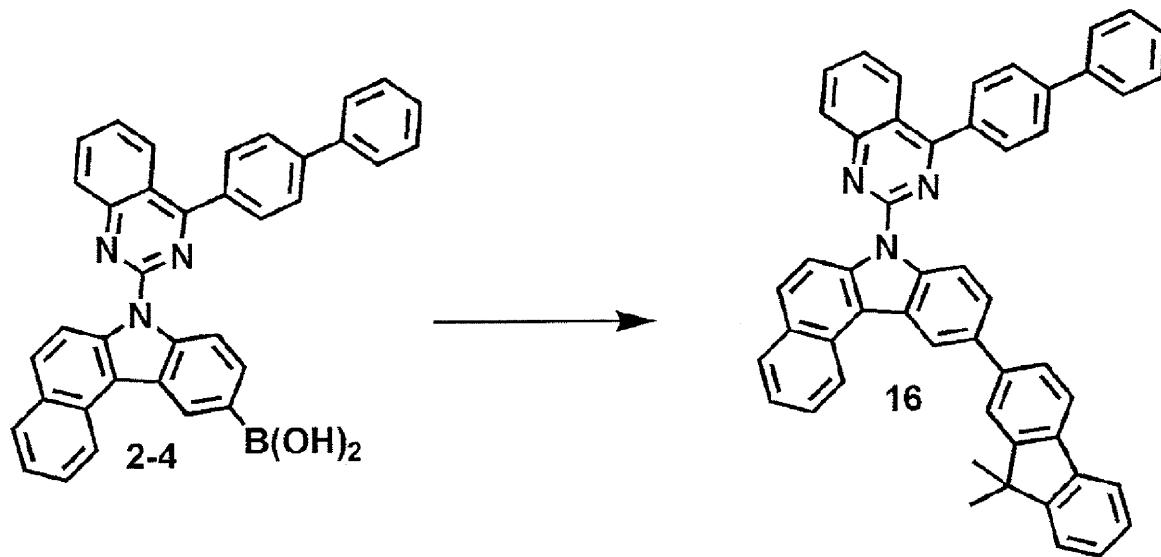
造された。

M S / F A B : 7 1 3 (実測値) 、 7 1 2 . 8 4 (計算値)

【 0 0 6 2 】

[製造例 5] 化合物 1 6 の製造

【 化 3 6 】



10

20

【 0 0 6 3 】

化合物 1 6 の製造

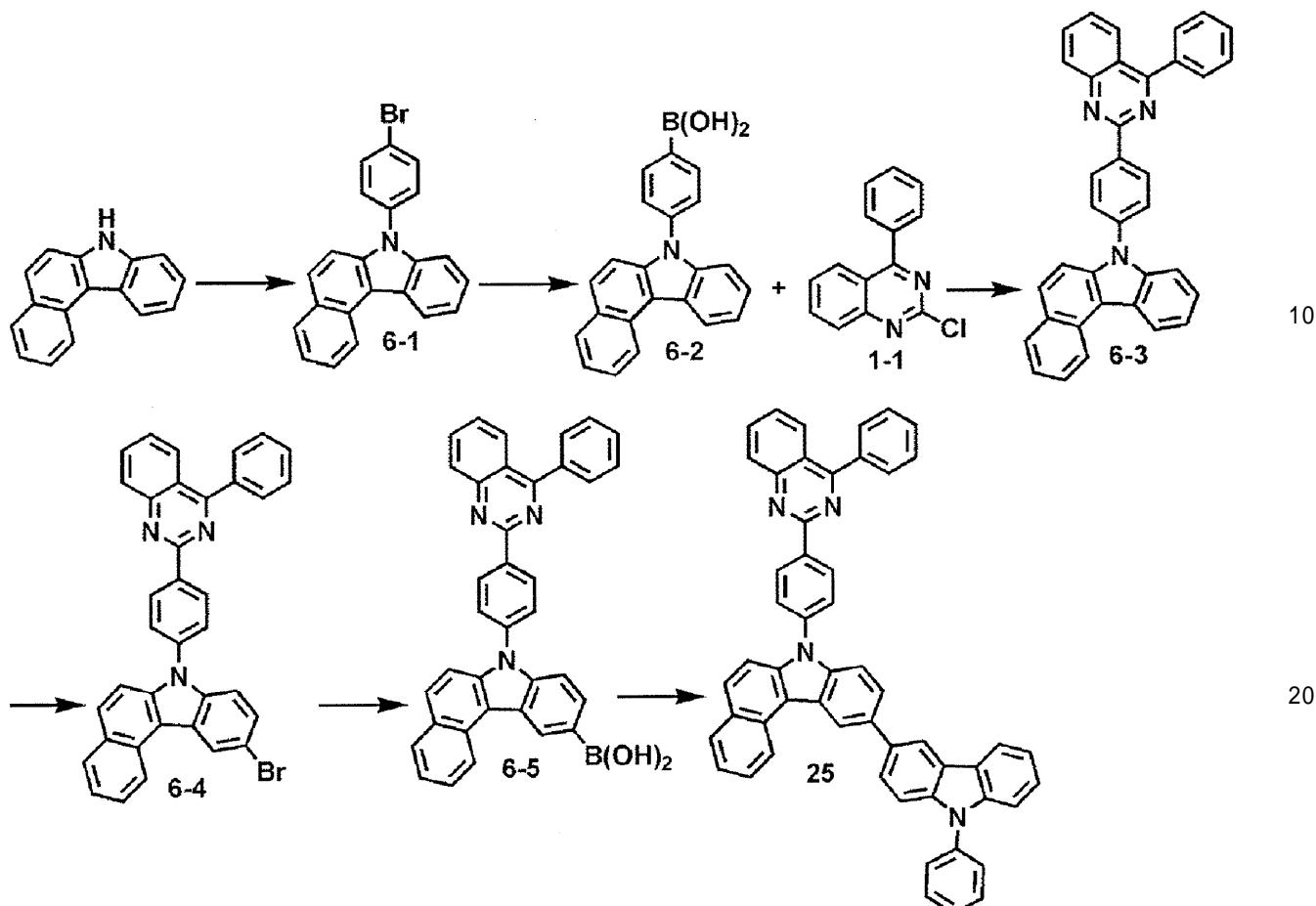
化合物 1 6 (7 . 6 g 、 1 1 . 0 m m o l 、 6 1 %) は化合物 1 の製造におけるのと同じ方法によって、化合物 2 - 4 (9 . 8 g 、 1 8 . 0 5 m m o l) および 2 - ブロモ - 9 , 9 - ジメチル - 9 H - フルオレン (5 . 7 g 、 2 0 . 8 8 m m o l) から製造された。

M S / F A B : 6 9 0 (実測値) 、 6 8 9 . 8 4 (計算値)

【 0 0 6 4 】

[製造例 6] 化合物 2 5 の製造

【化37】



【0065】

化合物6-1の製造

7H-ベンゾ[c]カルバゾール(20g、92mmol)および1-プロモ-4-ヨードベンゼン(43.5g、184mmol)がトルエン500mL中に溶解させられ、そしてCuI(8.8g、46mmol)、ジアミノエタン(6.2mL、92mmol)およびK₃PO₄(8.7g、276mmol)が添加され、そしてこの混合物が30時間還流された。この混合物は室温まで冷却され、2.0MのHCl水溶液50mLでこの反応が停止させられた。得られた混合物はEA1Lで抽出され、次いで蒸留水200mLで洗浄された。得られた有機層は無水MgSO₄で乾燥させられ、そして減圧下で有機溶媒が除去された。次いで、シリカゲルカラムクロマトグラフィが行われて、化合物6-1(19g、56%)を得た。

【0066】

化合物6-2の製造

化合物6-1(19g、51mmol)がTHF250mLに溶解させられ、次いで-78℃に冷却され、そしてn-BuLi(ヘキサン中2.5M)(24.5mL)が-78℃で添加された。この混合物は-78℃で1時間にわたって攪拌され、そしてB(O*Me*)₃(8.5mL)が添加され、その後、この混合物は2時間にわたって攪拌され、そして塩化アンモニウム水溶液100mLでこの反応が停止させられた。得られた混合物はEA500mLで抽出され、次いで蒸留水100mLで洗浄された。得られた有機層は無水MgSO₄で乾燥させられ、そして減圧下で有機溶媒が除去された。次いで、再結晶化が行われて、化合物6-2(14g、81%)を得た。

【0067】

化合物6-3の製造

30

40

50

化合物 1 - 1 (3.3 g、13.7 mmol) および化合物 6 - 2 (5.5 g、16.4 mmol) がトルエン 100 mL、エタノール 20 mL および水 20 mL と混合され、そして Pd(PPh₃)₄ (1.6 g、1.4 mmol) および K₂CO₃ (5.7 g、41.1 mmol) が添加された。この混合物は 120 °C で 5 時間にわたって攪拌され、そして室温まで冷却され、そして塩化アンモニウム水溶液 20 mL でこの反応が停止させられた。この混合物は EA 250 mL で抽出され、次いで蒸留水 30 mL で洗浄された。得られた有機層は無水 MgSO₄ で乾燥させられ、そして減圧下で有機溶媒が除去された。次いで、シリカゲルろ過および再結晶化が行われて、化合物 6 - 3 (4.9 g、9.8 mmol、72%) を得た。

【0068】

10

化合物 6 - 4 の製造

化合物 6 - 4 (4.3 g、7.5 mmol、76%) は化合物 1 - 3 の製造におけるのと同じ方法によって製造された。

【0069】

化合物 6 - 5 の製造

化合物 6 - 5 (1.7 g、3.1 mmol、43%) は化合物 1 - 4 の製造におけるのと同じ方法によって製造された。

【0070】

20

化合物 25 の製造

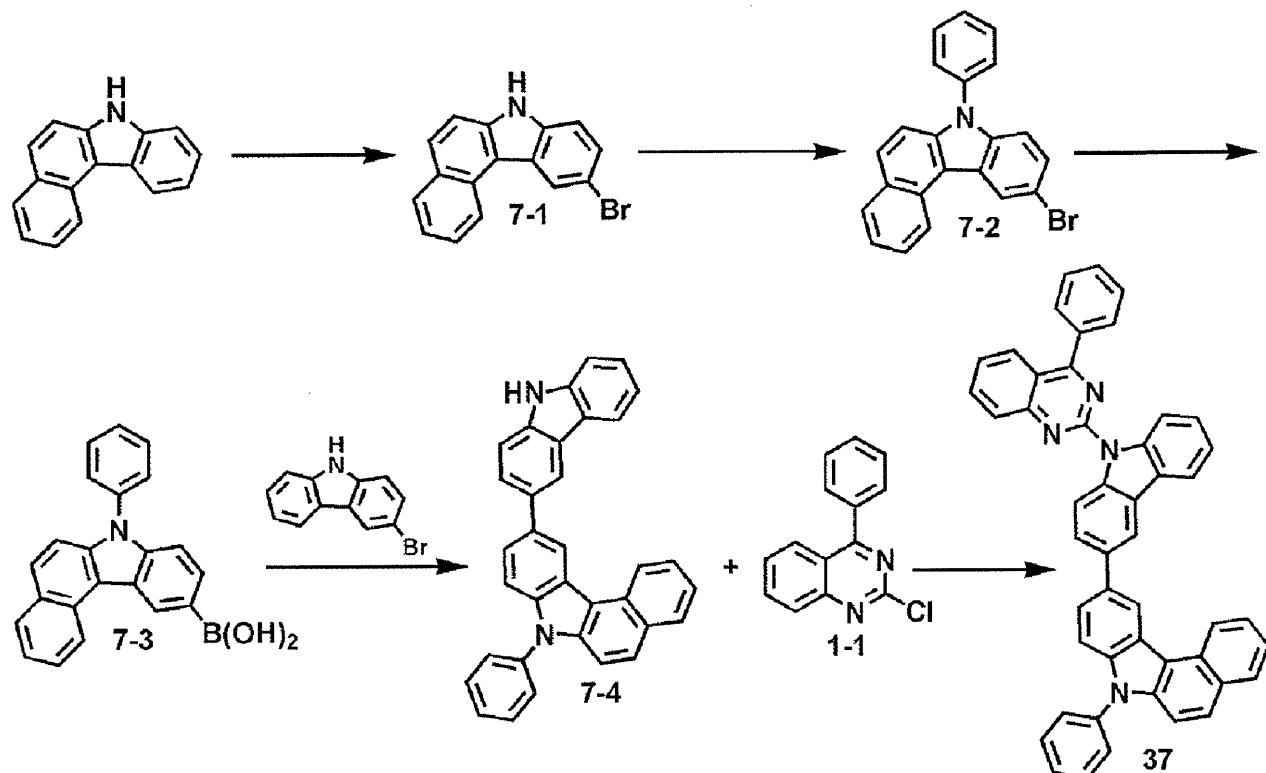
化合物 25 (7.6 g、10.3 mmol、57%) は化合物 1 の製造におけるのと同じ方法によって、化合物 6 - 5 (9.8 g、18.05 mmol) および 3 - ブロモ - 9 - フェニル - 9H - カルバゾール (6.7 g、20.88 mmol) から製造された。

MS / FAB : 739 (実測値)、738.87 (計算値)

【0071】

[製造例 7] 化合物 37 の製造

【化 38】



【0072】

化合物 7 - 1 の製造

50

7 H - ベンゾ [c] カルバゾール (5 0 g、 0 . 2 3 m o l) が D M F 1 . 4 L 中に溶解させられ、そして N B S (4 1 g、 0 . 2 3 m o l) が添加され、その後、この混合物は室温で 2 4 時間にわたって攪拌された。反応の停止後、得られた混合物は E A で抽出され、そして有機層が減圧下で蒸留された。次いでシリカカラム分離が行われて、化合物 7 - 1 (5 3 . 2 g、 7 8 %) を得た。

【 0 0 7 3 】

化合物 7 - 2 の製造

化合物 7 - 1 (3 0 g、 0 . 1 0 m o l) 、ヨードベンゼン (2 2 . 6 m L、 0 . 2 0 m m o l) 、 C u I (9 . 6 g、 0 . 0 5 m o l) 、 C s _ 2 C O _ 3 (9 9 g、 0 . 0 3 0 m o l) 、および E D A (1 3 . 7 m L、 0 . 2 0 m o l) がトルエン 5 0 0 m L に添加され、そして還流下で 2 4 時間にわたって攪拌された。この混合物は E A で抽出され、減圧下で蒸留され、そして M C / H e x を用いてカラム分離されて、化合物 7 - 2 (2 0 g、 5 3 %) を得た。

10

【 0 0 7 4 】

化合物 7 - 3 の製造

化合物 7 - 2 (1 8 g、 4 8 . 4 m m o l) が T H F 2 5 0 m L に溶解させられ、そして 2 . 5 M の n - B u L i (ヘキサン中) (2 3 . 2 m L、 5 8 . 0 m m o l) が - 7 8 ° で添加され、その後、この混合物は 1 時間にわたって攪拌された。 B (O i - P r) _ 3 (1 6 . 7 m L、 7 2 . 5 m m o l) がゆっくりと添加され、そしてこの溶液が 2 時間にわたって攪拌された。 2 M の H C l が添加され、そしてこの混合物はクエンチされ、そして蒸留水および E A で抽出された。次いで、 M C および H e x を用いた再結晶化が行われて、化合物 7 - 3 (1 3 . 6 g、 8 3 . 4 %) を得た。

20

【 0 0 7 5 】

化合物 7 - 4 の製造

化合物 7 - 3 (1 3 . 6 g、 4 0 . 3 m m o l) 、プロモカルバゾール (9 . 9 g、 4 0 . 3 m m o l) 、 P d (P P h _ 3) _ 4 (2 . 3 g、 2 . 0 m m o l) 、 K _ 2 C O _ 3 (1 3 . 4 g、 9 6 . 7 m m o l) 、トルエン 2 0 0 m L および蒸留水 4 8 m L が混合され、次いで 9 0 ° で 2 時間にわたって攪拌された。有機層が減圧下で蒸留され、そして M e O H でトリチュレートされた。得られた固体は M C に溶解させられ、シリカろ過されそして M C およびヘキサンでトリチュレートされて、化合物 7 - 4 (1 5 g、 8 1 %) を得た。

30

【 0 0 7 6 】

化合物 3 7 の製造

化合物 1 - 1 (4 g、 1 6 . 6 m m o l) および化合物 7 - 4 (7 . 6 g、 1 6 . 6 m m o l) が D M F 8 0 m L に懸濁され、そして 6 0 % N a H (1 . 1 g、 2 8 . 2 m m o l) が室温で添加され、そしてこの混合物が 1 2 時間にわたって攪拌された。蒸留水 1 L が添加され、そしてこの混合物は減圧下でろ過された。得られた固体は M e O H / E A を用いてトリチュレートされ、 M C に溶解させられ、シリカろ過され、次いで M C / n - ヘキサンでトリチュレートされて、化合物 3 7 (2 . 4 g、 2 1 . 8 %) を得た。

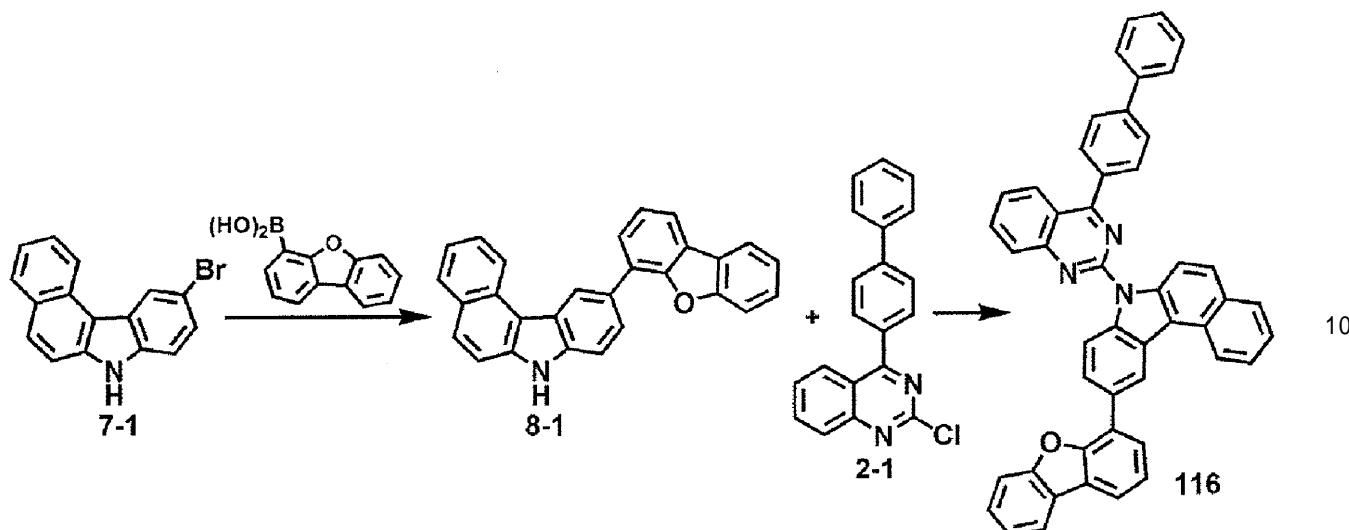
40

M S / F A B : 実測値 6 6 2 . 7 8 、計算値 6 6 2 . 2 5

【 0 0 7 7 】

[製造例 8] 化合物 1 1 6 の製造

【化39】



【0078】

化合物8-1の製造

化合物7-1(10g、33.8mmol)、ジベンゾ[b,d]フラン-4-イルボロン酸(8.6g、40.56mmol)、Pd(PPh₃)₄(2g、1.7mmol)、K₂CO₃(34g、321mmol)、トルエン60mL、EtOH 12mLおよび精製水12mLが混合され、次いで120で15時間にわたって攪拌された。この反応の停止後に、得られた混合物は静置され、そして水層が除かれ、その後、有機層が濃縮された。次いで、シリカカラム精製が行われて、化合物8-1(10.2g、78%)を得た。

【0079】

化合物116の製造

化合物8-1(3g、7.8mmol)および化合物2-1(2.1g、7.8mmol)がDMF 30mL中に懸濁され、そして60%NaH(376mg、9.4mmol)が室温で添加され、そしてこの混合物は12時間にわたって攪拌された。精製水500mLが添加され、そしてこの混合物は減圧下でろ過された。得られた固体はMeOH/EA、DMF次いでEA/THFの順に用いてトリチュレートされた。得られた生成物はMCに溶かされ、シリカろ過され、そしてMeOH/EAを用いてトリチュレートされて、化合物116(2.4g、46%)を得た。

MS/FAB: 実測値663.76、計算値663.23

【0080】

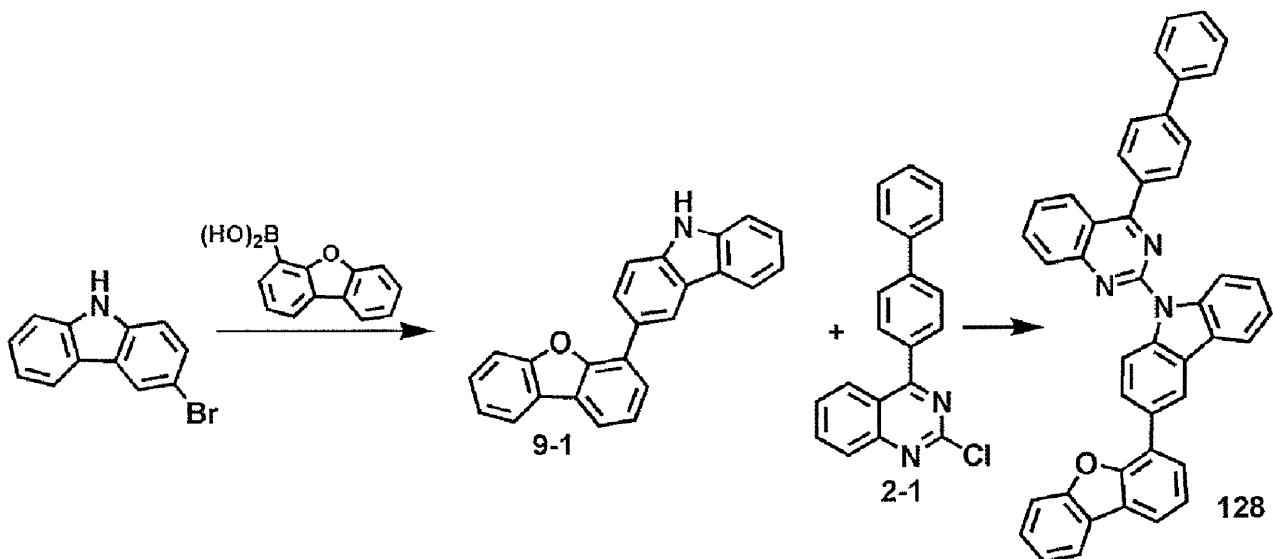
[製造例9] 化合物128の製造

20

30

30

【化40】



【0081】

化合物9-1の製造

3-ブロモ-9H-カルバゾール(5g、20.32mmol)、ジベンゾ[b,d]フラン-4-イルボロン酸(4.7g、22.35mmol)、K₂CO₃(7g、50.79mmol)、Pd(PPh₃)₄(1.17g、1.01mmol)、トルエン100mL、EtOH 25mLおよび精製水25mLが混合されて、次いで100で3時間にわたって攪拌された。この反応の停止後に、この混合物は室温まで冷却され、そして静置させられ、そして水層が除かれた。有機層が濃縮され、次いでシリカカラムを用いて精製されて、化合物9-1(4.3g、64%)を得た。

【0082】

化合物128の製造

化合物2-1(3g、8.99mmol)および化合物9-1(3.14g、9.89mmol)が無水DMF 50mL中で懸濁され、そして60%NaH(0.54g、13.5mmol)が室温で添加された。この混合物は室温で5時間にわたって攪拌された。この反応の停止後に、MeOH 3mLが滴下添加され、そして過剰のMeOHによって固体が得られ、そしてシリカカラム精製、EAでの懸濁、ろ過、次いでTHFを用いた再結晶化が行われて、化合物128(1g、18%)を得た。

MS/FAB: 実測値613.70、計算値613.22

【0083】

[実施例1] 本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

本発明の有機電子材料のための化合物を使用したOLED素子が製造された。まず、OLED用ガラス(サムスンコーニングにより製造)から得られた透明電極ITO薄膜(15nm)がトリクロロエチレン、アセトン、エタノールおよび蒸留水を順に使用した超音波洗浄にかけられ、使用までイソプロパノール中に貯蔵された。次に、真空蒸着装置の基体ホルダにITO基体を取り付け、この真空蒸着装置のセル内にN¹, N¹-[(1,1'-ビフェニル)-4,4'-ジイル]ビス(N¹-(ナフタレン-1-イル)-N⁴, N⁴-ジフェニルベンゼン-1,4-ジアミンを入れ、次いで、この装置はこのチャンバー内が10⁻⁶ torrの真空になるまで脱気された。次いで、このセルに電流を適用して、それを蒸発させて、それにより、ITO基体上に60nmの厚みを有する正孔注入層を堆積させた。次いで、この真空蒸着装置の他方のセルにN,N'-ジ(4-ビフェニル)-N,N'-ジ(4-ビフェニル)-4,4'-ジアミノビフェニルを入れ、このセルに電流を印加してNPBを蒸発させて、それにより正孔注入層上に20nmの厚みを有する正孔輸送層を堆積させた。正孔注入層および正孔輸送層を形成した後で、その上に

10

20

30

40

50

次のように電界発光層が形成された。化合物1がホストとして真空蒸着装置内の方のセルに入れられ、そして化合物D-11がドーパントとして別のセルに入れられた。4重量%のドーピングが起こる様な異なる速度でこれら2種類の材料が蒸発させられ、それにより、30nmの厚さを有する電界発光層が正孔輸送層上に蒸着された。その後、2-(4-(9,10-ジ(ナフタレン-2-イル)アントラセン-2-イル)フェニル)-1-フェニル-1H-ベンゾ[d]イミダゾールが一方のセル内に入れられ、およびリチウムキノラートが他方のセルに入れられて、その後これら2つの材料が、50重量%ドーピングが起こるように同じ速度で蒸発させられ、それにより電子輸送層が電界発光層上に30nmの厚さで蒸着させられた。次いで、電子注入層として、Liq(リチウムキノラート)が2nmの厚みで蒸着させられ、その後、別の真空蒸着装置を使用して、150nmの厚みでAlカソードが蒸着させられて、OLEDを製造した。

10

【0084】

OLED素子に使用されたそれぞれの化合物は使用前に、 10^{-6} torr下での真空昇華によって精製された。

【0085】

結果として、8.8mA/cm²の電流が4.4Vの電圧で流れ、そして900cd/m²の赤色光が放射されたことが確認された。

【0086】

[実施例2]本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光層において、ホスト材料として化合物2が使用され、およびドーパントとしてD-7が使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

20

結果として、22.9mA/cm²の電流が4.9Vの電圧で流れ、そして2070cd/m²の赤色光が放射されたことが確認された。

【0087】

[実施例3]本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光層において、ホスト材料として化合物25が使用されたこと以外は、実施例1と同じ方法によってOLED素子が製造された。

30

結果として、16.9mA/cm²の電流が4.8Vの電圧で流れ、そして1780cd/m²の赤色光が放射されたことが確認された。

【0088】

[実施例4]本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光層において、ホスト材料として化合物37が使用され、およびドーパントとしてD-7が使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

30

結果として、41.2mA/cm²の電流が5.5Vの電圧で流れ、そして4800cd/m²の赤色光が放射されたことが確認された。

【0089】

[実施例5]本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光層において、ホスト材料として化合物128が使用され、およびドーパントとしてD-7が使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

40

結果として、8.7mA/cm²の電流が4.2Vの電圧で流れ、そして900cd/m²の赤色光が放射されたことが確認された。

【0090】

[実施例6]本発明の有機電界発光化合物を使用したOLED素子の製造

電界発光層において、ホスト材料として化合物139が使用され、およびドーパントとしてD-7が使用されたこと以外は、実施例1におけるのと同じ方法によってOLED素子が製造された。

50

結果として、3.2mA/cm²の電流が4.1Vの電圧で流れ、そして400cd/m²の赤色光が放射されたことが確認された。

m² の赤色光が放射されたことが確認された。

【0091】

[比較例1] 先行技術の電界発光材料を使用したOLED素子の電界発光特性

電界発光層が、ホストとして使用された4,4'-N,N'-ジカルバゾール-ビフェニルおよびドーパントとしての化合物D-11を用いて蒸着されたこと、並びに電界発光層と電子輸送層との間にアルミニウム(III)ビス(2-メチル-8-キノリナト)4-フェニルフェノラートを用いて10nmの厚みで正孔プロッキング層が蒸着させられること以外は、実施例1と同じ方法によって、OLED素子が製造された。

結果として、20.0mA/cm²の電流が8.2Vの電圧で流れ、そして1000cd/m²の赤色光が放射されたことが確認された。

10

【0092】

本発明において開発された有機電界発光化合物は、従来の材料と比較してより優れた電界発光特性を示したことが確認された。本発明の有機電界発光化合物をホスト材料として使用した素子は、優れた電界発光特性を示すことができ、かつ駆動電圧を低減させることができ、よって電力効率を増大させることができ、それにより電力消費を改良することができる。

【0093】

本発明の好ましい実施形態が説明目的のために開示されてきたが、当業者は特許請求の範囲に特定される発明の範囲および意図から逸脱することなく、様々な変更、追加および置き換えが可能であることを理解するであろう。

20

【産業上の利用可能性】

【0094】

本発明に従って、有機電界発光化合物は高い発光効率を示すことができ、かつ優れた材料寿命を有することができ、かつ非常に優れた駆動寿命を有するOLED素子を製造するために使用されうる。

フロントページの続き

(51)Int.Cl.	F I	テーマコード(参考)
C 0 7 D 403/04 (2006.01)	C 0 7 D 403/04	
C 0 9 K 11/06 (2006.01)	C 0 9 K 11/06	6 9 0
H 0 5 B 33/12 (2006.01)	C 0 9 K 11/06	6 6 0
B 3 2 B 9/00 (2006.01)	H 0 5 B 33/12	C
B 3 2 B 7/023 (2019.01)	B 3 2 B 9/00	Z
B 3 2 B 7/025 (2019.01)	B 3 2 B 7/02	1 0 3
	B 3 2 B 7/02	1 0 4

(72)発明者 ホワン , ス・ジン
大韓民国 , ソウル・136-770 , ソンブク - ク , キルム・1 - ドン , サムスン・レミアン・1 - チャ・アパートメント , ナンバー・106-801

(72)発明者 キム , ヒ・ソク
大韓民国 , キョンギ - ド・443-390 , スウォン - シ , ヨントン - ク , シン - ドン , 340 - 22 , ナンバー・101

(72)発明者 ユン , ソク・グン
大韓民国 , キョンギ - ド・443-390 , スウォン - シ , ヨントン - ク , シン - ドン , キャッスル , ナンバー・205

(72)発明者 イ , ミ・ジャ
大韓民国 , キョンギ - ド・445-360 , ファソン - シ , ピョンジョム - ドン , アンファ・ジュゴン・アパートメント , ナンバー・703-1402

(72)発明者 キム , ナム・キュン
大韓民国 , キョンギ - ド・448-130 , ヨンイン - シ , スジ - ク , サンヒョン - ドン , 867 , クムホ・ベストビル・アパートメント , ナンバー・510-1601

(72)発明者 チョ , ヨン・ジュン
大韓民国 , キョンギ - ド・463-892 , ソンナム - シ , ブンダン - ク , サムピョン - ドン , ポットドゥルマウル・2・タンジ・ジ・イージー・ジ・ワン・アパートメント , ナンバー・204 - 701

(72)発明者 クォン , ヒョク・ジュ
大韓民国 , ソウル・135-877 , カンナム - ク , サムソン - ドン , ヒルステイト・アパートメント , ナンバー・105-2003

(72)発明者 イ , キョン・ジュ
大韓民国 , ソウル・121-773 , マポ - ク , ドファ - ドン , ヒュンダイ・ホームタウン・アパートメント , ナンバー・210-1001

(72)発明者 キム , ボン・オク
大韓民国 , ソウル・135-877 , カンナム - ク , サムソン - ドン , ヒルステイト・アパートメント , ナンバー・208-401

F ターム(参考) 3K107 AA01 BB01 CC04 CC21 DD51 DD53 DD59 DD64 DD67 DD68
DD69
4C063 AA01 AA03 AA05 BB01 BB02 BB06 CC14 CC31 CC76 CC94
DD08 DD31 EE10
4F100 AA28A AA33A AB10C AH02B AH03B AH08B AR00A AR00C AR00D AR00E
BA03 BA04 BA05 BA07 BA10A BA10C EH66 GB41 JD11E JG10D
JN13B

【外國語明細書】

2019050382000001.pdf

2019050382000002.pdf

2019050382000003.pdf

专利名称(译)	新型有机电致发光化合物和使用其的有机电致发光器件		
公开(公告)号	JP2019050382A	公开(公告)日	2019-03-28
申请号	JP2018192058	申请日	2018-10-10
[标]申请(专利权)人(译)	罗门哈斯电子材料有限公司		
申请(专利权)人(译)	罗门哈斯电子材料有限公司韩国		
[标]发明人	シンヒヨニム ホワンスジン キムヒソク ユンソクグン イミジヤ キムナムキyun チヨヨンジュン クォンヒョクジュ イキヨンジュ キムポンオク		
发明人	シン,ヒヨ・ニム ホワン,ス・ジン キム,ヒ・ソク ユン,ソク・グン イ,ミ・ジヤ キム,ナム・キyun チヨ,ヨン・ジュン クォン,ヒョク・ジュ イ,キヨン・ジュ キム,ポン・オク		
IPC分类号	H01L51/50 C07D403/14 C07D409/14 C07D405/14 C07D401/14 C07D403/04 C09K11/06 H05B33/12 B32B9/00 B32B7/023 B32B7/025		
CPC分类号	C07D403/04 C07D403/14 C07D405/14 C07D409/14 C09K11/06 C09K2211/1007 C09K2211/1011 C09K2211/1029 C09K2211/1044 C09K2211/1088 C09K2211/1092 H01L51/0072 H01L51/0073 H01L51/0074 H01L51/0085 H01L51/5016 H05B33/20		
FI分类号	H05B33/14.B C07D403/14.CSP C07D409/14 C07D405/14 C07D401/14 C07D403/04 C09K11/06.690 C09K11/06.660 H05B33/12.C B32B9/00.Z B32B7/02.103 B32B7/02.104 B32B7/023 B32B7/025		
F-TERM分类号	3K107/AA01 3K107/BB01 3K107/CC04 3K107/CC21 3K107/DD51 3K107/DD53 3K107/DD59 3K107/DD64 3K107/DD67 3K107/DD68 3K107/DD69 4C063/AA01 4C063/AA03 4C063/AA05 4C063/BB01 4C063/BB02 4C063/BB06 4C063/CC14 4C063/CC31 4C063/CC76 4C063/CC94 4C063/DD08 4C063/DD31 4C063/EE10 4F100/AA28A 4F100/AA33A 4F100/AB10C 4F100/AH02B 4F100/AH03B 4F100/AH08B 4F100/AR00A 4F100/AR00C 4F100/AR00D 4F100/AR00E 4F100/BA03 4F100/BA04 4F100/BA05 4F100/BA07 4F100/BA10A 4F100/BA10C 4F100/EH66 4F100/GB41 4F100/JD11E 4F100/JG10D 4F100/JN13B		
优先权	1020110092422 2011-09-14 KR 1020100091545 2010-09-17 KR		
其他公开文献	JP6672416B2		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

解决的问题：提供具有合适的色坐标的，具有优异的发光效率和器件寿命的有机电致发光化合物，以及使用该化合物的有机电致发光器件。由以下通式等表示的有机电致发光化合物，以及使用该化合物的有机电致发光装置。[选择图]无

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2019-50382
(P2019-50382A)

(43)公開日 平成31年3月28日(2019.3.28)

(51)Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
H01L 51/50 (2006.01)	H05B 33/14	3K107
C07D 403/14 (2006.01)	C07D 403/14	C S P 4C063
C07D 409/14 (2006.01)	C07D 409/14	4F100
C07D 405/14 (2006.01)	C07D 405/14	
C07D 401/14 (2006.01)	C07D 401/14	

審査請求 有 請求項の数 9 O.S. 外国語出願 (全 61 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号	特願2018-192058 (P2018-192058)	(71)出願人	509266480
(22)出願日	平成30年10月10日 (2018.10.10)	ローム・アンド・ハース・エレクトロニッ	
(23)分割の表示	特願2016-172842 (P2016-172842)	ク・マテリアルズ・コリア・リミテッド	
	の分割	大韓民国 331-980 チュンチヨン	
(31)優先権主張番号	平成23年9月16日 (2011.9.16)	ナムード チヨナン-シ ソフク-ク 3	
(32)優先日	10-2011-0092422	コンダン 1-ロ 56	
(33)優先権主張国	韓国 (KR)	(74)代理人	110000589
(31)優先権主張番号	10-2010-0091545	特許業務法人センダ国際特許事務所	
(32)優先日	平成22年9月17日 (2010.9.17)	(72)発明者	シン、ヒヨ・ニム
(33)優先権主張国	韓国 (KR)		大韓民国 キョンギード・463-892

(54)【発明の名称】新規有機電界発光化合物およびこれを用いる有機電界発光素子

最終頁に続く